

## 金大中大統領にノーベル平和賞

ノルウェーのノーベル委員会は10月13日、2000年のノーベル平和賞を金大中大統領に授与すると発表した。日本からの拉致事件や死刑判決などの苦難に遭いながら、韓国の民主化運動をけん引し、2000年6月、北韓の金正日総書記との南北会談を実現させ、ノーベル平和賞を受賞した金大中大統領は、韓国民主化だけでなく世界平和の象徴でもあった。

1998年2月から5年間の任期中、「国家破産一步手前」と言われた未曾有の通貨危機を克服する一方、日本の大衆文化の段階的開放にふみきり、2002年のサッカー・ワールドカップ（W杯）韓日共催を成し遂げた。

「物事を見るときは望遠鏡のように遠く広く見ると同時に、顕微鏡のように近く深く見る必要があります。このふたつの心が並行してこそ我々は、本当に物事を正しく理解できるし解決策を見つけることができますと思います」。金大中大統領の好きな言葉の一つだが、政治家というより哲学者のような慧眼の持主でもあった。

大統領選のとき、公約の一つであった「済州4・3事件の解明」を積極的に推進し、2000年「4・3特別法」を公布。「4・3特別法」に基づく「4・3委員会」が成立された。

2001年1月20日、第44代米大統領に就任したブッシュ大統領は「思いやりある保守主義」とクリントン政権が数々のスキャンダルに見舞われたことを念頭に、「慎み」「勇気」「思いやり」を備えた大統領を目指す決意を強調した。同年1月26日には、東京のJR新大久保駅で山手線内回りホームから乗客の男性が転落し、助けようと線路に降りた男性2人とともに、入ってきた電車にはねられ3人も死亡した。助けに降りた1人が韓国留学生、李秀賢氏（26）で、その犠牲の精神は韓日両国に大きな感動を与えた。



## 本会創立40周年を迎える

2001年度新年会を兼ねて“創立40周年記念式典”が2001年1月21日上野精養軒で開かれた。21世紀初頭に創立40周年を迎えることができ、国内外多数の来賓がかけつけ、会員家族合わせ500余名が参加した。

役員がそろって新年の挨拶をした後、李徳雄会長は「1959年9月の発起人11名で持たれ、1961年2月25日、上野宝ホテルで済州開発協会の名称で創立総会が、梁萬基初代会長を推して開催された。この間、自分たちの生活もままならない時に、故郷発展へ尽くされた諸先輩方の努力は今日の基盤につながったといえる。2002年故郷でワールドカップが開かれるので、PRなど尽力していきたい」と強調した。

これに対し祝辞を述べた禹瑾敏済州道知事、金宰淑民団中央本部団長、高珍富・張正彦・元喜龍の済州道出身の国会議員、金在浩済州道議会議長、金泰煥済州市長、姜相周西帰浦市長、申喆宙北済州郡守、康起権南済州郡守、趙秀俊西帰浦市議会議長らは「皆さんの故郷への貢献が済州道の発展につながったことを感謝する」と口々に述べた。

禹瑾敏道知事は、高昌運、韓元燮、韓在銀、金英秀、呉益鐘、金富鉉、張政宗、康昌律、金奉任の9人の理事に、永年の功労をたたえ表彰状を渡した。また、記念行事の一環として世界的バイオリニストの丁讃宇氏と金孜哲氏のピアノとの協奏で“故郷の春”“イムジン河”などが奏でられた。

16名の新成人にポケットボード、辞典等の記念品が贈られた後、新成人を代表し、姜俊昊君が「“百万済州人とともに開かれた世界へ”自分たちも努力したい」と答辞を述べ、玄棋洙第7代会長の音頭で懇親を深めた。

禹知事からの済州往復航空券、済州市長からの済州ホテル宿泊券、アジアナ航空からの済州往復航空券の抽選会で盛り上がった。尚、済州道知事からの漢拏山椎茸、済州道書芸家協会より書画及び創立40周年記念誌が配布された。



## 主 要 行 事

## ■漢拏山40周年記念号発刊



本会は、1961年2月25日創立され、1991年には30周年記念誌「愛郷無限」を発刊、創立40年を迎えた2001年1月15日、「漢拏山第8号40周年記念号」が発刊された。B5判、総198頁で、表紙およびグラビア頁、済州道地図の綴込みはカラー印刷されている。

内容は、主に1990年6月から2000年5月までの歩みを記録し、“写真で見る1990年代の歩み”とともに、期別に協会の事業報告及び済州道の便りを具体的にまとめた。「済州道出身者の日本移住に関する研究」をテーマにした済州観光大学の高東勲教授の論文が掲載され、在日史の貴重な資料といえる。

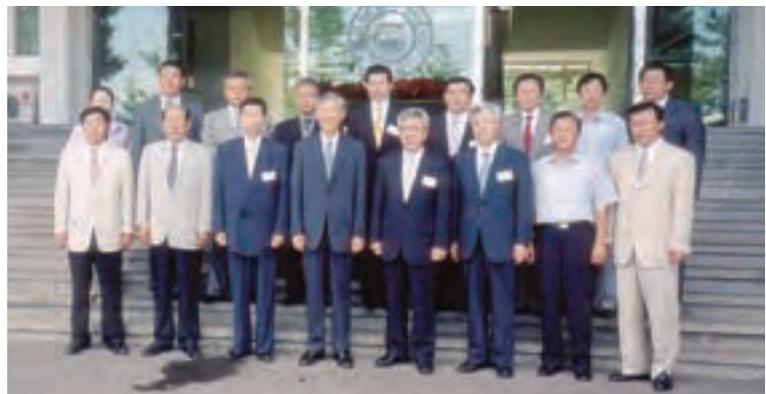
## ■理事親睦旅行会・奥湯河原で開く

理事親睦旅行会が、10月22日奥湯河原「青巒荘」で開かれ、理事、婦人会合わせ37名が参加。姜丞宝財務部長の司会で始まった宴会は、李徳雄会長から創立40周年の経過報告及び近況報告があった。

康民善相談役の乾杯の音頭で相互間の親睦を誓い、カラオケ等の余興でいっそう親睦を深めた。

## ■第14回夏季郷土学校

2000年7月30日から8月4日まで、第14回夏季郷土学校が済州道地方公務員教育院と国立済州大学校で共催され、当協会からは学生9名と引率役員5名が参加した。



済州道出身の在日韓国人2世・3世として、誇りと自覚を持たせるため運

営されている夏季郷土学校が、今年からは大学生を対象として実施され、道民との交流を図るため民泊も行なわれた。

濟州大学の實習船「我羅号」乗船による海上観光と内容充実の授業などで故郷を学んだ。

韓国人であるにもかかわらず、韓国語がわからない悔しさで泣く学生までいた。KNTVで8・15特集ドキュメンタリーとして放送されるほど、盛況を呈した。

## ■第4回故郷訪問事業



諸事情により長期間故郷を訪問できなかった65歳以上の在日濟州道出身者が、濟州道から招待され、9月28日から10月2日まで4泊5日の日程で訪問した。今年で第4回目を迎え、関東13名、関西13名、仙台4名の中、朝鮮籍9名も共に、夢に見た故郷濟州の地に足を踏み入れた。

濟州国際空港に到着して、待ち受けていた関係者と報道陣の勢いに警戒を抱いているようにも見えたが、第39回漢拏文化祭開幕式の観覧、濟州KALホテルで用意された歓迎晩餐会等、様々な行事に参加している間、参加者は言い表し難い感慨無量な面持ちをしていた。

この事業は、噂が噂を呼んで声なき事業として定着している。

## 組 織

## ■第41期役員

顧問：金坪珍 高瑋準 玄栞洙 金昶輝 高庠秀 高瑋鉉 高昌運  
 姜京俊 高章守 李時香 夫昇培 金和男  
 常任顧問：李淳元  
 相談役：鄭興守 韓在龍 張潤鍾 康民善 金子良 康昌泳 金公俊  
 玄奎全 梁直基 金洪斤 韓元燮 鄭斗壽 吳益鐘 洪炳基  
 元基弘 韓在銀 金英秀 金秀吉

会 長：李徳雄  
 副 会 長：金昌世 呉賛益 呉敬進 金修一 金世邦  
 総務部長：李中和 総務次長 李成琥  
 財務部長：姜丞宝 財務次長 金昌浩  
 組織部長：玄祥琮  
 宣伝部長：高尚弘 宣伝次長 姜公二  
 渉外部長：李富博  
 事業部長：慎龍九 事業次長 夫奉秋  
 青年部長：金洪汶  
 監 査：金成日 白一善 鄭平普

■協会ニュース発行

第11号 2000年10月31日  
 第12号 2001年 2月28日



第11号



第12号

定 期 総 会

■第41回定期総会開く



第41回定期総会が、2001年6月24日、上野「ホテル・パークサイド」において、理事、会員、婦人会役員諸氏70余名の参加のもと開催された。

李徳雄会長が、役員、会員および婦人会会員へ、この2年間の協力への謝辞と挨拶のあと、総会は開会宣言後、2000年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画案および予算案を執行部の原案通り可決した。また、青年部の2000年度活動報告および会計報告、新年度活動案と予算案も承認された。

なお任期満了に伴う役員改選では、選考委員による慎重かつ厳正な話し合いの結果、新会長に金英秀氏、副会長に呉賛益氏、夫奉秋氏、慎龍九氏、総務部長に高尚弘氏、財務部長に姜丞宝氏、組織部長に李大浩氏、宣伝部長に金洪汶氏、渉外部長に金昌浩氏、事業部長に李成琥氏、青年部長に呉仁敦氏、監査に鄭平普氏、李富博氏を選出した。

金英秀新会長は、「私は2世会長として4代目になりますが、協会の40年間に築いてきた基本理念を基に、協会内部に目を向け、理事、会員、相互の親睦のための行事などを提案、討議し、21世紀に対応しうる協会づくりに済州婦人会とも協働しあいながら運営努力し、長年行なわれなかった会員の名簿整理を行ない、理事、会員の増強の早期実施と青年部の育成に力を注ぎたい。そして今世紀初の世界スポーツ大会、韓日ワールドカップサッカー大会の支援事業などを企画していきます」と、抱負を語った。

## ■新年度事業計画案

1. 組織宣伝事業
  - ①理事会員の再調整と拡充事業
  - ②家族同伴新年会
  - ③済州道民協会親睦旅行会
  - ④親睦ゴルフコンペ
  - ⑤在日済州道民協会ニュース発行
2. 2002年ワールドカップ支援事業
3. 第15回夏季郷土学校（7月29日～8月4日）
4. 母国故郷訪問事業
5. 青年部育成事業
6. 婦人会との相互協力
7. 各地域道民会との人事交流促進事業
8. その他、本協会と郷土発展に寄与する事業

## ■青年部

### ●家族同伴海水浴

2000年8月5日～6日、青年部は恒例の家族同伴海水浴を千葉の鱈ヶ浦で行ない、35名が参加。いろいろマリンスポーツを宿舎の方たちの指導のもとに存分に楽しみ、夕方からはバーベキューに舌鼓を打ちながら、花火大会、スイカ割りなど、ずいぶんとバラエティー豊かな内容となって、充実した海水浴になった。来年も今年以上の盛り上がりを目指している。

### ●クリスマスパーティ

青年部は12月2日に当協会と婦人会の応援のもと、独身男女と執行部を中心にクリスマスパーティーを開催した。ビンゴゲーム、カラオケ大会など

でおおいに盛り上がり、楽しい時間がまたたくまに過ぎ、2次会へはほとんど全員が参加。互いに初顔合わせなのに、すぐに和気藹々と友達になり、またこのパーティーをとおして青年部の活動を知り、積極的に青年部の事業に参加する方が増えた。

●スキー旅行

2001年1月7日から1泊2日で11名が越後湯沢へスキー及びスノーボードに行き、素晴らしい白銀の世界を堪能し、参加者全員怪我や事故も無く楽しい思い出と共に無事に帰ってきた。スキーもクリスマスパーティーも、またぜひ開催して欲しいとの要望があり、盛況だった。

■済友会

●ゴルフコンペ

会員相互の親睦を目的とする済友会ゴルフコンペを次のとおり開催した。

回数	日時	場所	優勝者
第5回	2000年10月23日	湯河原カントリー倶楽部	金修一

在 日 済 州 婦 人 会

■第4回定期総会・忘年会

2000年12月3日ホテル・パークサイドにおいて開かれた第4回定期総会には来賓と会員70余名が参加した。会員間、家族間の親睦と文化向上をはかり、郷土の発展に寄与することを目的に結成された婦人会が、行事・活動内容もますます充実していく中で迎えた第4回定期総会で、韓道淑会長は「会員の皆様の力強い応援で喜びと感謝のなか今日の日を迎えることが出来たことに対し謝意を、今後とも皆様の期待と希望に添えるよう中身の濃い会にすべく努力します」と述べた。次いで1年間の活動報告、収支決算が承認され、引き続き新年度の活動方針案、予算案が可決された。

第2部に入り忘年会が開催され、カラオケを楽しんだ後、手と手をつなぎ大きな輪をえがいての踊りと“アリラン”の合唱ではみんなの心が一つになり、同じ民族であることを確認し合い、さらなる団結を誓う良いひとときになった。

## ■韓国旅行へ飛び立つ

2000年10月3日、婦人会は安東と釜山への旅に総勢39名で飛び立った。金浦空港から安東まで5時間、車内で用意された豪華な弁当やお餅を食べながらの移動。安東着後、河回村、安東焼酎を見学し、安東焼酎の展示場内では、エリザベス女王が韓国を訪問し、安東を訪問した際に、女王のために食事を作られた趙先生（安東焼酎社長夫人）が特別に料理をしてくださった夕食をいただいた。

初めて味わう美味さはもちろん、まさに芸術品ともいえる豪華で美しい韓国宮廷料理に一同は大いに感嘆した。また高価な松茸も思いっきり堪能することができた。翌日は、韓国の1000ウォン札に印刷されている陶山書院を見学し、午後にはバスにゆられて釜山へ向った。

翌日は国際市場で、ショッピング、市内観光の後、サウナに入ったり、免税店で買い物をしたりと自由に楽しんだ。3日目の夜は、サヨナラパーティ。踊って、歌って参加者一同大いに盛りあがって楽しい時を過ごし、韓国旅行の最後を飾った。

## 会員ニュース

### ■金洪斤相談役が牡丹章を受章



金洪斤相談役（民団神奈川県地方本部常任顧問）は、韓国政府から国民勲章牡丹章を受勲された。日本の「地方参政権獲得運動」で、他地方に先駆けて地方議会の意見書採択100%達成に尽力し、故郷済州道の発展にも大きく貢献するなど、韓日両国にわたって活躍している。

### ■黄昌柱相談役に済州道文化賞

2000年度済州道文化賞の授賞式が、12月26日済州道文芸会館で行なわれた。今年から新しく設けられた海外同胞部門で当協会の黄昌柱相談役（民団神奈



川島地方本部団長)が受賞された。故郷のため物心両面にわたり支援した功績がたたえられ選定されたのである。済州道は各受賞者8名に、賞状とともに賞金500万ウォンずつ贈呈して祝った。

また、黄相談役は、地元湯河原町のためにと「黄(吉田)基金」を創設、2000年10月9日の誕生日を期して、今年から毎年50万円ずつ町に寄与していくことになった。

湯河原町では恵まれない子どもたちのための育英資金として活用していく。黄相談役は今春、民団神奈川県本部団長に就任し、町では就任祝賀会をもった。感激した黄相談役は、その場で基金の贈呈を町に申し入れていた。贈呈式は7月28日町長室で行なわれ、李徳雄会長が見守った。黄相談役は「少ない金額で申し訳ないが、一生涯無理なく負担していくにはこの位でちょうど良いと考えた。町をあげて団長就任を祝ってくれたことへのささやかなお礼の気持ちを表したかった」と話している。

## 人物交流

### ● 日韓親善少年野球大会

1997年に開催された第1回日韓親善少年野球交流試合に引き続き、第2回目は2000年8月4日から8月7日まで済州道にて開催された。済州市と東京葛飾区の少年たちが交流試合やホームステイなどを通して、心と心のふれあいが実現したことは、両国の親善と友好を一層増進させたものと思われる。21世紀を担う日韓両国の少年少女たちの親善交流が絶えることのないよう、祈願を込めた済州市主催の晩餐会には、当協会から夏季学校引率中の李徳雄会長と呉賛益副会長が参加した。



## 濟州道通信

### World Cup Sogwipo



#### ● 夢のカーニバル 濟州ワールドカップ

1930年ウルグアイで始まり、4年ごとに全世界を歓呼と熱狂のるつぼと化し、さまざまなドラマを演出してきたワールドカップは、世界最大の祭りとして根付いた。21世紀の初大会の2002年ワールドカップは、アジアでは初めて韓国と日本で共催される。西帰浦市に42,256席の観覧席と面積75,967m<sup>2</sup>の規模で建設される濟州競技場は、急ピッチで建設がすすみ、2001年12月には竣工の予定。



#### ● 漢拏文化祭観覧

“新千年耽羅文化 世界を開く濟州”をテーマとして、2000年9月29日から10月3日まで5日間の日程で「第39回漢拏文化祭」が開催された。濟州市総合競技場で開幕式があり、各種公演出演者及び道民など2千余名が参加した。この席には故郷訪問団も参加し、興味深く火神祝祭・沖縄芸術団の公演などを観覧した。李徳雄会長が出席し金一封を贈呈した。

#### ● 壮観！野焼き祭り

無事安泰と豊年を祈願する正月の満月野焼き祭り。漢拏山ふもとの大平原で繰り広げられた野焼き祭りは、10万平方メートルに及ぶ子火山を丸ごと焼き尽くし、一大壮観を演出した。2001年2月3～4日にかけて開催され、李徳雄会長、金世邦副会長、李成琥総務次長らが参加した。



## アメリカ 同時多発テロ発生



2001年9月11日、航空機を使った4つのテロ事件がアメリカで発生し、この前代未聞のテロ事件は全世界に衝撃を与えた。

ニューヨークの世界貿易センタービル・ツインタワーの北棟は、アメリカン航空11便の突入を受けて爆発炎上した。この時点では単なる航空機事故として報じられた。ブッシュ大統領も「第一報を受けた時点では航空機事故だと考えた」と発言した。続いて2機目のユナイテッド航空175便の突入を受け南棟のビルが爆発炎上した。2機目の激突は1機目の激突後に現場のテレビ中継を行っていた際に発生し、この時点で、事故ではなく故意に起こされた事件であることが認識された。この事件により2,749人が死亡するという大惨事になった。また韓国人18人、日本人も24人が死亡した。

バージニア州アーリントンにあるアメリカ国防総省本庁舎（ペンタゴン）は、アメリカン航空77便の突入を受け、大爆発が引き起こされてビルすべてが崩壊し、189人の国防総省職員が死亡した。

「アメリカン航空11便乗客81人、乗員11人。ユナイテッド航空175便乗客56人、乗員9人。アメリカン77便乗客58人、乗員6人全員死亡」、ユナイテッド航空の3便は乗客37人（テロリスト4人を含む）、乗員7人を乗せてサンフランシスコに行く途中ハイジャックあい、アメリカ合衆国議会議事堂かホワイトハウスを標的であったと推測されるが、ペンシルバニア州シャクスヴィルに墜落し、全員死亡した。

日本ではこのテロにより「テロ特措法」が同年10月29日成立した。「2001年

9月11日、アメリカ合衆国において発生したテロリストによる攻撃等に対応して行なわれる国連憲章の目的達成のための諸外国の活動に対して日本が実施する措置および関連する国連決議等に基づく人道的措置に関する特別措治法」この一週間後、11月9日、海上自衛隊の艦船3隻がインド洋に向けて出航した。

## 東京＝濟州直行便就航



成田＝濟州直行便開設を2001年12月6日発表後、第1便が2002年4月19日濟州へ向け満員の搭乗客を乗せ成田国際空港を離陸、午後12時15分濟州国際空港に、濟州道民協会と濟州婦人会より参加した直行便就航記念訪問団総勢56名が母国に無事到着した。

空港にて道庁、他関係者の歓迎式典後、専用バスにて西帰浦市に建設

中の濟州コンベンションセンターおよび濟州ワールドカップ競技場を視察し、姜相周西帰浦市長、呉光協社長より現状と今後の展望の説明を受け、各施設を見学した。そして濟州円光療養院を訪問し、姜貞淑院長より施設の運営状況の説明を受け、記念品としてイオン空気清浄機6台を寄贈した。婦人会は濟州市にある弘益保育園に慰問し、冷蔵庫1台とテレビ2台を寄贈した。

当日、濟州グランドホテルでの懇談会では、禹瑾敏道知事、観光公社、直行便推進委員長他多数の道庁関係者の来賓を迎えて懇談し、有意義な時間を過ごした。

直行便の就航により、出発時間、帰国時間帯が大変利用しやすく、日帰りや1泊2日での訪問など自由な企画ができ、時間も有効的に過ごせるようになった。これで故郷がいっそう身近かになり訪問しやすくなった。

道庁では国際自由都市の施行、観光開発の積極推進などにより、濟州道のいっそうの発展を確信している。そのため濟州道庁や関連機関、大韓航空、旅行業者、交通機関および各方面では、設備の充実や改良を計画し、“観光リゾート国際都市”“スポーツのメッカ濟州”を目指し努力している。

## ■金英秀新会長、就任挨拶を寄せる

第41回定期総会において選出された金英秀第23代会長は、創立40周年を無事に済ませ、50年に向けて協会運営と青年部への期待、希望と抱負を述べた。



金英秀 第23代会長

### 40年間築いてきた理念を基に

私は第41回定期総会にて、21世紀初頭の第23代会長に選出され、たいへんな重職に責任を感じております。皆様のご支援とともに新役員の協力を得て、協会発展のため努力運営してまいります。

今年1月、創立40周年記念行事も、禹瑾敏道知事をはじめとして多くのご来賓、大勢の理事・会員の参席をいただき、厳粛かつ盛大に終えることができました。誠にありがとうございました。

私は2世会長として4代目になりますが、協会40年間築いてきた基本理念を基に、協会内部に目を向け、理事・会員相互の親睦のための行事などを提案討議し、21世紀に対応しうる協会づくりに、済州道民婦人会とも協働しながら運営努力してまいります。そして、永年行なわれなかった会員の名簿整理を行ない、理事・会員の増強の早期実施と、青年部の育成として、青年部主催の行事への参加を増やし、青年部の交流のなかで、友情、郷土愛を築かせるとともに、今後の協会発展に活躍していただきたいと思っております。

そのためには多くの理事、会員の方々に入会していただき、各行事への参加とともに、親睦を図り親近感をもっていただきたいと願っております。そして、済州道とは、文化・観光・スポーツを通して交流を深めるとともに、学生や青年には長く実施している夏季郷土学校への参加で、郷土への関心を持っていただきたいと思います。

また母国訪問事業への協力、そして今世紀初の世界スポーツ大会、韓日ワールドカップサッカー大会の支援事業などを企画してまいります。皆様のご健康、ご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、なにとぞ今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 主 要 行 事

### ■第15回夏季郷土学校

2001年7月29日から8月4日まで「第15回夏季郷土学校」が、済州道地方公務員教育院と済州大学校で開催され、当協会からは学生6名と引率役員10名が参加した。



済州道出身者の在日韓国2世・3世に誇りと自覚を持たせるため運営されている夏季郷土学校は、去年から大学生を対象として実施されており、道民との交流を図るための民泊も去年同様に行なわれた。現地学生たちとの交流会やキャンプファイヤー、そして済州大学の実習船「我羅号」に乗船して、海の上から故郷の地を眺め、海上観光と船上での釣りなど、内容の充実した授業により故郷「済州道」を学んだ。7月30日・31日、引率の役員たちが済州道庁、済州大学、他13機関を表敬訪問した。

### ■第5回故郷訪問事業実施

2001年10月5日から4泊5日の日程で、済州道出身の高齢者故郷訪問事業が実施された。この行事は毎年



済州道が無料で招待するもので、諸般の事情により、一度も故郷を訪問していない65歳以上の高齢者を対象にしている。

5回目の実施となった今年は、東京から19名、大阪から13名、仙台から3名が参加し、当協会から李徳雄常任顧問と李成琥事業部長が同伴した。一行は済州道到着後、道主催の食事会に出席し、翌日から道内観光を満喫した。特に70年ぶりに生まれ故郷の海を訪れたハルモニの感無量の涙が印象的だった。6日夜には漢拏文化祭の開会式に参加後、道知事主催の晩餐会に出席し、マスコミ各局の取材にも応え、故郷の発展に驚きと感動を語った。最終日の夜は、宿舎の済州パレスホテルが10階のカラオケラウンジを無料開放し、済州道庁から数人の役員も参加し、いっしょに歌い踊り、最後の夜を楽しんだ。

### ■漢拏文化祭開会式参観

2001年10月6日、済州道秋の恒例行事、漢拏文化祭が開催された。金昶輝顧問と李徳雄常任顧問と李成琥事業部長が開会式に参加、道知事主催の晩餐会に出席した。この席上で李常任顧問が禹瑾敏道知事に本会からの漢拏文化祭協賛金として100万ウォンを伝達した。また晩餐会には関西道民協会役員、婦人会、青年会、ソウル道民協会など在外道民協会役員とも同席し談笑するなど交流の機会になった。漢拏文化祭は、今年度より総合運動場から新山公園に場所を移し、10月12日まで開催された。開会式で行なわれた花火大会、民族舞踊（特に海女舞踊）が印象的で必見の価値があった。

## ■親睦旅行会開催



親睦旅行会が、2001年10月28日千葉県勝浦三日月ホテルにて、理事、会員、婦人会役員参加のもと行なわれ、金英秀会長より経過報告ならびに挨拶の後、李徳雄常任顧問の乾杯にて宴会に入り、懇親を深めることができた。今回は理事のみならず

会員も参加できるように「済州道民協会親睦旅行会」として、会員にも案内を出すとともに大型サロンバスを確保し、車窓の風景を楽しみながら会話が弾んだ。宴会ではカラオケや準備した景品によるビンゴゲームで楽しい一夜を過ごした。

## ■ワールドカップ支援金伝達および競技場開場式参加

2001年12月8日ワールドカップ支援金の伝達式が行なわれ、金英秀会長、李徳雄常任顧問をはじめ夫奉秋、慎龍九、李成琥、鄭平普の各氏が協会を代表して出席した。

禹瑾敏道知事を筆頭に金鎬成副知事、道担当関係者や報道陣が列席し、一同見守るなか支援金邦貨500万円（5,000万ウォン）が伝達された。この支援金は文化市民運動西帰浦市協議会に寄贈され、済州ワールドカップのために有益に使われる。席上道知事が、丁重な感謝の言葉を述べた。

翌12月9日西帰浦市「済州ワールドカップ競技場」の竣工を記念し、米国選抜チームを招き、親善試合が開催された。姜相周西帰浦市長より招請状を受け、会長はじめ同行役員全員で観戦し、感激を新たにした。

新聞・TV等で報道され、小雨降るなか満席の4万2千人の観客で埋め尽くされた競技場で、熱戦が繰り広げられ、韓国チームがユ・サンチョル（柏レイソル）選手のヘディングによる決勝ゴールにより、1-0で快勝し、ワールドカップサッカー大会、決勝トーナメント進出への可能性を秘めた意義ある記念試合となった。

「済州ワールドカップ競技場」は、敷地面積40,572坪、建築総面積22,980坪、地上4階、地下2階の建物で、収容人員42,256席、長さ117m×幅78m（競技

場規格105m×68m)の芝グラウンドで、666台の駐車施設が整備され、事業費として1,251億ウォンの巨費が投入された。超近代的な競技場でありながら済州道の景観に配慮され、島の財産である自然と調和のとれた設計となっている。

### ■2002年度家族同伴新年会・成人式

2002年度家族同伴新年会・成人式は、1月20日、上野精養軒で行なわれ、約400名が参加した。役員がそろって新年の挨拶をした後、金英秀会長は、「昨年6月に新会長に就任し、各事業その他を運営してまいりましたが、9月のテロや金融不安の



多難な年でありました。今年は“済州道国際自由都市特別法施行”が初動、6月はW杯試合、11月は済州国体があり、4月19日からは成田＝済州直行便が運行され、今年も役員と協力して、夏季学校、高齢者招待故郷訪問、祖国への貢献と会員の親睦などの諸事業を展開していきたい」と挨拶した。

済州道から禹瑾敏道知事、金在浩済州道議会議長、張正彦、高珍富国会議員、元喜龍国会議員、姜相周西帰浦市長、康起権南済州郡守らが参席し、「国際自由都市特別法が通過し、W杯の試合も行なわれるので在日済州道民協会との連携をさらに強めたい」と口々に述べた。

2001年度国民勲章牡丹章の受章者である康民善相談役と、済州道文化賞の受賞者である金昶輝顧問が紹介され、花束が贈られた。禹知事から李徳雄(前会長)、梁直基両氏に功労表彰が授与された。

新成人7人に金会長と禹知事、姜西帰浦市長、康南済州郡守から温かい祝辞と記念品が渡され、代表して韓光美さんが「今年は済州でW杯の試合が開かれるし、成人を機にもっと目を開き、社会的な責任を果たしていきたい」と答辞を述べた。

第1部式典の閉会辞を呉賛益副会長が述べた後、第2部は李徳雄常任顧問の乾杯音頭で宴会にうつり、立食パーティが繰り広げられた。金永姫氏(李徳雄常任顧問夫人)の韓国古典舞踊が披露され、各機関の提供によるエアチケット、済州ホテル宿泊券、サッカー・ワールドカップチケットなどの景品があたる抽選会とビンゴゲームで雰囲気はあっそう盛り上がった。

組 織

■第42期役員

顧問：金坪珍 高瑋準 玄栢洙 金昶輝 高庠秀 高瑋鉉 高昌運  
 姜京俊 高章守 李時香 夫昇培 金和男 李淳元

常任顧問：李德雄

相談役：鄭興守 韓在龍 張潤鍾 康民善 金公俊 玄奎全 梁直基  
 金洪斤 韓元燮 鄭斗壽 吳益鐘 黃昌柱 李 權 洪炳基  
 韓在銀 金秀吉 金昌世 金成日 白一善 吳敬進 玄祥琮  
 金修一 金世邦

会長：金英秀

副会長：吳贊益 夫奉秋 慎龍九

総務部長：高尚弘 財務部長：姜丞宝 組織部長：李大浩  
 宣伝部長：金洪汶 渉外部長：金昌浩 事業部長：李成琥

青年部長：吳仁敦

監 査：鄭平普  
 李富博

■協会ニュース発行

第13号 2001年9月20日  
 第14号 2001年12月20日  
 第15号 2002年5月27日



第13号



第14号



第15号

定 期 総 会

■第42回定期総会開く

第42回定期総会が、2002年7月6日、ホテルパークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員60余名が参加し開催された。

金英秀会長による開会宣言後、2001年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画案および予算案を執行部の原案通り可決した。特に、済州会館創設計画案は多数の賛同を得、承認された。

## ■青年部

### ●家族同伴海水浴

2001年8月4～5日、恒例の家族同伴海水浴を千葉の鱈ヶ浦で行ない、23名が参加。当日は絶好の海水浴日和で、海水浴、モーターボートに興じ、夕方からはバーベキュー、花火など盛り沢山なプログラムで、翌5日も海水浴、モータースポーツに興じ、事故もなく無事に帰宅した。参加者の大満足の中に成功を収める充実した海水浴となった。

### ●ボーリング大会開く

2001年11月17日、浅草楽天地ボウルにて青年部ボーリング大会を開催。参加者17名は、午後5時より1時間半、6レーンを使用し、2ゲームトータルピン数で優勝を争った。結果は、梁和権君の優勝。二次会は、お好み焼き「つくし」に移動し、結果発表、飲み、食べ、語り、楽しいひとときを過ごした。

### ●必ずとれます！とらせます！韓国語検定1級

草の根での日韓交流、韓国からの最新流行の発信、ワールドカップサッカーの開催など、日本において韓国がより注目されている現在、ウリマルを全く話せない3世、4世の青年のために、ウリマルに接し学ぶ場を継続して設けていく予定だ。今年度の目標は「必ずとれます！とらせます！韓国語検定1級」を合言葉に勉強に取り組む。(初心者の皆様ご心配なく、1級＝初級資格です)

本年度からは 毎週木曜日午後6時30分から8時30分まで、事務所にて授業を行なった。韓国や済州道のことを少しでも理解したい、在日韓国人と楽しく交流したいという日本人もあり、老若男女を問わず好評を博した。

## ■済友会

### ●ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第90回	(切取戦)2001年7月24日	筑波カントリークラブ	金世邦
第91回	2001年10月29日	鳳琳カントリークラブ	鄭平普
第92回	2002年3月28日	ザ・レイクスカントリー倶楽部	金昶輝

### ●関東地区在日道民会親善ゴルフコンペ開く

2001年11月6日、霞ヶ浦出島ゴルフクラブにて東京慶尚南道道民会（金龍



濤会長)の呼びかけにより、金宰淑民団中央本部団長参加のもと、慶南、千葉慶南、慶北、全羅、済州各道民会による親善ゴルフコンペが開催され、ゴルフを通じ親睦を深めた。競技終了後の懇親パーティにおいて、今後毎年1回程度、相互協力のもと開催することが参加者の賛同により決まった。約50名参加し本会からは金英秀会長および4名が参加した。

## 在日済州婦人会

### ■香港親睦旅行

2001年11月4日より3泊4日の婦人会香港旅行に38名が参加した。滞在中は天候にも恵まれ、かの有名な100万ドルの夜景と言われるビクトリアピークから望む素晴らしい夜景、そして険しい崖の斜面に立ち並ぶ建物、高層ビルの建ち並ぶ東京に住む私たちも目を見はるほどの景観、そして活気あふれる人々、エネルギーがみなぎる香港を感じた。

3日目では個人各自でオプションツアーに参加した。目ざましい勢いで発展している中国に圧倒された。短期間であったが、今回の旅行でよりいっそう親睦を深め、楽しく思い出深い旅であった。

### ■第5回定期総会と送年会

2001年12月2日、婦人会第5回定期総会と送年会を、ホテルパークサイドにて開催した。総会は、金英秀済州道民協会会長をはじめ多数の来賓を迎えて始まり、康仁順総務部長の司会のもと議事進行した。今年は役員改選の年にあたり1年間の活動および財政の報告と総括の後、役員一同総辞職した。



その後新会長、新役員を選任について康仁順氏より経過報告があり、婦人会設立より2期、4年間会長を務めた韓道淑会長がもう1期引き続き会長の重責を担うことになった。会員一同は大きな拍手で歓迎した。

会長より新役員の発表があり無事総会を終えた。第2部送年会は、カラオケあり踊りありで大いに盛り上がり楽しい一夜となった。

### ■すぐに役立つ料理講習会

2002年3月20日、文京区茗荷谷生涯学習会館にて、第3回料理講習会を開催した。当日は、韓道淑会長が講師を務め、すぐに役立つ手軽で手早く作れる素朴な家庭料理を中心に、5種類の料理を教えた。参加者は皆ベテランの主婦たちであったが、会長が実演する料理を真剣にメモを取りながら学び、その後グループに分かれて実習、全員でテーブルを囲み料理を試食した。

## 会員ニュース

### ■金昶輝顧問「済州道文化賞」受賞



金昶輝顧問は、「2001済州道文化賞海外同胞部門」の受賞者に選ばれ、2001年12月21日、済州市内の文芸会館にて授賞式が行なわれた。本会結成に積極的に参加し、済州道発展のため多方面に寄与した功績、民団中央本部副団長・監察委員長・経済副団長を歴任しながら権益擁護と財政確立の拡充に力を注ぎ、いっぽう民族金融機関育成事業の功績も高く認められた。

### ■寄贈「光触媒和紙」消臭効果紙

成田＝済州直行便就航により、済州道に訪問した際、慰問先の済州円光療養院では、各部屋に空気の清浄機が必要だと認識し、済州道民協会から空気清浄機6台を寄贈した。又これとは別に鄭平普監査より、「光触媒和紙」50枚を贈呈した。この紙は光触媒効果のある和紙で作られており、消臭・抗菌・シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドの除去、ウィルスや細菌の除去等空気中の有害物質を吸収・分解し無害化する効果を持ち、部屋の臭いを消す効果がある。



## 濟州道通信

### 東京—濟州直行便運行説明会開催

2001年12月6日、濟州道主催にて禹瑾敏道知事をはじめとする、直行便開設推進委員会（委員長宋奉奎氏）の代表団一行が来日し、池袋メトロポリタンホテルにて業界関係者多数を招待し、成田—濟州におけるノンストップ便運行に関する説明会が開催された。席上、推進委員会代表より、次の方法にて直行便の就航が予定になったことが発表された。航空会社、使用機材については、大韓航空、A300型機、(C/Yクラス、266人乗、中型機)で、週4便とし、2002年4月19日より第1便が運行予定、

大韓航空広報担当者の説明によれば、この週4便の運行スケジュールは、2泊3日の旅行に対しより効率的な日程が組まれるよう配慮されており、当初の予定より、実施が繰り上げられたのは、成田空港第2滑走路の早期工事完了に伴うものであるとのこと。

当協会としても、将来国際自由都市としてあらゆる可能性が期待され躍進するであろう郷土のため、会社の慰安旅行に利用する等、路線活性化のため直接的な協力が望まれる。

### 濟州道で南北交流サッカー開かれる

在日大韓サッカー協会所属の「ムグンファ」チームと、在日朝鮮人サッカー協会所属の「ムシゲ」チームは、2001年10月13日、濟州道の西帰浦市で開催された「西帰浦同好会」チームとの親善サッカー大会に参加し、サッカー試合を通じて在日同胞30名と本国同胞との南北交流が行われた。今回親善試合は、「ムグンファ」チームが「ムシゲ」チームを濟州道に招待して行われたものだが、両チームは、日本国内で6年前から数回にわたり交流試合を行い、互いの信頼を積み重ねてきた。「ムシゲ」チームに所属する選手は、濟州道が本籍地である人が多いが、そのほとんどが一度も先祖の地を踏んだことがないという。W杯サッカー大

会在日韓国後援会の副会長・金昭夫団長が、積極的に働きかけ、今回済州道での親善試合を実現させた。試合結果は、ムシゲ3-3西帰浦同好会、ムグンファ2-0西帰浦同好会、ムグンファ7-3ムシゲであった。



## ● 済州マラソン祝祭、W杯成功を祈念

西帰浦市で開催されるワールドカップの成功を祈念し、第7回済州マラソン祝祭が2002年4月21日、西帰浦市と南済州郡で盛大に開催され、本協会から李徳雄常任顧問、金英秀会長、鄭平普監査、李成琥事業部長が開幕式に参加した。

済州道が主催し、済州道観光協会と西帰浦市が共同主管したマラソン祝祭には、道民2,500人をはじめ、観光客1,000人、外国人500人の4,000余人が参加、満開の春を満喫した。

## 人物交流

### ○ 2001年

- 7月12日 慎久範前道知事が来日し、当協会にて李淳元顧問、李徳雄常任顧問、金英秀会長、呉賛益・夫奉秋・慎龍九副会長、姜丞宝財務部長、李成琥事業部長、鄭平普監査と懇談
- 7月27日 夫萬根済州大学校総長が来日し、当協会にて金英秀会長、呉賛益・夫奉秋・慎龍九副会長、姜丞宝財務部長、尹榮翼理事と懇談
- 12月21日 済州4・3事件調査企画団3名が当事務所に来訪し、金英秀会長、呉賛益副会長、夫奉秋副会長等と懇談

### ○ 2002年

- 1月8日 高珍富国会議員が当協会に来訪し、役員と面談
- 1月11日 玄敬大国会議員が当協会に来訪し、玄棋洙顧問、金英秀会長、呉賛益副会長、夫奉秋副会長、慎龍九副会長、高尚弘総務部長、姜丞宝財務部長と懇談
- 5月30日 「風吹く島に花咲き薫る」公演の済州道公演団（金姫淑団長外2名）が来訪し、李徳雄常任顧問、金英秀会長、呉賛益副会長、夫奉秋副会長、高尚弘総務部長、姜丞宝財務部長と面談

## 2002サッカーワールドカップ韓日共催



2002年FIFAワールドカップは、韓国と日本が2002年5月31日から6月30日まで共同開催した第17回大会だった。1995年2月に韓国と日本が正式に立候補を表明した。アジア初というワールドカップ開催に韓日両国が熱烈な招致活動を繰り広げたがアヴェランジェ会長が定例理事会で韓日両国による共同開催案を自ら提案、満場一致の賛成で決定した。

出場国はアジアが4カ国、ヨーロッパが15カ国、南米が5カ国、北中米カリブ海から3カ国、アフリカが5カ国、計32カ国だった。韓日両国の開催都市はそれぞれ10カ所で韓国では、ソウル、大邱、仁川、釜山、大田、光州、蔚山、水原、全州、西帰浦が選ばれた。

試合結果はブラジルが優勝、準優勝がドイツ、3位トルコ、韓国がベスト4に進出して世界を驚かせた。

驚かせたのは試合の成績だけではなく、“赤い悪魔”と呼ばれた韓国国民の秩序ある大々的な応援もそうだった。また、その前までは共産主義の象徴のように嫌っていた赤色に対するコンプレックスも払拭された。

済州道西帰浦市の済州ワールドカップ競技場では6月8日ブラジルと中国、6月12日スロベニアとパラグアイ、6月15日ドイツとパラグアイの3試合が行なわれた。

済州ワールドカップ競技場を見たFIFA担当者と記者らは“世界で最も美

しいワールドカップ競技場である”という評価で話題を集めた。

同年9月17日、小泉首相は日本の首相として初めて北朝鮮を訪問し、平壤で金正日総書記と会談した。この会談で金正日総書記は日本人拉致問題を公式に認めた。

2003年3月19日、米国はイラクを攻撃し、ブッシュ大統領は「軍事行動は初期段階」と表現し「選別した標的」としてイラク指導部を標的したがその後、イラク全土に拡大した。

## 新法人「株式会社済京」設立

2002年7月6日、第42回定期総会において、特別議案として会館創設に関する議案が提議され、多数の賛同を得て承認された。直ちに会館創設推進委員会が結成され、名誉委員長 金坪珍顧問、委員長 李徳雄常任顧問、副委員長 呉賛益副会長の人事を決定した。

その後、推進委員会としての位置づけや方針について基本的な理解を得たうえで、理事会員に幅広く出資を募ったところ、出資者7名にて合計3,000万円が出資金として入金された。それを踏まえ、準備委員会から新会社設立へと発展的に移行することになり、称号を「株式会社済京」と称し、不動産の賃貸、仲介及び管理を目的とする新会社が誕生した。

2002年11月1日付で新法人「株式会社 済京」が設立登記された。本店所在地は、当協会事務所を併用することにより同住所とし、取締役として李徳雄常任顧問、呉賛益副会長、玄棋洙顧問、監査役として鄭平普監査役が就任し、李徳雄と呉賛益の両氏が共同で代表取締役としての重責を担うことになった。

## 主 要 行 事

### ■ 済州道知事の就任式に参加

禹瑾敏第33代済州道知事の就任式が、2002年7月2日漢拏体育館で道内各機関長、道民など2000余名が参加し行なわれた。禹知事は「『強い済州』は世界化を恐れないで、無限競争の時代でも競争力を失わず、道民だれでも豊かに住める、われらの子孫もこの済州に生まれたことを誇りに思える社会

にする。土地の面積は狭くても東北アジアの新しい文明の中心地になるべきだ」と所信表明した。

就任式には李徳雄常任顧問、金英秀会長、李成琥事業部長、金世邦相談役が参加し、式後、各地域道民会長と懇談の場を設け懇親を深めた。

## ■第16回夏季郷土学校——濟州の伝統と文化を体験



国内外に居住する濟州道民の子弟が2002年7月29日から8月4日（6泊7日）国内外に居住する濟州道民の子弟が2002年7月29日から8月4日（6泊7日）まで、夏休みを利用して故郷濟州道を訪問、歴史や郷土史を学ぶために濟州道地方公務員教育院の「第16回夏季郷土学校」に参加した。

郷土学校は、濟州道と濟州大学校の共同主催で行われ、29日の入校式には濟州道知事、濟州大学校総長、濟州道議会議長、濟州地方公務員教育院院長、その他各濟州道民会の役員が多数参加し、学生たちを激励した。

今年は学生総数69名が参加し、当協会からは学生9名が参加した。歴史遺跡地踏査と伝統文化体験などのさまざまなプログラムにより、濟州道を故郷にもつ2世、3世たちは愛郷心と濟州人としての誇りを持ったことであろう。参加した学生は「いろんな学習を通じて濟州の歴史と文化を体験し、良い思い出がたくさん出来ました」と印象を語っていた。当協会からは金英秀会長、呉賛益・夫奉秋・慎龍九副会長、李成琥事業部長、鄭平普監査が学生たちを引率同行した。

## ■親睦旅行会—熱海にて開く

親睦旅行会が、2002年10月27日熱海「うみのホテル中田屋」にて、理事、会員、婦人会役員参加のもと行なわれた。高尚弘総務部長の司会で第3回の理事会と旅行会が開かれ、金英秀会長より半年間の事業報告と挨拶があった。金坪珍顧問の乾杯音頭にて宴会に入り、なごやかな雰囲気の中カラオケ等の余興で、相互間の親睦を深めながら一夜を過ごすことができた。

### ■第6回故郷訪問事業実施——故郷の変貌に感動

2002年10月4日から3泊4日の日程で、渡日以来一度も故郷を訪問していない60歳以上の高齢者を対象に、済州道が毎年無料で招待する故郷訪問事業が実施された。在日同胞28名の参加者のうち朝鮮国籍者5名と80代高齢者7名も含まれており、感無量の感想を述べた。本会からは参加者9名と呉賛益副会長、鄭平普監査、李成琥事業部長が同伴引率した。一行は故郷訪問の間、親族と再会したり先祖の墓参などの供養を行ない、感激を新たにした。

また、耽羅文化祭開会式に参加し、主要観光地や事業場を見学した。当協会から参加した朝鮮籍の朴尚根氏は、国際自由都市として生まれ変わる故郷済州の変化に驚き、一生の願いが叶ったとその感動を語った。

### ■在外済州道民会役員研修会

2002年11月8～9日、在外済州道民会役員研修会が在外済州道民会総聯合会の主催で、在外済州道民会16団体から65名の役員参加のもと、済州道地方公務員教育院にて盛大に行なわれた。夫奉秋副会長と慎龍九副会長が参加した。8日入校式と記念写真撮影があり、済州道庁の企画管理室室長から道政主要説明があり、済州人は道内に約50万人が居住し、約50万人が在外にいるとのこと、2002年度年間予算は約1兆8000億ウォンで、その約60%が政府の負担によって賄うことになっているとのことである。

続いて、全女性団体協議会会長による講演があり、参加者は済州コンベンションセンターと済州ミカン加工工場を見学した。コンベンションセンター設立のために政府が公約していた450億ウォンが提供されたとのことである。晩餐会は、禹瑾敏済州道知事と金榮訓道議会議長が参席し、在外同胞「友情のマダン」となり、思い出深く楽しい親睦を図ることができた。

11月9日には、高ブオン済州大教授が、「済州国際自由都市としての新たな出発」というテーマで、済州道が香港、ドバイのような自由貿易都市を目指すと、ユーモアあふれる講義で人気を集めた。高忠錫済州祭展研究院院長は「済州道未来のため済州人の役割」と題し、済州人100万人が一致団結し、時代に沿った優秀な人材を結集して済州道を発展させようとの力強い講演が行なわれた。

昼食は、総聯合会の会長である宋暢禹ソウル済州道民会会長の主催で行な

われ、その席上我々50万在外道民が一体となり、親睦を図りながら済州道の発展のために寄与することと、毎年研修会を開かれることになった。

## ■2003年度家族同伴新年会・成人式



家族同伴新年会・成人式が2003年1月19日、上野精養軒で開催された。多数の会員および家族、国内外からの来賓400余名が出席。華やかな雰囲気の中、式典と互いに新年挨拶を交歓した。

金英秀会長は、2002年度は4月19日からの成田⇄済州直行便運行、6月開催のW杯西帰浦サッカー競技場試合、11月の済州国体等への協力に感謝を表し、さらに定期総会、夏季学校、高齢者招待故郷訪問、耽羅文化祭参加、理事旅行会等の事業への協力に対し謝辞を述べた。また当協会の念願である済州会館創設に関しても皆様の絶大なるご協力を賜りたいと挨拶した。

来賓からは、禹瑾敏済州道知事、金宰淑在日本大韓民国民団中央本部団長、高珍富大韓民国国会議員、金榮訓済州道議会議員、金泰煥済州市長、申喆宙北済州郡、宋暢禹在外済州道民会総連合会会長から祝辞があった。

成人式には男女10名の参席のもと、協会から会長の祝辞と記念品贈呈、済州道知事、済州市長・北済州郡守から心のこもった祝辞と記念品がそれぞれ贈られた。新成人代表として答辞を、金智香嬢が感謝とともに済州人としての決意を力強く述べた。さらに、道知事から金洪斤相談役に全国体育大会在日本同胞引率団長としての功績を称え功労章が贈られた。

引き続き第2部は、特に人気のビンゴゲームおよび抽選会を含めた懇親会が開かれ、予定時間を忘れるほど楽しい新年会を共にすることができた。

引き続き第2部は、特に人気のビンゴゲームおよび抽選会を含めた懇親会が開かれ、予定時間を忘れるほど楽しい新年会を共にすることができた。

## 組 織

### ■第43期役員

顧問：金坪珍 高瑋準 玄拱洙 金昶輝 高庠秀 高瑋鉉 高昌運  
姜京俊 高章守 李時香 夫昇培 金和男 李淳元  
常任顧問：李徳雄

相談役：鄭興守 韓在龍 張潤鍾 康民善 金公俊 玄奎全 梁直基  
 金洪斤 韓元燮 鄭斗壽 吳益鐘 黃昌柱 李 權 洪炳基  
 韓在銀 金秀吉 金昌世 金成日 白一善 吳敬進 玄祥琮  
 金修一 金世邦

会 長：金英秀

副 会 長：吳贊益 夫奉秋 慎龍九

総務部長：高尚弘 財務部長：姜丞宝 組織部長：李大浩

宣伝部長：金洪汶 渉外部長：金昌浩 事業部長：李成琥

青年部長：吳仁敦

監 査：鄭平普 李富博

### ■協会ニュース発行

第16号 (2002年 9月13日)

第17号 (2002年12月26日)

第18号 (2003年 5月20日)



第16号



第17号



第18号

## 定 期 総 会

### ■第43回定期総会開く



第43回定期総会が、2003年 6月 28日、ホテル・パークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員、青年部役員諸氏60余名の参加のもと開催された。金英秀会長が総会の開会宣言後、2002年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画および予算案を執行部の原案どおり可決した。また、青年部の2002年度事業報告および会計報告、新年度活動案および予算案も承認された。

引き続き最後の議案に移り、呉賛益副会長より7月中にも所有権移転登記を済ませる予定の済京ビル取得に関する事業概要の説明があり、会員からの発展的な意見も多数寄せられ、今後、進める事業に理解を得た。その後、役員改選に移り、第24代会長に呉賛益氏が選出された。新会長より協会運営にあたり、「財政基盤確立のため、収益事業としての新会社(株)済京については、組織を充実させ今後は幅広く意見を取入れ、風通しの良い会社として運営していき、微力ながら「在日本済州道民協会」の捨石になる覚悟だ」と抱負とともに力強い就任の挨拶があり、総会を無事に終えた。

## ■青年部

### ●癒されました！恒例の家族同伴海水浴

2002年8月3日、恒例のイベント家族同伴海水浴を開催した。千葉県安房勝山の六六海岸に集い、例年になくきれいな海で、家族とともに楽しいひとときを過ごした。34名の参加予定であったが、不況を反映して急な仕事が入る等のキャンセルが相次ぎ、15名の参加者にとどまった。海辺でゆったりと過ごし、日頃の疲れを癒した。楽しいスイカ割り、花火は例年通り行ない日帰り組は帰宅、1泊する参加者は翌日も海水浴を楽しみ、参加者全員けがもなくお開きとなった。

### ●のんびりゆったり青年部旅行

2003年4月19～20日、丸名工芸勝山荘にて1泊2日ののんびりゆったり旅行を実施した。参加者は女性4人を含む11人。東京ドイツ村でソーセージとドイツビールを堪能し、強風のため予定を変更し早めに現地に……。夕食はバーベキューとアワビ・伊勢エビの刺身等とチヂミ・トッポキ等韓国料理で夜遅くまで楽しんだ。朝食は飲みすぎで疲れた胃に優しいアワビ粥。朝からの雨で予定を変更し李常任顧問お薦めの寿司屋で新鮮なネタを食べ帰路についた。その後夕食は李忠憲次長のマンションで焼肉&アワビの刺身&バター焼きを肴に遅くまで楽しい時間を過ごした。

## ■済友会

### ●ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第94回	2002年10月28日	西熱海ゴルフ場	夫鍾澤
第95回	2003年4月16日	霞ヶ浦ゴルフコース	鄭平普

### ●在京道民会親睦ゴルフ会開催



在京道民会親睦ゴルフ会が、慶尚北道道民会（李震雨会長）の主催で、2002年10月4日清澄ゴルフ倶楽部にて開催された。慶北、慶南、全南、済州道民協会の参加者13組49名により行なわれ、本会からは会長はじめ7名が参加した。各道民会が一堂に会することにより、情報交換や意見交換を行ない、幅広い交流で有意義なゴルフ会であった。

## 在日済州婦人会

### ■鬼怒川温泉親睦旅行

親睦旅行会が、2002年10月5日から2泊3日の日程で、鬼怒川温泉「男鹿園」にて行なわれ40余名参加した。韓道淑会長よりこれまでの経過報告ならびに挨拶後、左玉花監査の乾杯音頭で宴会に入り懇親を深めることができた。特に暑かった今年の夏の疲れを癒し新たな活力を養い、温泉につかり身も心もリラックスしたこの旅で会員間のいっそうの親睦をはかることができた。

### ■第6回定期総会・送年会

2002年12月8日、第6回定期総会と送年会が、ホテル・パークサイドにおいて開かれ、来賓・会員70余名が参加した。2002年度の活動を総括し、2003年度に向けての活動



予定、予算案を確認して、事業報告書どおり承認・可決された。韓道淑会長は、「行事、活動内容もますます充実していく婦人会は、会員皆様のご協力による団結力のおかげである」と感謝の言葉を述べた。

第1部の定期総会も円満に無事終了、第2部に入り送年会が開かれ、カラオケを楽しんだ後、手と手をつなぎ大きな輪を描いて踊り、みんなの心がひとつになり、より良い来年に向けて挨拶を交わすひとときになった。

## ■マダン劇「漢拏の慟哭」観劇

「済州4・3事件」55周年を追悼し、2003年4月10・11日、マダン劇「漢拏の慟哭」が、日暮里ラングウッドホテルのサニーホールで公演され、1400余名が観劇した。

10日は在日作家である金石範氏、11日は梁石日氏の挨拶があり、済州4・3事件真相調査団首席専門委員の梁祚勳氏から「済州4・3事件の真相調査団に参加して」と題しての講演があった。

続いて、ノリペ「漢拏山」のマダン劇「漢拏の慟哭」が、済州道4・3事件のなかで特に悲劇的であった島の北東に位置する、北済州郡朝天面北村里国民学校に集合させられ、虐殺された事実に基づいて演じられた。

このマダン劇は済州道の方言で上演され、済州道出身の同胞に故郷を思い出させ、感動を与え、観客の中では事件を思い起こし涙ぐむ方々も見受けられた。本会と婦人会から多数が観劇した。特に婦人会では、公式行事の一環としてこの観劇会を開き、昼食会に引き続き、55余名が観劇した。今回の劇は国の責任においての事件の真相糾明と犠牲者の名誉回復を呼びかけるなど、多くの在日同胞に理解と協力を願うものでもあった。

## 会員ニュース

### ■故郷への愛——張潤鍾相談役済州大学校に後援金を寄贈

当協会の相談役である張潤鍾相談役（82・長岡商事会長）が2003年5月29日済州大学校（総長夫萬瑾氏）を訪問し、済州大開校50周年記念館の建立後援金として1億ウォンを寄贈した。この他にも、昨年1月、済州大医科大学発



展基金として2億ウォンを寄贈、済州道の人材育成に力を注いでいる。

## ■母校への熱い思い——呉益鐘相談役



西帰浦市西好洞出身の呉益鐘相談役（65・伸興化成社長）が、母校、西好初等学校に1億5千万ウォンを寄贈した。後輩らが、バドミントンの練習に励んで全国大会で2位や3位になるなど頑張っているが、競技に適した専用の練習場がなく、その場をもとめて転々とするという話を耳にした呉氏は寄贈を即決し、後輩らを激励した。母校に対する熱い思いは今回だけでなく、1990年に校楽隊の創設寄金として500万ウォン支援、また同年に給食調理室の敷地購入金として3千万ウォンを寄贈するなど、絶え間ない母校愛を実践している。

## ■故郷に時計塔寄贈——左玉花氏



西帰浦市出身の左玉花氏（婦人会監査）が故郷を称えるために西帰浦市にある東洪2公園に時計塔を寄贈した。2003年5月30日3600万ウォンの工事費で高さ8メートルの時計塔を設置し、寄贈式を行った。この時計塔は、正午と午後6時に童謡の“고향의 봄（故郷の春）”のメロディを奏でる仕掛けになっており、地域住民と公園を訪れる観光客に時刻を知らせ、心を和ませる観光名所が増えたと喜ばれている。

## ■金洪斤相談役「在日同胞選手団」団長に



第83回国体が、済州道にて2002年11月9日より7日間の日程で、40種目にわたる競技が開催される。本年も海外支部として「在日同胞選手団」が結成され、当協会金洪斤相談役が団長に就任し、本部役員が構成された。引率顧問として当協会金英秀会長、ならびに高昌照関西済州道民会長が就任した。

## 人物交流

## ○ 2002年

## ● 済州道議会の教育観光委員長一行来日

済州道議会の教育観光委員長に就任した夫奉河氏外12名が、日本の観光地視察および教育発展のため、8月12日～16日来日し、東京都庁および教育観光施設を視察した。協会事務所には15日来訪、李徳雄常任顧問、金英秀会長、呉賛益・夫奉秋・慎龍九副会長、鄭平普監査、高尚弘総務部長、姜丞宝財務部長、李大浩組織部長、金正憲理事と故郷済州道の教育観光部分について意見交換した。

## ● 済州国際自由都市開発センター長来日

9月3日、済州道の国際自由都市法が実施されたことに伴い、韓国政府から済州国際自由都市開発関連のプロジェクトを担当している済州国際自由都市開発センターの鄭鍾煥理事長外3名が当協会を訪問した。来年早々には日本で在日済州道民及び日本人に投資誘致についての説明会を開く予定であると話した。会長団と面談。李徳雄常任顧問、金英秀会長、呉賛益・夫奉秋・慎龍九副会長参加。

## ○ 2003年

## ● 漢拏日報会長来訪

新年早々の1月9日、済州道の日刊紙である漢拏日報の姜栄石会長が当協会を訪問した。姜栄石会長は南北協力運動本部の理事長でもあり、北韓訪問の事業を毎年2回推進しており、今年の訪問には当協会からも5名位参加して欲しいと要請した。

金英秀会長、呉賛益副会長、夫奉秋副会長、慎龍九副会長、鄭平普監査、姜丞宝財務部長、李成琥事業部長、金玟哲会員と共に済州道の関心事項等などについて意見交換した。



## 濟州道通信

### ● 耽羅文化祭開会式参観

第41回耽羅文化祭が、濟州道新山公園で2002年10月5日開催された。吳賛益副会長、鄭平普監査、李成琬事業部長が参加した。開会式においてソウル濟州道民会、関西濟州道民協会、当道民協会から大会委員長に耽羅文化祭協賛金の伝達式があった。また歓迎晩餐会には故郷訪問者らと在外道民協会役員らが同席し歓談した。

### ● 国際会議の中心地目指す——ICCJEJU開館式

#### 濟州コンベンションセンター竣工開館

濟州国際コンベンションセンター(ICCJEJU)は、2003年3月22日竣工開館式が行なわれ、李滄東文化観光部長官や禹瑾敏濟州道知事をはじめ、地元道民が多数参加した。盧武鉉大統領は映像を通じ、「ICCJEJUの竣工は濟州道民と政府及び道庁がまさしく官民一体となって行なわれた努力の賜物であり、濟州道が東アジアにおける国際会議と観光・文化の中心地として限りなく飛躍することを期待する」とメッセージを寄せた。また吳光協代表理事(前西帰浦市長)が、起工から竣工に至る5年間に及ぶ経過を感慨深げに語り、竣工を機に勇退する意思を表明した。開館式には、李時香顧問、高富仁理事、吳賛益副会長、金正憲理事、李成琬事業部長が参席した。

### ● 濟州ワールドカップ競技場の今後は？

1千億ウォン以上の建設費が投下された巨大な競技場は、ワールドカップ試合以後の使い道に関心が寄せられている。アイマックス映画館建立計画があったが、投資予定だった米ジテク社が中途辞退し話は白紙に戻った。免税店・ショッピングセンターの誘致と国際サッカー大会創設などのスポーツマーケティング事業による競技場の入場料徴収、国家代表チームの冬季訓練場としての使用料などが提案された。また地域のチームが、ホームグラウンドとして濟州ワールドカップ競技場にプロサッカーチームを創団する計画もあるという。



# 盧武鉉大統領就任



1946年慶南金海市烽下村の貧しい農家で生まれた盧武鉉氏が2003年2月第16代大統領に就任した。釜山商高を卒業して1975年司法試験に合格し、人権派弁護士として活動を始めた。1988年統一民主党の金泳三氏に抜擢され、同年4月に行われた13代国会議員選挙で当選し、政界入りした。その後、14代、15代、16代国会議員選挙で落選するが、勝てなくても立候補し続ける姿が一部の国民の共感を得て、2000年にインターネット上で盧武鉉のサポーター組織「ノサモ」（ノムヒョヌル・サランハヌン・モイム：盧武鉉を愛する集まりの意）が結成された。

2002年12月、大統領選でハンナラ党の李会昌候補を約57万票差の僅差で制し、第16代大統領に当選した。在任中、盧大統領は外交通商部長官に潘基文を任命し、国連事務総長の道を開いた。2003年10月には「4・3事件真相調査報告書」を済州確定、盧大統領は済州道を訪問し、政府を代表して4・3事件の犠牲者遺族に謝罪。2006年には大統領として初めて<4・3、58周年慰霊祭>に参列した。

2003年10月10日、小泉首相は郵政民営化のため衆議院を解散し、同年11月19日、選挙で与党は絶対安定多数を確保した。

2004年5月22日、小泉首相が北韓を再訪問し、日朝首脳会談が行なわれ拉致被害者の家族5人と帰国した。

## 第24代会長・呉賛益体制出帆

第43回定期総会で選出された呉賛益会長は、当協会の財政の健全化を図るとともに、事務所移転等の懸案問題に意欲的に取り組み、また、在日諸団体の親睦交流にも積極的に意欲的に活動支援したいと熱い思いを寄せた。

### 会長就任によせて



私は、このたび第43回定期総会における承認を得まして「在日本濟州道民協会」の第24代会長に就任いたしました。協会運営にあたりまして抱負と、あわせて新会社(株)済京の事業報告を申し上げます。

呉賛益 第24代会長

皆様もご承知のとおり、当協会は1959年9月荒川区「菊水園」において12名の参加者による第1次発起人会をもったことに始まります。席上在日本濟州道出身者がおかれている状態や、愛する郷土濟州道の将来に対する議論が沸騰し、会合を重ねるうちに賛同者が次第に増え、1961年2月25日、上野「宝ホテル」において、名称を「済州開発協会」とする創立総会が開かれ、会長以下の役員を選出し、会則と協会設立宣言文とも言える「趣旨文」を満揚一致で可決承認し決議され、21世紀の到来と共に「40周年」を迎えた在日濟州道出身者による「済州人」の為の親睦団体であります。

このような歴史と伝統を誇る当協会の会長職就任の意向打診を受けた際、私は前記「趣旨書」を繰り返し読み返し、参考にしながら協会設立の趣旨と存続意義を再認識することに努めました。その趣旨宣言文の一言一句に正に、協会設立の精神、在り方、将来への方向性が示されており、在日濟州道民の精神的なバイブルとも言える素晴らしい文章であります。

在日1世の濟州出身者である諸先輩方が、30歳代にてかくも崇高な理念のもと、豊かな見識を持ち合わせ、乾坤一擲の気概でこの困難な在日社会を生き抜き、みかん栽培事業等々の故郷開発事業および人材育成事業ならびに教育行政に多大の貢献が成されたことは、在日社会は言うまでもなく本国においても広く知られており心より敬意と感謝を申し上げます。

私は在日2世ではありますが、常日頃より日常生活に同様な人生観や目的意識を持ち続けて参りましたので、当協会の会長職に推挙・承認された場合には、重大な覚悟と責任感でお受けするのが使命であるとの判断のもと、熟慮を重ねて会長就任を決意いたし

ました。

私は、前期副会長職の頃より財政基盤確立のため、収益事業としての新会社設立の必要性を説き、昨年11月1日の(株)済京設立の時には代表取締役の任を受けました。

新会社は皆様方ご承知のとおり、収益還元できる賃貸物件を購入し、その収益の一部により、わが済州道民協会の固定費を賄い、他方、出資者であります株主に対してはビル購入のため金融機関より借入れた資金を約定どおり返済し剰余金については内部留保につとめ、付加価値を高めて将来的には魅力ある株式とし、更には会員相互への流通、即ち換金の為の譲渡を認め有利な資産とする事を目的とする株式会社であります。

しかしながら上記新会社の概要につきましては、当協会の財政基盤の確立の為に設立された、協会により運営される会社であるということが一大前提としてあることは、株主や会員の皆様方が承知している事実でもあり、いろいろな点でご理解を賜りたいと思います。

今後の協会運営にあたりましては、新年会をはじめとする恒例の行事は当然のことながら、任期2年間のうちに(株)済京の協力のもと、財政基盤の確立と若き青年部の充実に全力を尽くす所存であります。執行部の協力のもとホームページを開設し、在日は勿論、本国の若者、あるいは日本人との国際的交流を深め、済州道民協会青年部の存在を世間にアピールし、更には協会の宣伝にも寄与すべき方向性を持たせ、若者の関心を集めることが有能な人材の発展と育成につながるのではと思います。

次に在日済州婦人会につきましては、韓道淑会長が任期満了にともない勇退され、新会長に呉春花女史が就任されましたが、婦人会の皆様方にも建設的なご意見を寄せていただき、文字どおり夫唱婦隨の関係で共に歩んでまいりたいと思っております。

次に(株)済京についてであります。本年7月23日所有権移転登記を済ませ不動産の引渡しを受け順調に営業致しております。その事業概要は、後に記載の通りであります。

私は貸ビル業を主たる事業とする不動産業を営んでおりますが、私の評価からしても諸般の事情を考えるに、築年数以上にすぐれた仕様による外観や収益性、賃借人の会社概要、100%の入居率等々、特に立地条件につきましては、交通の手段としては山手線、総武線及び中央線、地下鉄では銀座線、日比谷線、千代田線が利用でき、さらには常磐新線の開通もそう遠くありません。

また、秋葉原の再開発事業によりやがてNTTが進出する計画で、既に着工されております。その他、事務所・マンションの複合ビルも着工される等、申し分ない環境となり将来性豊かな好位地にあり、前面道路も十分であります。

さらにもう一言付け加えますと、当該地は当協会の前身である「済州開発協会」の発祥の地に至近距離にあるとも聞き及んでおりますが、因縁浅からぬものを感じます。銀行借入れも金額4億3,000万円、利息年3%（変動金利）、期限18年の元利均等払の条件とされている現況の金融事情を考えますと、非常に有利な条件となっております。

以上、総合的に判断致しまして(株)済京にとって最もふさわしい条件を備えた物件であります。貸ビル運営にあたりましては、私の会社である(株)美浜が当面无報酬にて責任をもってあたり、株主の皆様には今後魅力ある株式として、また協会にとりましては、財政の支えとして貢献致す所存でおります。

不動産の引渡しを受けたのを踏まえまして(株)済京の取締役を5名程増員し、組織を充実させ早い時期に取締役会を開き、更には株主をはじめとする関係各位にご参席を賜り、説明会を開き今後は幅広く皆様方の良きご意見を取入れ、また参考にし、新会社の営業と経理内容を逐次定期的に仮決算の形で、各取締役に報告しながら風通しの良い会社として運営していく所存でおります。

事業の方向性が定まり運営の基礎が固まり、金融機関の理解が得られましたら早い機会に協会の更なる発展のためにも皆様とご相談のうえ、私の職務を後任に委ねるのが私の希望するところでもあります。

在日社会の世代交代が叫ばれて久しくなりますが、こと協会運営に当たりましては顧問、相談役をはじめとする在日1世の皆様方はその使命と役割を十二分に果たされました。その苦勞と恩義に報いる為にも今こそ在日2世である我々が時代に即応した形で正しくその歴史と伝統を引継がなければなりません。

私は微力ではありますが、「在日本済州道民協会」の捨石になる覚悟で誠心誠意努力致す覚悟でおります。会員皆様方のご支援、ご協力の程、今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 記

物件所在地：千代田区外神田5-11、土地57.2坪、建物360坪、地上8階建、事務所ビル

賃貸状況：現在全室入居済、月間総収入(消費税、共益費込) 金500万円、

保証金 金2,600万円

固定資産税及び都市計画税：土地220万円、建物218万円

総事業費 金5億円

## 主 要 行 事

## ■第17回夏季郷土学校

2003年8月1日から7日まで「第17回夏季郷土学校」が、済州道地方公務員教育院と国立済州大学校で共催され、当協会からは学生9名と引率役員12名が参加した。

60名以上の在外道民2世・3世たちが、約1週間の予定で済州道の歴史、

道民との交流を図る民泊、済州大学の実習船「我羅号」乗船による海上観光等と、充実した内容の授業で故郷を学んだ。韓国語のできない学生たちには、これを機会に母国語を学んで欲しいと思った。

また、今回夏季学校の引率と同時に、第43回定期総会にて新会長になった呉賛益会長をはじめ、金英秀常任顧問以下総勢12名の役員は済州道庁、済州大学校他、各省庁を表敬訪問し、済州道の現状などの説明を受け意見交換をし、各省庁との交流を図った。



## ■熱海「石亭」にて親睦旅行会開催

親睦旅行会が、2003年11月16日熱海「石亭」にて、理事、会員、婦人会役員、青年部役員のもと総勢45名の参加により開催された。呉賛益会長の挨拶から始まり、金和男顧問の乾杯音頭にて宴会に入り、新しく理事・会員に

なった方の自己紹介を交えながら、和やかな雰囲気の中、カラオケ、抽選会などの余興で盛り上がり、相互間の親睦を深めることができた。その後の二次会にも、多数の方々が参加して有意義なひとときを送ることができた。

## ■第7回故郷訪問事業実施

2003年10月3日から3泊4日の日程で、済州道出身の高齢者故郷訪問行事が実施された。この行事は、諸事情により過去10年間一度も故郷を訪問していない60歳以上の高齢者を対象に毎年済州道が無料で招待して行なわれている。



参加者の中では2世의 할머니（ハルモニ）が初めて故郷の土を踏み、幼い頃から 어머니（オモニ）に聞かされていた、済州道の印象とは違う故郷の発展した姿に驚きと感動を語っていた。最終日の夜のお別れパーティでは、在外道民連合会のセミナーに参加していた鄭平普副会長も同席し、いっしょに歌い踊り、最後の夜を楽しんだ。

帰国日の朝には道知事が宿舎に訪れ朝食を共にし、参加者全員に記念品が贈られ、温かい歓迎に大感激。その後、西帰浦のワールドカップ競技場を見学し、 할아버지（ハラボジ）、할머니皆で手拍子をしながら「대한민국（テハンミング）」を大合唱し無事日程を終えた。

7回目の実施となった今年は東京から9名、大阪から13名、仙台から4名の計26名が参加し、当協会から李徳雄顧問をはじめ呉賛益会長、金正憲副会長、李成琬国際部長の4名が引率者として同伴した。

## ■済州国際自由都市と在外済州道民の役割——セミナー参加

10月4日、済州道中小企業総合支援センターにおいて、在外済州道民協会総連合会、済州国際協議会、済州大平和研究所の三者共催によるセミナーが、100余名の関係者が参加し開催された。

済州国際自由都市は2002年1月に特別法が公布され、4月に済州道が国際自由都市に指定された。現在いくつかのプロジェクトが進行中である。

このセミナーは政府が東北アジア物流センターの青写真発表ならびに特別法改正の過程の中で、済州国際自由都市と在外済州道民の役割を討論し、建

議提供と雰囲気醸成のために開催されたものである。

当協会の鄭平普副会長が、「在日本済州道民協会創立から済州国際自由都市特別法公布まで」をテーマに主題発表を行なった。

## ■2004年度家族同伴新年会・成人式開催



恒例の活気あふれる新年会ならびに成人式が2004年1月18日上野精養軒にて380名余りが参加して行なわれた。本国から禹瑾敏済州道知事夫妻、日本国内からは金幸淑民団中央本部団長をはじめとする多くの来賓が参席した。

特に本年は婦人会の協力を得て、司会を高尚弘副会長と康仁順婦人会相談役が行なった。

式典は、第1部において執行部と婦人会役員

の合同新年挨拶(세배인사)が行なわれた後、協会を代表して呉賛益会長が、「昨年は協会にとって永年の懸案である(株)済京を設立し、当協会の会館とも言うべき済京ビル(通称K・S・Kビル)を購人できましたことは、金坪珍顧問をはじめとする顧問、相談役の皆様方の心強いご支援と執行部役員以下関係者のご協力の賜物であり、衷心より感謝申し上げます」と新年挨拶を述べた。次いで済州道知事祝辞から来賓祝辞、来賓紹介に続き、禹瑾敏道知事より済州道知事功労者表彰が李日玉、金玟哲、金英秀、高二三、夫順末、康仁順の各氏に授与された。成人式には新成人11名が参加した。

第2部の進行は青年部が担当し、李時香顧問の乾杯に続き宴会が和やかな雰囲気の中で進み、恒例の抽選会とビンゴゲームが行なわれ、今年も賑やかで豪華な賞品を手にした幸せいっぱいの笑顔が印象的だった。長時間にわたる新年会・成人式も時間となり名残惜しみながら盛会のうちに終了となった。市特別法公布まで」をテーマに主題発表を行なった。

## ■協会事務所移転

2004年2月17日、(株)済京の臨時株主総会があすか信用組合上野支店2階会議室において開かれ、席上本社事務所として東京都文京区湯島所在区分所有建物を購入することが満場一致で決議された。済州商事(株)を賃借人とし

て契約している現協会事務所は、立地条件も良く、永年会員に愛されてきたが、経年による設備の老朽化が激しく、有効面積も十分とはいええず、事務所移転は協会の懸案事項で



あった。臨時総会における協会事務所移転決議により、前記本社に3月30日をもって当協会、婦人会並びに青年部が移転した。長年にわたり慣れ親しんだ協会事務所を移転するに当たり、時代の流れのなかで、一人ひとり感じるところがあるが、今後の協会のさらなる発展を期するための拠点としてとらえていきたい。

## 組 織

### ■第44期役員

顧問：	金坪珍	高琿準	玄栞洙	高庠秀	高琿鉉	高昌運	姜京俊
	高章守	李時香	夫昇培	金和男	李淳元	李德雄	
常任顧問：	金英秀						
相談役：	鄭興守	韓在龍	張潤鍾	康民善	金公俊	玄奎全	梁直基
	金洪斤	韓元燮	吳益鐘	黄昌柱	李 権	洪炳基	韓在銀
	高富仁	金秀吉	金昌世	金成日	白一善	吳敬進	玄祥琮
	金修一						
会 長：	吳賛益						
副 会 長：	金世邦	金正憲	李富博	夫奉秋	慎龍九	李大浩	
総務部長：	高尚弘	財務部長：	姜丞宝	事業部長：	鄭平普		
組織部長：	金光一	宣伝部長：	金洪汶	渉外部長：	金昌浩		
国際部長：	李成琥	総務次長：	吳仁敦	青年部長：	李忠憲		
監 査：	韓斗現	康大熙					

## ■協会ニュース発行

第19号 2003年12月8日

第20号 2004年5月14日



第19号



第20号

## 定期総会

### ■第44回定期総会開催

第44回定期総会が、2004年6月26日ホテルパークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員、青年部役員諸氏70余名の参加の上、開催された。呉賛益会長が開会宣言後、2003年度事業報告および会計報告が承認され、新年度の事業計画および予算案を執行部の原案通り可決された。また、青年部の2003年度事業報告および会計報告、新年度活動案および予算案も承認された。

席上、呉賛益会長は(株)済京の運営は順調に行なわれており、さらに4月には文京区湯島3丁目に区分所有建物2階部分80坪を(株)済京が購入、「在日本済州道民協会」「(株)済京」「在日済州婦人会」の看板を掲げ、「青年部」も含め事務所移転を済ませ、より充実した環境で活動していると語り、かねてより計画されていた「K・S・Kビル披露式典」を7月9日挙行することを提議し満場一致で承認された。会長就任2期目を迎えた呉賛益会長は、協会のさらなる発展に努力すると力強く抱負を語り閉会した。

第2部の小宴会は、李時香顧問の乾杯の発声で始まり、終始なごやかな雰囲気の中で会員相互の親睦と友好を深めた。

### ■青年部

#### ●青年部活動について

青年部は、在日韓国人の済州道出身者2世・3世を核として親睦を図り、毎週1回の母国語講座や新年会、忘年会、家族同伴での海水浴、ボーリング大会等イベントを開催している。

母国語講座は、毎週土曜日午後7時～8時30分に集まり、講師は、NHK韓国語講座スタッフ李美賢先生と韓国人留学生で、女性講師による解かりやすい講座で、女性も多く幅広い年代の方が熱心に勉強している。

## ●家族同伴海水浴

青年部恒例の「家族同伴海水浴」を、千葉県

丸名工芸勝山荘において2003年8月2日、3日の日程にて行なった。参加者は、女性6名を含む13名で、天候にも恵まれた。参加者の多くは、はじめて体験するバナナ



ボートなどに驚きと歓喜の声を発しながら楽しんだ。

参加者一同マリンスポーツを楽しみ、海辺でゆったりと過ごし、日頃の疲れを癒した。夜は、バーベキューや花火を行い、深夜までカラオケ大会で大変盛り上がった。翌日も海水浴を楽しみ、参加者全員けがもなく、無事に終えた。

## ●祭祀（チェサ）講習会開催

2003年11月22日、済州道市民文化賞を受賞された金玟哲先生の発案企画により、基本的な祭祀(チェサ)の講習会を、青年部長自宅を会場に行なった。玄祥琮相談役を講師に迎え、呉賛益会長も参加し、20名の参加者となった。

講習会では、祭祀の意味や疑問に思っていたことなど、多くの質問が飛び交い、また、講習会后30階の展望ラウンジにて懇親会を開き、呉賛益会長を始め、金玟哲先生、玄祥琮相談役と共に料理を楽しみながら遅くまで祭祀の談義に花を咲かせた。

## ●ボーリング大会

2004年2月28日、浅草楽天地ボウルにおいて、青年部ボーリング大会を開催した。参加者16名で午後4時30分から1時間半、6レーンを使用し、2ゲームトータルで優勝を争った。優勝は宋貞姫、2位は韓国語講師の朴景喜先生、3位は呉文博総務担当であった。ゲームのあと、成績発表・二次会で閉会した。

■ 済友会

● ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第96回	2003年9月18日	千葉カントリークラブ川間コース	伊栄翼
第97回	2003年10月17日	大熱海ゴルフクラブ熱海コース	李富博
第98回	2004年3月23日	千葉カントリークラブ川間コース	呉典秀

在 日 済 州 婦 人 会

■ 第7回定期総会・送年会が開かれる



2003年12月7日済州婦人会第7回定期総会がホテルパークサイドにおいて開かれた。6年前の設立より3期6年間会長を務められ、婦人会を大きく発展させた、韓道淑会長の勇退に伴い、次期会長には、呉春花氏が選出された。総会には道民協会より呉賛益会長、李淳元顧問、李徳雄顧問、鄭平普副会長、金正憲副会長も出席し、呉賛益会長は祝辞で、韓道淑会長6年間の功績に多大な敬意を表したいと語った。

韓道淑前会長は夫君の容態が悪く、出席することができず大変残念であった。会員たちは韓会長の6年間の功績に報いるためにも新会長に協力し、会を盛り上げますます発展させるよう努力しようと決意を新たにした。呉春花新会長は「前会長のなされたことを見習って皆さんと協力して、有意義で楽しい会になるよう努力したい」と抱負を述べた。参加者は75名で、婦人会がはじまって以来いちばん多い参加人数だった。

■ 第4代役員

常任顧問：韓道淑  
 顧問：朴潤閏・秦致才・夫順末  
 相談役：康仁順  
 会長：呉春花  
 副会長：金孝淑・金久美子・宋蘭順

総務部長：金永姫

財務部長：金久美子 財務次長：趙年子

文化部長：金順愛 文化次長：金夏子

結婚相談部長：左玉花

監 査：康景淑・金善子

## ■ソウル親睦旅行

2003年10月26日、ソウルへ本国故郷の文化、グルメ再発見の旅へと出発した。

第1日目の夜は、コリアハウスでバイキングの食事、その後併設の劇場で舞踊、パンソリ、仮面劇など韓国伝統芸能を観賞した。

2日目は、韓道淑会長の料理の師である趙先生の山荘があるソウル近郊の南漢山を訪問した。趙先生手づくりのお餅とお茶をいただいた後、近郊の美しい南漢山の紅葉の中を散策した。

その後近くの食堂で、数種類のキムチとケジャンの作り方を、実際に目の前で調理しながら教えていただいた。昼食には南漢山の田舎料理をたっぷり堪能し、ソウルへ。

3日目は自由行動で、免税店、南大門市場へとそれぞれ楽しんだ。その夜はサヨナラパーティとして、歌唱力抜群の男性歌手の熱唱と参加者のカラオケ、ディスコタイム等で大いに盛り上がり、3日間の旅行を楽しく、有意義に終えることができた。



## 会員ニュース

## ■ 濟州道の誇り——李日玉氏



当協会会員、李日玉氏（濟州パレス開発(株)代表取締役・78歳）は永年の功績を認められ、2003年9月1日濟州大学名誉経営学博士学位を取得、さらに10月31日濟州商工会議所創立68周年を記念した第11回濟州商工大賞「社会福利部門賞」を受賞した。同氏は1941年16歳で渡日、その後多くの試練を経て、今日では在日同胞社会有数の企業家として尊敬を受けている。

同氏は、濟州道の豊富な観光資源を生かした観光産業の生成、投資こそ故郷貢献と自身の事業の拡大を計る道であるとの確信のもと、1986年道内に濟州パレス開発(株)を設立、これを具体化させ、以来濟州パレス観光ホテル、濟州ハワイ観光ホテルを経営しながら道内観光産業の発展および観光客誘致に大きく寄与された。

故郷に対する特別な思い入れから、1960年代政府施策の一環として実施された翰京面板浦里の電気・水道架設事業などに率先して募金活動を行ない、村会館建立支援、翰京面板浦里の500年歴史を集大成した「板浦里」誌発刊委員長役を引き受け、監修させるなど故郷の発展に大きく貢献された。また、同氏は老人福祉に広く関心を持ち、毎年祝祭日の時、翰京面地域のお年寄りにプレゼントし、その地域の老人ホームにコーヒーの自動販売機を寄贈するなど親孝行思想を広めるため大きく寄与された。加えて国際自由都市の中核となる人材育成のため、濟州大学法政学部に奨学基金および学術研究基金として6億ウォンを寄託し、例年優秀学生と家計困難な学生に対し奨学金を支給し、さらに貧しい児童らにも毎月給食費を代払いする等、隠れた善行を継続して行なっている。

## ■書芸家、金玟哲氏「済州市民賞受賞」



当協会会員の金玟哲氏（68歳、市川市在住）が、2003年9月1日「済州市民賞」受賞者に選ばれ、第17回市民の日に「文化芸術賞」を受賞された。

大阪生まれの同氏は9歳の時に光州に移住し、光州中学校を卒業後再び大阪に戻り、民族学校の教師を11年間務め、その後1985年10月の「東京耽羅研究会」の創立会員としての「読書」の重要性を説く同氏は、在日同胞を対象に図書購入費の募金運動を展開、2,800万ウォンを済州市に寄託することから始まり、「耽羅研究会、漢拏文化振興会」を通じて、書籍2,000冊余りを済州市「愚堂図書館」に寄贈する等、現在も地域社会に貢献している。

教師時代の教え子には、ヴァイオリン奏者の丁讚宇氏もいる等と振り返り、座右の銘として「百忍堂中和気自生」と記すなど、書芸家としての一面を併せもち、正に「文化芸術賞」の受賞者として相応しい金玟哲氏である。

## ■金昶輝顧問を偲ぶ



2003年12月当協会金昶輝顧問がご逝去された。同氏は14歳で渡日以来、この複雑多難な異郷の地で、実業家としての道を邁進され、立派に成功され後継者にも恵まれた。

一方顧問は1961年当協会の前身ともいえる済州開発協会の創立に参画、第9代・第14代会長を歴任され、以後は協会顧問として今日まで、その卓越した指導力と創造性により並み入る協会顧問団の重鎮として故郷済州道の開発や文化の向上に寄与され、又、協会の発展に多大な功績を残された。

業績の中からもまず挙げられる事業に、顧問が中心的な役割を果たし農業振興のために計画実行された、柑橘苗木の寄贈斡旋送付と栽培技術者育成の必要から生まれた柑橘技術研修生の受け入れがあった。内陸地と比較して温暖な気候であるが故に、競争相手の無い独占的作物として以後基幹農業の役割を果たす先鞭をつけたことは非常に意義深いことであった。

その他1975年会長在任時、駐日大使館と協議のうえ、墓参を同的とする朝総連同胞初めての故郷訪問事業を実現され、以後大々的に民団事業の一環と

して行われる先駆となった。

このような在日同胞社会への貢献が認められ、1997年国民勲章「無窮花章」が授与され、更には55万済州道民より「済州道文化賞」を受賞された。その他顧問が当協会をはじめとする、同胞社会に対し、更には故郷済州道に希望と勇気を与えた功績は枚挙にいとまがない。

故郷済州道と協会のために尽くされたご功績は、永遠に不滅であり長く語り継がれるものである。

## 人物交流

### ○ 2003年

10月20日 済州大学校博物館研究士高光敏氏外2名が来訪し、呉賛益会長と面談。

10月21日 済州道庁事務官金石固氏外1名、産業研究院責任研究員朴載坤氏外1名が来訪され、当協会では呉賛益会長をはじめ李徳雄、李時香両顧問、鄭平普、李富博、姜丞宝、金世邦、慎龍九、高尚弘副会長、康大熙監査が参加し意見交換した。

### ○ 2004年

1月19日 禹瑾敏道知事外3名の御殿場視察に呉賛益会長、金正憲副会長、李成琥国際部長が同行案内。

2月18日 済州4・3事件支援事業所から金有善所長、李ジフン、許ヨンホ氏が来訪、呉賛益会長、鄭平普副会長と面談。

3月12日 李震雨東京慶尚北道道民会会長外2名が来訪し、呉賛益会長と懇談。

4月 9日 朴安淳忠清道民会会長が来訪し、呉賛益会長と懇談。

4月23日 CBS放送局の金琮培報道局長と金大暉記者が来訪し、呉賛益会長、鄭平普・金正憲・高尚弘副会長のインタビューが行なわれた。



## 濟州道通信

### ● 濟州銀行在日同胞向け窓口新設

濟州銀行（金国柱銀行長）は在日同胞に対する、預金、出金、送金等の窓口業務に於て、日本語に堪能な職員を配置することで、いっそうのサービス向上に向け、空港に近い濟州道庁前の新濟州支店（韓尚燁支店長）の2階に在日同胞窓口を開設している。超低金利の日本に比較して預金利率がより高く設定されており、濟州道出身同胞の幅広い個人口座開設を望んでいる。

### ● 第22回濟州菜の花祭り



4月17・18日の両日、濟州道南郡表善面（金承權面長）加時里ジョンソク空港館周辺において盛況裏に開催された。KBS濟州放送総局と南濟州郡が共同で主催した今回の行事は‘春の風物詩、菜の花のアンサンブル’というテーマで濟州の菜の花の

美しさを国内外観光客に幅広く知らせ濟州観光の活性化を図るため設けられた。KBSテレビ主催「ノド自慢大会」が沢山の觀衆の拍手喝采のもと行われた。農産物の展示即売会や飲食店が出店され平和で賑やかな祭典であった。



## ハン 「韓流」ブーム起こる



2002年に韓国KBSで放送された「겨울연가 (キョウルヨンガ)」は、日本では2003年4月～9月にNHK BS2で「冬のソナタ」のタイトルで放送されるや中高年女性を中心に大きな反響を呼んだ。主人公のペ・ヨンジュンは“ヨン様”と言われ、2004年ペ・ヨンジュンが来日した時、羽田空港には5千人の熱狂的ファンが待っていた。

解放後、1980年代中頃までは日本国内の韓国のニュースは軍事政権と民主化のニュースだけだった。1988年ソウルオリンピックを前後にして韓国の伝統芸能のパンソリを描いた「西便制」が日本TVで放送され話題になった。2000年代に入って、南北の分断をテーマに共同警備区域で起きた南北韓の兵士の物語「JSA」と韓国に潜入した北韓の工作員と韓国諜報員との悲恋を描いた「シュリ」が日本で大ヒットした。

こうした流れで韓流が始まり、「冬のソナタ」は韓流ブームを決定的なものにした。韓国のことになると食わず嫌いの日本の中年女性層の韓国に対するイメージを完全に換えさせた。その後、「チャングムの誓い」で女性だけでなく男性たちにも層を広げ、次々と韓流スターが登場、多くのテレビドラマも、お茶の間の人気を集めた。

日本の奥の間（アンバン）で韓国文化の大革命が起きた。誰もが成し遂げられなかったことを日本の普通の女性らが韓流の熱風を日本列島に巻き起こ

した快挙であった。このドラマの主人公のペ・ヨンジュンとチェ・ジウは韓流の代名詞になった。

イ・ヨンエ主演「チャングムの誓い」、ペヨンジュン主演の「太王四神記」のセット撮影地は済州道の観光名所になっている。また、「太王四神記」は宝塚歌劇団でも上映された。

2004年8月13日第28回夏季オリンピックが、アテネで開催された。同年12月16日、スマトラ島沖地震が発生。津波などにより14カ国以上で22万人が死亡した。2005年3月16日、島根県議会で「竹島の日条例」が成立し、韓国の反日感情が高まった。同年4月25日JR福知山線の脱線事故が起き、102人が死亡した。

## 「在日本関東済州道民協会」に改称

本会は「在日本済州開発協会」として発足したが、1992年7月、故郷済州道の発展と共に相応しい「名称」を求め、現在の「在日本済州道民協会」と改称した。創立当時より志を共にする在日済州道出身者を会員として日本国内、特に東日本の同胞を幅広く募るため、冠に「在日本」を標榜して来たいきさつがある。しかし時の流れとともに組織の構成やあり方が変わるものであり、2005年3月7日定例役員会において満場一致にて決議された。新しい称号については、「在日本関東済州道民協会」と称号に「関東」の2文字を加え、現在の協会運営の実情に即した名称とすることに決定した。

### 主 要 行 事

#### ■K・S・Kビル（済京ビル）会館披露式典

2004年7月9日 東京上野「精養軒」において、K・S・Kビル会館披露式典が、当協会役員・会員並びに国内外から多くの来賓を迎えて挙行された。

在日本済州道民協会は1961年に発足し、会員の会費等で運営をしてきた。発足以来44年、念願であった収益物件





購入を実現することができた。会費以外からの財政基盤を確立するため、会員の出資による(株)済京を設立し、(株)済京名義の所有権で済京ビル並びに区分所有建物の2階部分80坪を独立した協会事務所として購入した。

式典には 当協会役員・会員のほか 韓国から金泰煥道知事夫妻、金榮訓済州市長、宋暢禹在外済州道民総連合会会長、済州大学夫萬根総長をはじめ各界の代表が出席し、日本国内からは金宰淑民団中央本部団長、在日本各道民会会長をはじめ各界の代表が臨席した中で、呉賛益会長の挨拶、来賓祝辞、テープカット、感謝状並びに記念品贈呈等第1部を終了し、第2部に移り高瑋準顧問の乾杯の音頭で、華やかで楽しい祝宴会が行なわれた。参加者は約200名であった。

## ■第18回夏季郷土学校

2004年7月30日から8月4日まで約1週間夏季郷土学校が開催された。今年で18回を数えるこの夏季郷土学校は、済州道地方公務員教育院と国立済州大学の共催により、在外道民2世・3世たちを母国である済州道に招き、さまざまなプログラムを体験してもらうことで、愛郷心や済州人としての自尊心を養ってもらうというもの。本年度は日本から21名の学生、その他韓国国内やアメリカから学生51名、総勢72名が参加し、貴重な体験をした。当協会から呉賛益会長をはじめ鄭平普・金正憲・姜丞宝・高尚弘副会長・李成琥国際部長・李銀淑氏の引率のもと9名が参加した。

参加した学生たちは、歴史遺跡調査や伝統文化体験と済州大学の実習船我羅号の乗船など、現地の人々や参加者同士とふれあい、交流を深めたことで大いに愛郷心と自尊心を培われた。

## ■第8回故郷訪問事業実施——永年夢見た故郷の土を踏めた！

済州道主催で諸事情により長い間帰郷出来なかった60歳以上の在日済州道出身者を招待する事業で、今年で7年目を迎えた第8回故郷訪問事業が2004年10月1日から3泊4日間実施された。今年には東京で10名、大阪で11名、仙台で1名計22名が参加し当協会から呉賛益会長をはじめ鄭平普・金正憲副会長、李成琥国際部長の4名が引率者として同伴した。

待ちわびていた故郷に帰った参加者たちは、三姓穴、自然史博物館等の市内観光や第43回耽羅文化祭開幕式の観覧、道庁から用意された歓迎晩餐会に出席するなど、短い滞在期間にもかかわらず故郷の発展ぶりともてなしに深い感銘をうけた。参加者の中にはまたの機会があればぜひ子どもにも見せたいと語る方もいた。日程終了後には個人の希望により先祖の墓参りや親戚訪問が行なわれた。

## ■親睦旅行会開催



親睦旅行会が、2004年11月7日千葉県安房小湊の「小湊ホテル三日月」にて理事、会員、婦人会役員、青年部役員総勢40余名の参加により開催された。呉賛益会長は挨拶の中で「房総半島に位置する千葉県は50年以上の昔から済州道出身者の海女たちが出稼ぎのため渡日され外貨を稼ぐとともに、地元の漁業協同組合の一員として多大な功績を残し、更には一部の方々は、そのまま土着して今日に至る等、縁とゆかりの深い所でもあります」と語り、この場で親睦旅行会を開催することでより会員相互間の親睦を深めることにつながることを願うと述べた。その後、李時香顧問の挨拶と高瑋鉉顧問の乾杯音頭にて宴会に入り、和気あいあいとした雰囲気の中、カラオケや抽選会などの余興で盛り上がり、いっそう会員相互の親睦が深まった。

## ■在外済州道民会総联合会定期総会

2004年7月5日ソウル世宗文化会館において2004年度在外済州道民会総联合会定期総会が開催され、総42名が出席した。当協会からは呉賛益会長、鄭平普・金正憲・金世邦・夫奉秋・慎龍九副会長、李成琬国際部長が出席した。総会では2003年度決算と2004年度予算案が承認され、また役員改選も行なわれ、当協会の呉賛益会長が首席副会長に選ばれた。

## ■第3回在外済州道民会役員郷土学校

第3回在外道民会役員郷土学校が、2004年10月1日から2日間、済州道地



方公務員教育院にて行なわれ、米国、日本、ソウル、釜山など国内外の道民会から役員51名が集った。当協会からは、姜丞宝・高尚弘・慎龍九副会長が参加した。

初日は入学式に始まり、特別講義として道政重要施策の説明と東アジア時代に関する講義、国際自由都市に関する講義が行なわれた。終了後歓迎会がもたれ、さまざまな分野にて活躍する方々と

貴重な交流の時間を持つことができた。

2日目には、済州道における重要施設訪問と有名地の観光などが行なわれ、故郷の目覚ましい発展に目を見張ると同時に、今後のさらなる発展を強く確信した。

3年目を迎え今回入校した51名の参加者を含め163名が修了したという。これからも多彩なプログラム開発などを通し、意義深い在外済州道民会役員郷土学校を拡大運営する計画だ。

## ■2005年度家族同伴新年会・成人式開催

新年会並びに成人式が2005年1月22日、上野精養軒で400名余りが参加して開催された。式典には本国から金泰煥済州道知事夫妻をはじめ、梁宇喆済



州道議会議長・金榮訓済州市長・宋暢禹在外済州道民会総連合会会長が出席し、民団中央本部から具文浩副団長をはじめとする多くの来賓が出席した。

役員が揃って新年の挨拶をした後、呉賛益会長は「昨年はK・S・Kビル披露式典をはじめ、新事務所を取得し移転するなど、理事・会員の皆様に素晴らしい報告ができ、また財政基盤の拡充をはかり、今年も役員全員で力を合わせて協会発展のため努力していきます」と抱負を述べた。

金知事は「地域経済低迷の打開を図り、済州道を世界の平和の島として発展させるため、地域航空会社の設立、豚肉や水産物の貿易の拡大を図るよう努力をする」と済州道の指針について述べた。その後、来賓祝辞、来賓紹介があり、2004年度の功労者表彰として、呉敬進・玄祥琮・李中和・金修一・金秀吉相談役に感謝牌が贈られた。

ICバッジが金道知事から呉会長に手渡され、成人式では、新成人10名に呉会長をはじめ多くの来賓から記念品が贈られ、成人を代表して、玄定完さん（玄奎全相談役の孫）が「済州人として先祖の願いに応えて生きたい」と答辞を述べ、第1部の式典を終了した。

李時香民団東京本部団長の乾杯の音頭により、第2部の懇親会が始まり、恒例の抽選会やビンゴゲームが青年部の担当のもと進行し、和やかな雰囲気の中で終了した。

### ■愛知EXPO「済州道週間」行事



21世紀最初の国際博覧会「愛知EXPO」が2005年3月25日から開催された。韓国館の中に済州道ブースが設けられ、4月23日から1週間「済州道週間—ウィークイベント」が行なわれた。

平和の島済州道、国際自由都市を目指す済州道、済州道が誇る自然の景観、済州道の固有の文化を広く日本や世界にアピールし、観光客誘致増大につなげるためのイベントだ。当日、金泰煥済州道知事をはじめ韓国から多くの関係者、日本国内からは鄭盛培名古屋総領事をはじめ在外道民会会員（ソウル、釜山、関東、関西など）、日本の観光関連会社の関係者、一般の観覧者からもたくさんの方々がこの「済州道週間—ウィークイベント」に参加し、華々しくオープニングテープカットが行なわれた。

韓国館および済州道ブースを観覧した後、迎賓館において済州道主催の「済州道週間開幕歓迎祝賀パーティ」が開催され、当協会呉賛益会長も「“自然の叡智”をメインテーマとし、自然との共生を求める今回の博覧会が、今後の済州道の正しい未来像として模索する絶好の機会である」と祝辞を述べた。

## 組 織

### ■第45期役員

顧問：金坪珍 高琿準 玄栞洙 高庠秀 高琿鉉 高昌運 姜京俊  
高章守 李時香 夫昇培 金和男 李淳元 李徳雄  
常任顧問：金英秀

相談役：鄭興守 韓在龍 張潤鍾 康民善 金公俊 玄奎全 梁直基  
 金洪斤 韓元燮 吳益鐘 黃昌柱 李 權 洪炳基 韓在銀  
 高富仁 金秀吉 金昌世 金成日 白一善 吳敬進 玄祥琮  
 金修一

会 長：吳賛益

副 会 長：金世邦 金正憲 李富博 夫奉秋 慎龍九 李大浩

副会長兼総務部長：高尚弘 副会長兼財務部長：姜丞宝

副会長兼事業部長：鄭平普

組織部長：金光一 宣伝部長：金洪汶 渉外部長：金昌浩

国際部長：李成琥 総務次長：吳仁敦 青年部長：李忠憲

監 査：韓斗現 康大熙

## ■協会ニュース発行

第21号 (2004年12月25日)

第22号 (2005年5月31日)



第21号



第22号

## 定 期 総 会

### ■第45回定期総会開催



第45回定期総会が、2005年6月25日ホテルパークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員、青年部役員60余名の参加の上、開催された。

吳賛益会長による総会の開会宣言の後、2004年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画および予算案を執行部の原案通り可決された。また、青年部の2004年度事業報告

および会計報告、新年度活動案および予算案も承認された。引き続き建議案討議に移り、関西道民協会より出された要望書に基づき、当協会の名称の再検討を、定例役員会および拡大役員会を経て、決定した当協会の名称変更の議案に対して、一同賛同し可決された。その後、役員改選において第25代会

長に鄭平普氏が選出された。新会長より、「前任の呉賛益氏の残した多大な功績を汚すことなく、協会の運営にあたります」と力強い就任の挨拶があり、総会を無事に終了した。

## ■(株) 済京第3回定時株主総会開催

2005年5月7日当協会会議室において第3回株主総会が開催された。当日は議決権のある株主総数33名のうち出席株主数12名、委任状提出株主数13名を数え、定款の規定により議長席についた呉賛益代表取締役は、本総会が適法に成立している旨の開会を宣し、議事が進行した。第3期決算報告と現取締役9名全員の重任が満場一致にて承認され、利益剰余金の処分案については1%配当が可決承認された。冒頭、呉賛益代表取締役は、配布の決算資料の概略説明において「極めて順調に運営されており平成17年度は昨年度に増して当協会への支援が可能である」と述べ、これもひとえに株主の皆様方の御理解の賜物であると感謝の意を表し閉会した。

## ■青年部

### ●家族同伴海水浴

家族同伴海水浴は、勝山にて2004年8月21～22日の日程にて開催され、参加者は13名であった。マリンスポーツ等を行なうことができなかったが、バーベキューなどに舌鼓をうちながら、夜間の「すいか割り大会」で大いに盛り上がった。

### ●「在日韓国人として思うこと」講演会



青年部として6年ぶりの講演会を、2004年10月17日上野パークサイドホテルにおいて「在日韓国人として思うこと」をテーマに開催した。

講師の朴淑子女史は、婦人会結婚相談部長左玉花氏ご息女で、日本をはじめ、アメリカ・韓国等での海外留学や仕事の経験を基に、アメリカ・日本・韓国の外国人に対する差別、考え方の違いや、国籍の問題、今後の在日韓国人が生活していく上でリスクマネジメント、韓国人としてのルーツ、自分の子どもをどのように育てていくか等々、大変興味深い内容の講演会であった。道民協会・婦人会の役員たちも多く出席し、参加者46名であった。

●ハングル講座

毎週土曜日午後6時から9時までの3部構成で、講師は、韓国人からの女子留学生による解かり易く親しみを持てる講座で、生徒も女性を中心とした小学生から40代迄の方が参加している。

■済友会

●ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第99回	2004年6月23日	京カントリークラブ	夫鐘澤
第100回	2004年11月8日	鳳琳カントリー倶楽部	金孝淑

●記念すべき第101回目済友会は済州道で



第1回ゴルフコンペは1984年4月16日にスタートし、20年以上にわたって継続してきた。開催100回を記念して、2005年5月21日・22日の両日、済州カントリークラブにおいて、第101回および第102回ゴルフコンペが開催された。初日は、漢拏山を身近に見ることが出来るほどの快晴に恵まれ5組18名が参加し、グリーンの難しさに苦戦しながらも、楽しくプレーすることができた。プレー終了後、呉賛益会長の

挨拶後に成績発表が行なわれ、順位に一喜一憂しながら無事に終わることができた。

翌日は、前夜の雨が残り、悪いコンディションの中、6組23名が参加してスタート。雨は止んだものの途中から霧が立ちこめ視界不良の中、参加者全員無事プレーを終えることができた。

●第4回在京道民会親睦ゴルフ大会開催

2004年10月21日、第4回在京道民親睦ゴルフ大会が、今回は当協会が幹事道民会で、茨城県所在の千代田カントリークラブにて開催された。台風が直撃した影響で悪コンディションの中、無事に最後までプレーすることができた。



懇親会および成績発表の席上、呉賛益会長より、「今後この大会を永続的に発展させるために、在日本済州道民協会もより多くのメンバーを

参加させるよう協力する」との力強い挨拶があった。参加は、慶北道民会6名、慶南道民会6名、全南道民会3名、千葉慶南道民会1名、忠清道民会8名、済州道民協会42名、総66名であった。

### 在日済州婦人会

#### ■南紀白浜旅行



2004年11月14日より16日まで南紀周遊と高野山を巡る3日間の旅を実施した。14日早朝7時に東京駅集合、総勢23名、新幹線で名古屋へ出発した。名古屋到着後、貸切バスで南紀に向かい、途中高い岸壁の連なる海岸鬼ヶ城を見学、勝浦栈橋から連絡船で1泊目の宿泊地、ホテル浦島へ渡った。大きな島ひとつが全部ホテルになっていて、

あまりの広さに迷ってしまいそうだった。2日目には南紀のあちら、こちらを見学しながら白浜温泉へ向かい、柳や旅館に宿泊。この旅館はこじんまりとして落ち着いた雰囲気のある旅館で、ゆっくりと疲れを取りくつろぐことができた。3日目、深い山の中を2時間もバスを走らせて高野山へ向かった。1200年も前に空海によって建立された由緒ある高野山、金剛峰寺に入ってすぐの墓地の入口に立派な墓が向かい合って2つあり、それが何と在日韓国人のお墓だとのことでびっくりすると共に感激した。

#### ■第8回定期総会・送年会

2004年12月5日、第8回定期総会・送年会がホテル・パークサイドにおいて開催された。呉春花会長は「新しい会長に選出されてからこの1年間、不慣れで、未熟な点もあったと思いますが、会員の皆様のご協力のおかげで1年間の予定を滞りなく終えることができ心より感謝申し上げます。また呉賛益会長のもと済州道民協会のすばらしい活動に敬意を表すと共に微力ながら婦人会も応援をしていきたい」と述べた。総会終了後、第2部の送年会では美味しく食べ、かつ飲みながらカラオケや踊りで盛り上がり、最後に康仁順相談役の音頭で万歳三唱を唱和し会を終了した。

## ■「沈清」の日本公演観劇

2005年初めての行事・文化活動の一環として、4月30日、韓・日国交正常化40周年を記念し、パンソリと舞踊がひとつの舞台に結晶し、韓国の観客を魅了した話題作、「沈清」日本公演の観劇会を実施した。参加者は32名であった。

この舞台は、現代風にアレンジされた無音の舞と高音のパンソリ、言葉がわからない在日には少し難しいが、新しい韓国を垣間見ることができる舞台であった。

## 会員ニュース

### ■金洪斤相談役が済州道文化賞受賞



金洪斤相談役は、2004年12月5日、永年にわたる済州道並びに在日済州道出身者同胞社会への多大な貢献が認められ、受賞の榮譽に輝いた。金洪斤相談役は神奈川県本部団長時代、1999年4月「民団国際協力センター」の称号で全国民団組織として初めてNPO法人の認証を受け、法人化により民団の対外活動の社会的認知を受けると共に、会館など民団資産の保全においても法人登記を実現させる等の推進役として尽力し、また、2002年済州道で開催された第83回全国体育大会（済州国体）では、在日同胞選手団長として選手団を率いて大会を成功裏に導いた。さらに本年3月には常日頃より「教育は人づくりの基本」として教育事業の必要性を説いてきた同相談役は、神奈川県韓国総合教育院の理事長に就任し活躍している。

### ■永遠に輝く愛郷心—松泉韓在龍相談役胸像除幕

当協会の相談役である松泉韓在龍相談役の胸像除幕式が、2004年10月5日、北済州郡朝天邑咸德里の(財)咸徳奨学会事務所の前で朝天邑機関・団体長と地域住民200名余が参加し行なわれた。韓相談役は、咸徳奨学会理事長とし



て1984年自らの財産で基金を設立し、咸徳奨学会を設立した。その後日本居住咸徳出身篤志家たちに奨学会設立の必要性を力説するなどの功労を称えてこのたび銅像が建立された。

咸徳奨学会は今年高校生と大学生17人に2200余万ウォンを支給するなど、現在まで総勢393人に24億8400万ウォンの奨学金を支援して地域住民たちから感謝されている。地域高齢者のため、敬老パーティを開くなど住民たちへの愛が続けられてきた。

### ■高瑋準顧問に駐日大使表彰



高瑋準顧問は、2005年1月21日駐日韓国大使館にて行なわれた、2004年度韓国政府褒賞の伝達式において駐日大使表彰を授与された。永年にわたる民族、同胞社会への貢献が認められたものであり、協会にとってもたいへん名誉なことである。

## 人物交流

### ○ 2004年

- 7月 8日 金泰煥済州道知事外6名が来日し、成田空港まで呉賛益会長、金正憲副会長、李成琥国際部長が出迎え。
- 7月 9日 金泰煥済州道知事外2名国土交通省・農林水省・駐日韓国大使館訪問に李成琥国際部長が同行・案内。
- 7月 9日 宋暢禹在外済州道民会会長外2名、呉賛益会長が羽田空港まで出迎え。
- 7月 9日 金榮訓済州市長外2名、金世邦副会長、呉哲新青年部総務担当次長が成田空港まで出迎え。
- 7月 9日 済州大学夫萬根総長外3名、金英秀常任顧問、李富博副会長が東京駅まで出迎え。
- 7月10日 金泰煥済州道知事外6名の御殿場視察に呉賛益会長、金正憲副会長、李成琥国際部長が同行・案内し東京駅まで歓送。
- 8月30日 済州道議会夫奉河委員長、西帰浦文化院の金桂淡院長、(株)ドンネコ総合レジヤタウン郭仁石会長外6名が来訪し、呉賛益会長、夫奉秋副会長と日本の「海女祭り」に関して面談。

9月 3日 ホテルニューオータニ東京で9/1から9/4まで開催される「第3回韓・日道知事会議」に参席するために来日した金泰煥道知事と農水畜産局長、国際関係諮問大使、係長2名と当協会からは呉賛益会長、鄭平普・金世邦・金正憲・姜丞宝・慎龍九・高尚弘副会長、李成琥国際部長、呉陽新会員が参加して朝食会が開かれた。

11月 8日 新潟県中越地震災害支援のため、済州道からミネラルウォーター「三多水」1万本寄付に付き、国際関係諮問大使姜俊馨外1名が来日し、9日新潟県への贈呈式に当協会から李徳雄顧問、呉賛益会長が参席した。

### ○ 2005年

1月21日 金榮訓済州市長外2名を金正憲副会長が成田空港まで出迎え。

1月22日 金泰煥道知事一行10名を金正憲・李富博副会長、李成琥国際部長と外1名が成田空港まで出迎え、K・S・Kビルと協会事務所、浅草ビューホテル、式場にまで案内。途中道知事夫妻外1名が金坪珍顧問宅へ挨拶のため訪問。呉賛益会長、金正憲・李富博両副会長が同行・案内。

1月22日 宋暢禹在外済州道民総連合会会長とソウル道民会一行3名を呉陽新会員が羽田空港まで出迎え、協会事務所、浅草ビューホテル、式場まで案内。

1月22日 金榮訓済州市長一行を金光一組織部長がホテルから式場まで案内。

1月23日 浅草ビューホテルにて宋暢禹在外済州道民総聯合会会長とソウル道民会高文学副会長外4名、当道民協会呉賛益会長、姜丞宝副会長で「聯合会創刊号」の発刊に向けての意見交換が行なわれた。

1月28日 耽羅研究会梁聖宗氏、済州大学講師高廣明・秦寛勲氏が来訪し呉賛益会長と歓談。

2月19日 上野パークサイドホテルにて、高瑋鉉・李時香両顧問・金洪斤相談役が済州MBCラジオ放送局からインタビュー取材を受けた。このインタビューは、2月22日午後6時5分より、済州MBCラジオ「楽しい夕方 朴ヒョンです」という番組で放送された。

3月23日 全秉敦済州TODAY在外総括理事が来訪し、呉賛益会長に2005愛知EXPO「済州道週間」行事に関する報告が行なわれた。

4月22日 2005愛知EXPO「済州道週間」行事に関連して済州道から金泰煥道知事をはじめ広報団、公演団と観光客を含め170名が来日し、ウェスティン ナゴヤ キャッスルホテルにおいて観光説明会が開かれ、韓国側、日本側合わせて150余名が参加した。当道民協会からは呉賛益会長と鄭平普副会長が参席した。

## 濟州道通信

### 世界韓商大会・濟州道で開催

世界各地の同胞経済人の集い、第3回世界韓商大会が2004年10月26日から28日まで濟州道コンベンションセンターで開催された。東京韓国商工会議所常任理事である当協会呉賛益会長は実行委員長に任命されたが、この度商工会としての業務活動を再開した千葉韓国商工会議所（宋栄奉会長）が、東韓商と合同での濟州道訪問を望んだことを受けて、濟州道庁や同市庁への表敬訪問を提案し、金正憲副会長とともに前日に濟州道入りし、一行を金泰煥道知事並びに金榮訓市長に紹介し友好を深める仲立ちをした。

その後一行は、濟州道地方開発公社の「三多水製造工場」を視察した。千葉韓商との懇親会を兼ねた夕食会には、李時香民団東京本部団長と韓在銀監察委員長もかけつけ懇親を深めた。

### ソウル濟州道民の日、総勢6,000名参加

秋晴れの2004年10月17日ソウル蚕室総合運動場補助競技場において「第13回ソウル濟州道民の日」が開催され、呉賛益会長が出席した。

大会は開会宣言の後、李明博ソウル特別市長、宋暢禹会長の挨拶から始まり、バトントワラー、鼓笛隊や吹奏楽団の先導で各地方の面長を先頭にそれぞれ独自の旗をかざして面別選手団の入場行進が30分間程かけて行なわれ、選手宣誓の後、サッカーをはじめとする競技が行なわれた。この大会は運動会がそれぞれの「面・対抗形式」で行なわれるものでソウル在住濟州道民会の心意気と存在感を内外に示し、親睦を図る一大イベントである。



## 清溪川よみがえる



ソウルの心臓部を走る高架道路を解体し、その下に流れるヘドロの川、清溪川を復元するという企画を発表した時、誰もがそれは幻想に過ぎないと嘲笑した。しかし、それは神話になって成し遂げられた。

朝鮮初期時代から周辺住民の生活排水が流入する下水道の代わりにの川として利用されていた。1950年代から1960年代の韓国の経済成長、都市開発に伴い、さらに水質が悪化し、また川岸に6・25韓国戦争の避難民などがスラムを形成していた。そのためソウル市当局は清溪川の住民を強制移住させ、暗渠化し、その上に清溪川高架道路を1971年に完成させた。

その後、2000年代に入り市民の署名などにより清溪川復元の世論が高まったことを受け、2003年7月から2005年9月にかけて老朽化が問

題になった清溪川高架道路の撤去と同時に河川の復元工事が行なわれた。

ソウルのオアシスとして観光客だけではなく、21世紀の環境事業モデルとして、世界の各国の政府の環境事業のモデルとして、世界各国の政府の関係者の訪問も後を絶たない。川沿いに伸びる散策コースは、3区間に分かれており、第1コースは歴史が楽しめるエリア、第2コースは商業的なエリア、第3コースは自然を楽しむエリアになっている。

当時、李明博ソウル市長は済州市が成功した東門ロータリーの山地川復元の現場を視察して話題になった。

2005年8月26日、ハリケーン「カトリーナ」が米国フロリダ州に上陸、8月29日ルイジアナ州ニューオーリンズに再上陸、約1200名が死亡し、取り残された市民により略奪が起きた。

2006年3月2日、野球のWBCがアメリカで行なわれ、王貞治監督率いる日本が優勝した。同年5月27日、インドネシア、ジャワ島の周辺で地震発生、5782人が死亡した。

2006年4月3日、済州4・3犠牲者慰霊祭が、4・3平和公園で盧武鉉大統領、金泰煥道知事をはじめ、多くの遺族並びに関係者1万人余りが参加した

中で厳かに執り行われた。今回韓国政府が済州4・3事件に対し、武力衝突と弾圧の過程で国家権力が不法に行使した過去の事件であったと正式に謝罪してから、初めて大統領が犠牲者の英霊に追悼した慰霊祭でもあった。



## 第25代会長に鄭平普氏就任

第45回定期総会において、第25代会長に鄭平普氏が選出された。就任に際し、済州道や協会に対する熱い思いや夢を寄せていただいた。



鄭平普 第25代会長

### 会長就任によせて (要約)

私は、第45回定期総会において第25代会長に就任いたしました。

在日1世の諸先輩方は当時の故郷済州道を思い、先祖の崇高な開拓精神を受け入れ創意性を発揮し、郷土開発に先駆的な役割を担うのが義務と考え、困難な生活も省みず済州道の開発に大きく貢献されました。このことは我々の誇りであり、心から敬意と感謝を申し上げます。

済州道は、「自由の島」「国際自由都市」を目指し、「済州特別自治道」「自治模範都市」に変わろうとしています。シンガポールや香港のように立派な「済州国際自由都市」になることを願うものです。このような現状に鑑み、いかに今の時代に合った形で先輩達の精神を受け継ぎ済州道の発展のために努めるかを考え実践していきたいと思えます。

当協会は、会員間の親睦を最優先に考え、会員や理事を充実させ、多くの方々との親睦を深めていきたいと思っております。青年部は韓国語講座やホームページ運営等活動を行なっていますが、会員数が足りないと認識しています。済州道を故郷に持つ若い有能な人材は日本国内のそれぞれの分野で活躍しております。若者達が済州道に関心を持ち、参加できるようにするにはどのようにすれば良いかを青年部とも相談してまいります。

在日済州婦人会は既に成熟した親睦団体として活動をされており、今後ともいっそう協力しあいながら歩んでまいりたいと考えております。

当協会の運営につきましては、会員や理事・役員の皆様のご協力と、財政基盤の確立に寄与している(株)済京に深く感謝申し上げます。特に念願の立派な事務所ができ、今では済州道内外のどんな来賓や会員でも喜んで事務所で対応することが出来ます。

私は微力ではありますが、「在日本関東済州道民協会」の発展のため一生懸命努力していきますので会員皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 主 要 行 事

## ■第19回夏季郷土学校

在外2世、3世たちを故郷に招き、済州道の歴史・文化・道民との交流を図るために毎年実施されている。歴史遺跡踏査、伝統文化体験および済州大学の実習船による海上観光等充実した内容の授業で、第19回夏季郷土学校が、2005年7月29日から8月3日まで、国立済州大学と地方公務員教育院にて開校された。例年通り、日本、韓国国内地方都市やアメリカからも参加する中、金泰煥道知事をはじめ大勢の来賓による心温まる祝辞があり、学生たちを励まし、盛大な開校式となった。

当協会からは呉賛益常任顧問、鄭平普会長と姜丞宝・金正憲・李大浩・金光一・高尚弘副会長、李富博監査、李成琬国際部長、宋暎民渉外次長、金英成青年部長、李銀淑氏の引率役員12名が開校式に参加した。

7月29日開校式を前に呉賛益常任顧問をはじめ新執行部役員達は済州道庁をはじめとした各機関を表敬訪問し、相互の意見交換と交流を図った。

## ■第9回故郷訪問事業実施——故郷へ行ってきました



高齢者故郷訪問が2005年9月30日から3泊4日の日程で実施された。この行事は済州道が60歳以上の高齢者を対象に無料で招待しているもの。耽羅文化祭開会式参列や道知事主催の晩餐会、韓流ブームに乗り日本でもヒットしたドラマ「オールイン」のロケ地、5日に1度開催される済州最大の在来市場「オイルジャン」等を巡り、発展していく故郷の姿を満喫した。

しかし、今回の参加者は一時期より少なく、道庁の担当者からもっと参加者を増やすように要望された。「高齢者故郷訪問事業」は、済州道最大の祭りである「耽羅文化祭（開会式は10月第1土曜日）」に合わせて、前日の金曜日から3泊4日の予定で行なわれている。

## ■第4回在外道民会役員郷土学校へ参加

天高く海碧く、そびえ立つ漢拏山、季節ごとに花が咲く、自然の宝庫神秘

の島済州道で、第4回在外済州道民会役員郷土学校が2005年9月30日から2日間、済州道地方公務員教育院で開催された。日本、アメリカ、ソウル、釜山など国内外の道民会から役員が集い、当協会からは金光一・高尚弘・金正憲副会長と宋信彦事業部長、宋暎民渉外次長計5名で参加した。

初日は入校式に始まり金泰煥道知事、梁宇喆道議会議長、高忠錫済州大学総長と共に記念撮影後、金鐘熙済州コンベンションセンター社長による特別講義が行なわれた。済州道を、香港・シンガポールなどの国際都市を見習い、成長させたいとの内容であった。2日目は済州道における重要施設訪問と有名観光地を見学した。特に4・3平和公園に行った時は感動を覚えた。故郷である済州道の近年の目覚ましい発展に目を見張ると同時に、今後の済州道のさらなる発展を強く確信した。

### ■湯河原温泉、親睦旅行会

2005年11月13日、14日の両日、湯河原温泉「湯河原石亭」において、親睦旅行会が理事、会員、婦人会役員総勢40余名の参加により催された。李時香顧問を筆頭に、他の顧問、相談役、



理事および新役員と、当協会の重鎮の方々と交流を持った。宴会に入ってから、歓談に、酒にカラオケに、和やかなムードで盛り上がった。

### ■第1回関東・関西済州道民協会役員懇親会



2005年11月3～4日に伊東温泉ホテルニュー岡部において開催され、総勢39名が参加した。本会からは呉賛益常任顧問、鄭平普会長、金正憲・金光一副会長夫妻、高尚弘副会長、李富博監査と、婦人会からは、韓道淑常任顧問、呉春花会長、金孝淑副会長、康景淑監査、左玉花結婚相談部長を含め20名が参加した。ほとんどの参加者が初対面であるにもかかわらず、

お互いすぐ打ち解けて、済州道の素晴らしさ、済州道の今後の発展について等々、同じ故郷を持つ仲間として多いに語り合った。関西済州道民協会の朴

國男会長が挨拶の中で「今まで関東は、単に在日本済州道民協会としていたのを、呉賛益前会長執行部のもとで、『在日本関東済州道民協会』と関東の2文字が入ったことに対し、関西の会員は非常に喜んでいますが」と感謝された。

## ■在京道民会役員合同親睦旅行会



在京道民会役員合同親睦旅行会が、2005年6月5・6日、箱根湯本・ホテルおかだにおいて、慶尚北道道民会主催のもと行なわれた。総勢63名が参加した中、当道民協会では呉賛益会長、鄭平普・金正憲・高尚弘副会長、金光一組織部長の5名が参加した。

## ■「済州道模範警察海外研修」実施

6月15日、済州地方警察庁姜明助総警をはじめ10名の模範警察団が3泊4日の日程で来日した。道警では、犯罪撲滅や済州道の表玄関である済州国際空港の治安維持や「平和な島済州島」のイメージアップに努力しているが、世界的な大都市でありながら東京の犯罪率の低さやその検挙率の高さ、さらには交通行政における管制や安全交通指導方法に学ぶべきものがあるとの考えから、東京へ模範警察官を派遣し研修させることにより、道警の治安やその意識の向上を図りたいとの希望を伝え聞いた当協会呉賛益会長と協会顧問である李時香民団東京本部団長の計らいにより実現した。一行は、警視庁交通管制センター見学を皮切りに警視庁、国会議事堂、法務省、裁判所等の官公庁を回り、その後、民団東京本部を訪問、団長以下の幹部団員と懇談、後に当協会事務所を訪れそれぞれ親交を深めた。



## ■2006年度家族同伴新年会並びに成人式

本会の一大行事として、年初に行なわれる新年会ならびに成人式が、2006年1月14日上野精養軒において開催された。当日は雨天にもかかわらず、450名にも及ぶ参加者が集った。鄭平普会長を中心として呉賛益常任顧問をはじめ、新執行部役員・婦人会・青年部が一致団結し、そして関係者諸氏による



絶大なる協力を得て開催された。来賓として、金泰煥済州道知事夫妻を筆頭に梁宇喆済州道議会議長、済州大学校高忠錫総長、国会議員金才允議員、在外済州道民会総聯合会宋暢禹会長、在日韓国民団中央本部金宰淑前団長、河丙玉団長、その他、多数参席した。鄭会長のあいさつに続き、来賓より済州道の将来を渴望されるような祝辞があり、その後、済州道知事より呉賛益

常任顧問への功績賞の表彰、金成日・韓斗現・白一善・夫奉秋・慎龍九の各相談役と康景淑婦人会監査に2005年度功労賞表彰へと会は進み、今年新たに成人となる11名が凜として壇上に立ち並び数々の記念品が贈られ、式次第のとおりにつつがなく終了した。

金泰煥済州道知事は祝辞の中で、2006年度は「済州国際自由都市」として、済州道のPR誘致についてふれた。また、鄭平普会長は挨拶の中で、今年は「2006年済州訪問の年」で、1年間を通じ道内の各地でさまざまなイベントが企画され催されると話した。当協会としても「世界の平和な島」をキャッチフレーズに大いにPRに努め、がんばろうと出席者一同が一致団結して雨をも吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せ和気藹々のうちに無事終了した。

## 組 織

### ■第46期役員

顧問：金坪珍 高琿準 玄栢洙 高庠秀 高琿鉉 高昌運 高章守  
 李時香 夫昇培 金和男 李淳元 李徳雄 金英秀

常任顧問：呉賛益

相談役：鄭興守 韓在龍 張潤鍾 康民善 金公俊 玄奎全 梁直基  
 金洪斤 韓元燮 鄭斗壽 呉益鐘 黄昌柱 李 権 洪炳基  
 韓在銀 高富仁 金秀吉 金昌世 金成日 白一善 呉敬進  
 玄祥琮 金修一 金世邦 夫奉秋 慎龍九 韓斗現

会長：鄭平普

副会長：金正憲 李大浩 金光一

副会長兼総務部長：高尚弘 副会長兼財務部長：姜丞宝

事業部長：宋信彦 渉外部長兼総務次長：呉仁敦

宣伝部長：金洪汶 国際部長：李成琬 組織部長：李俊行

渉外次長：宋暎民 青年部長：金英成

監査：李富博 康大熙

## ■協会ニュース発行

第23号 2005年12月15日発行

第24号 2006年5月31日発行



第23号



第24号

## ■ホームページ開設

当協会のホームページが2005年6月16日より開設した。これにより協会の活動をインターネット上で紹介し、より広く迅速に理事・会員と情報を交換することができる。さらに国内外関係機関ともより充実したネットワークを築くことができると期待される。

【協会へのアクセスは<http://www.jejudomin.org>】

## 定 期 総 会

### ■第46回定期総会開催



第46回定期総会が、2006年6月24日上野ホテルパークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員、60余名の参加の上開催された。鄭平普会長の挨拶から総会は始まり、続いて、金和男顧問の挨拶があり、会長による開会宣言の後、2005年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画および予算案を執行部の原案通り可決した。また同時に、青年部の2005年度事業報告および会計報告、新年度活動および予算案も承認された。特に重要な議案はなく無事に総会を終了した。

今回初めて関西済州道民協会より朴国男会長をはじめ高英寛・朴信平・康實副会長が参席した。引き続き懇親会が行なわれ、その席上、新しく理事・会員になった方々の紹介があり、おいしい料理を堪能しながら、和やかに過ごし、無事終了することができた。

### ■(株)済京第4回定時株主総会開かれる

2006年5月13日、(株)済京第4回定時株主総会が本社事務所会議室において15名の株主が参席し、呉賛益代表取締役の開会宣言のもと行なわれた。会議に先立ち社長による概況説明があり、第1号議案 第4期（平成17年4月1日

から平成18年3月31日まで) 決算案承認の件が、満場一致で承認された。次に第2号議案に移り、金世邦氏の取締役辞任にともなう役員補充の件につき社長推薦の金光一副会長が新取締役就任した。

## ■青年部

### ●アンニョンハシムニカ

金英成青年部長は抱負として次のように述べた。

韓日両国は、2002年のワールドカップ・サッカー共同開催や「日韓国民交流年」を経て、より親近感を深めてきた。今年は教科書・独島(竹島)問題などがあるが、「1日生活圏」の更なる拡大を目指し、経済・社会分野でも日に日に緊密度を増している時期とも言える。しかし、在日の中で韓国文化に触れる機会のない次世代の方々を多く見かける。

韓国語を勉強する、韓国映画を見る、韓国へ観光旅行をするといった身近なことから始まり、韓国を一度訪れ、その文化・社会に直接触れてもらいたい。日本の経済状況や世界情勢を考えた場合、我々在日社会もいろいろな事に変化してきている過渡期である。

青年部も発足して今年で37年になる。さまざまイベントなどを企画して活動してきたが、どうすればもっと「在日社会の向上」に貢献でき、かつ魅力ある青年部になれるかを考えて行かねばならない。今後も理事・会員の協力のもと、精進・努力していきたい。

## ■済友会

### ●ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第103回	2005年9月21日	茨城千代田カントリークラブ	邊彰満
第104回	2005年11月14日	大熱海国際ゴルフクラブ	金正憲
第105回	2006年4月6日	茨城県千代田カントリークラブ	高尚弘

## 在日済州婦人会

### ■秋三味済州道旅行

2005年秋、済州道への旅は、2泊3日の中身の濃い楽しい旅行となった。なかでもお洒落なハーブガーデンでのお茶タイムはすてきで素晴ら



しい経験だった。ラマダプラザホテルでの「サヨナラパーティ」には康京仙道知事夫人を囲みながらの楽しい会となった。

## ■第9回定期総会・送年会開催

2005年12月4日、ホテルパークサイドにおいて第9回定期総会が開かれ、あいにくの寒い雨模様であったが、53名の会員たちが一堂に会し活動・収支など1年間の報告がされた。来賓として道民協会より呉賛益常任顧問をはじめ、鄭平普会長、金正憲・姜丞宝両副会長の見守る中、新たに呉春花会長執行部が2期目の船出となり新たな活動方針を話し合った。

韓道淑常任顧問の乾杯の音頭で2部の楽しい宴が始まり、カラオケや踊りを堪能しました。東京慶尚南道道民会婦人会趙順伊会長も応援に駆けつけ、1年最後の行事にふさわしい心温まる送年会となった。今後とも役員一同会員と共に済州道を愛し、地球村済州人として誇りを持ち伝統ある道民協会を守り子孫代々伝えて発展していくよう婦人会の親睦に一生懸命取り組んでいくことを誓った。

## ■第5代役員

常任顧問：韓道淑      顧問：朴潤閔・秦致才・夫順末  
 相談役：康仁順  
 会長：呉春花      副会長：金孝淑・金夏子・金貞子  
 総務部長：金久美子      総務次長：金善子  
 財務部長：趙年子      財務次長：金順愛  
 文化部長：朴恵子      文化次長：玄英子  
 結婚相談部長：左玉花  
 監査：康景淑・宋蘭順

## ■日帰りバス旅行

ゴールデンウィークが明けた2006年5月8日、日帰りバス旅行に32名が参加した。行先は館林つ



つじが岡公園・栗田美術館・足利フラワーパークと盛り沢山であったが、前日までの雨がすっかり上がり、暑くもなく寒くもない最高の天候に恵まれた。幾重にも折り重なるように咲いているつつじは満開で、紫藤や白藤は見事なトンネルとなって、まさしく息を呑むような美しさであった。

また3万坪の広さに点在する栗田美術館は庭園を散策するだけでもまるで別世界のような静けさで「伊萬里」を堪能することができた。足利料理「おきりこみ」を楽しみ、花を楽しむ旅は、東京に到着するころになってまた雨が降り出したが、充実した1日を過ごせたことに感謝し、再会を約束しながら帰途についた。

## 会員ニュース

### ■黄昌柱相談役、牡丹章受章



黄昌柱相談役が「2005年度在外同胞国民勲章牡丹章」を受勲された。黄昌柱相談役は北済州郡旧左邑金寧里出身で1938年13歳で日本に渡り、関西大学経済学部卒業後(株)共榮商事を創立、現在代表取締役会長に在任中。相談役は民団神奈川県地方本部団長を経て、長年にわたり神奈川県において同胞社会の地位向上などの民団活動や地域社会との親善交流に努めた。

また、故郷発展のため寄付や人材育成・奨学事業にも惜しみなく支援してきた。黄相談役の功労を称えて、これまで済州道文化賞（海外同胞部門）、国民勲章冬柏章、教育省長官賞、済州道知事感謝牌を受賞された。

また2006年1月17日北済州郡玄漢洙郡守権限代行より「10万郡民の心を込めて祝賀牌をささげます」というメッセージとともに国民勲章受勲祝賀牌が贈られた。

## 人物交流

### ○ 2005年

- 7月 8日 正午より漢拏日報東京支社長康榮淳氏が来訪し、鄭平普会長のインタビューが行なわれた。
- 9月20日 濟州商工会議所姜榮石会長外3名が来訪し、京成上野駅まで金正憲・金光一両副会長が出迎え、当協会までご案内。  
鄭平普会長、金正憲・姜丞宝・李大浩・金光一・高尚弘各副会長、宋信彦事業部長と座談、続いて浅草「すし賢」で食事会が開かれた。
- 9月22日 濟州道国際自由都市観光局観光マーケティング課任一淳課長、金性哲係長、福岡濟州道観光広報事務所金常訓所長、クラウンプラザホテル販促チーム姜熙璟チーフ、盆栽芸術苑成桂燁室長の6名が来訪し、呉賛益常任顧問、鄭平普会長、金正憲・高尚弘両副会長、宋信彦事業部長、李成琬国際部長と懇談。
- 10月21日 韓国芸術文化団体総聯合会濟州道聯合会 徐正用会長、韓国舞踊協会濟州道支会李昌勳会長、韓国武功受勲者会 濟州道支部 金瑛煥支部長が来訪し、鄭平普会長と座談し、徐正用会長から額縁が贈られた。
- 12月 5日 濟州TODAY社趙孟洙社長が来訪し鄭平普会長、金正憲副会長と懇談。
- 12月 6日 ワールドプライダル社禹珪日会長、武富秋久社長が来訪し、鄭平普会長と懇談。

### ○ 2006年

- 1月13日 濟州道から金泰煥道知事外3名、濟州国際コンベンションセンター金鐘熙代表理事、金才允国会議員外1名を呉賛益常任顧問、金正憲副会長が成田空港まで出迎え。
- 1月13日 北濟州郡玄漢洙郡守権限代行外3名を金光一副会長、宋暎民渉外次長が成田空港まで出迎え。
- 1月14日 濟州道から康京仙道知事夫人外17名を宋信彦事業部長、李成琬国際部長が成田空港までマイクロバスで出迎え。
- 1月14日 宋暢禹在外濟州道民会総聯合会会長外3名を呉賛益常任顧問が羽田空港へ出迎え。
- 2月14日 濟州TODAY社趙孟洙社長、(株)アリスグローバル広告企画部石鎬同課長が来訪し、呉賛益常任顧問、李銀淑事務員と「濟州国際自由都市事業説明会」のため、打ち合わせ。
- 2月20日 濟州国際自由都市開発センター秦哲薫理事長と濟州TODAY社趙孟洙社長外1名が来訪し、呉賛益常任顧問、金正憲・姜丞宝・高尚弘副会長と歓談。また、秦理事長より置物が贈られた。



3月14日 金国柱前済州銀行長夫妻が退任挨拶のため来訪し、鄭平普会長、金正憲・姜丞宝両副会長と歓談。

4月21日 4月19～23日まで民主平和統一諮問会議西帰浦市協議会の日本地域統一研修が行なわれ25名が来日した。一行が民団中央本部・東京本部訪問の際、歓迎食事会に呉賛益常任顧問と高尚弘副会長が参加した。



## 済州道通信

### ● 新韓銀行済州支店「在日同胞サービスセンター」開所

新韓銀行済州支店では在日同胞に対する預金信託と通貨両替などの基本的金融サービスはもちろん、不動産の管理・売買、戸籍整理、相続・贈与、先祖の墓の清掃などまで、生活に密着したサービスをほぼ実費のみの手ごろな値段で提供している。当支店は不便な思いをしている在日同胞の立場で考え、手助けとなることだけを考え、母国語が得意ではない在日同胞3、4世のために日本語を話せる専門のアドバイザーもいるという。

### ● 済州道で初のサッカー全国大会！

2006年3月14日から済州道西帰浦市で第54回大統領杯全国サッカー大会が開催された。この大会は韓国全道から大学、社会人、プロチーム等約40チームが参加する。このチームは当協会、金洪斤相談役の次男・金英明氏が監督を引き受け、済州道出身選手4～5名をチームに引き入れ、毎年好成績を挙げている。

また当協会、金正憲副会長が日本から参観団数10名を引率し、2試合競技場まで応援に駆けつけ、のみならず、金正憲副会長は選手の宿舎にも訪れ金一封と共に選手たちを盛大に激励した。



## 潘基文氏 国連事務総長に就任



1962年潘基文国連事務総長が高校在学時、アメリカ政府主催の英語弁論大会で入賞し、ワシントン、ホワイトハウスでケネディ大統領と接見した。この時、ケネディ大統領の激励辞を聞いて外交官の夢を持ったという潘基文氏は、1944年忠清北道陰城郡で生まれた。

1970年2月にソウル大学校外交学科を卒業し、同月高等外交官試験に合格、3月に外交部に入部した。1972年駐インド大使館副領事をはじめ、1974年同二等書記官など主に海外勤務畑を歩み、1980年に外交部国際条約局国連課長に就任した。

2000年2月に外交通商部副長官、2001年5月に国連大使、2002年に無任所大使を経て、2003年2月、盧武鉉大統領の外交政策補佐官、2004年1月から外交通商長官に任命された。

2006年2月、国連事務総長選挙に立候補することを表明し、2006年10月2日国連安全保障理事会は4度目の予備投票を行なった。この結果、拒否権を持つ常任理事国5カ国一致して潘基文氏を支持して同月14日、国連事務総長に当選した。(任期5年)

2007年1月1日から第8代事務総長に就任した潘基文事務総長は、2010年8月6日<広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式>に国連事務総長として初めて出席した。前日の5日には長崎市を訪れて爆心地の前で核廃絶のメッセージを発表した。

2006年7月5日、北朝鮮がテポドン2号など7発の弾道ミサイルを日本海に向け連射した。7月14日国連安全保障理事会では、日本とアメリカなどが共同提案した北朝鮮のミサイル発射に対する決議案を全会一致で採決。同年9月20日、小泉首相任期満了で同年26日第90代内閣総理大臣に安倍晋三氏が就任、10月9日安倍首相が韓国訪問し、北朝鮮が核実験を強行した。

### 世界にチェジュ・ネットを！

在外済州道民会総聯合会は、ソウル、釜山、大邱、仁川等、韓国内14団体、ワシントン、ニューヨーク、ロサンゼルス、米国の3団体、日本は、関東、関西、仙台の3団体、計20団体から成る済州道親睦団体である。



2006年7月1日、総联合会臨時総会において、呉賛益常任顧問が第7代会長に選任された。就任後、各地域の会長団より、次回の定期総会を東京で開催して欲しいとの要請があり、金泰煥済州道知事および梁大性同議長の就任祝いを併わせて行なうこととし、2006年9月23日~27日の5日間にかけて開催された。9月24日、「第10回定期総会」が浅草ビューホテルにて40名が参加して開会、宋鳴禹前会長の功労表彰の後、重要議題の審議が行なわれた。総会終了後、本会会員並びに済州婦人会を含め107名が参加して知事および議長就任祝賀会が盛大に催された。翌25日は、K・S・Kビルをはじめ皇居や東京タワー等、東京観光を実施、途中道民協会事務所に立寄り、協会に保存されている創立当初からの貴重な写真等興味深く視察。会議室にて協会の運営方法や財政問題、課題等に対する質問が続出、意義深い討論の場となった。26日は観光バスで日光東照宮、華厳の滝、徳川家菩提寺など、歴史の一部を垣間見る旅行となった。晚餐会をクラブ「パイロット」で行ない、各団体対抗のど自慢大会が行なわれ友好を深め、翌27日各地へ旅立って行った。

一行の中には、日本、東京へ初めての方が意外と多く、百聞は一見に如かずを地で行くような感じであった。在外済州道民会総联合会の存在意義は、「地球村」において共通の人生観や使命感を持つ済州人が年に数回一同に会し、親睦を深めることにより情報の交換や交流が計られ、民族意識の向上が同郷のよしみから生まれ、済州人の良き伝統である、団結心と相互扶助の精神が子々孫々に伝わることにある。



## 主 要 行 事

## ■第20回夏季郷土学校開催

濟州特別自治道と濟州大学共同主催による第20回夏季郷土学校が2006年8月7日～12日まで、濟州特別自治道人力開発院で開催され、当協会から7名の学生と在外濟州道民会総聯合会呉賛益会長、韓斗現相談役、鄭平普会長、金正憲・姜丞宝・李大浩・金光一・高尚弘各副会長、宋信彦事業部長、李成琥国際部長、宋暎民渉外次長、呉春花婦人会会長、李銀淑氏引率役員13名が開校式に参加した。

この事業は、濟州道を故郷に持つ在外2世・3世・4世たちに向け、濟州道を誇りにし、濟州人としての自覚を持ってもらうため実施されてきた。濟州の伝統・文化・文明を含めた歴史等の勉強、濟州大学をはじめ諸



## 夏季郷土学校を体験して —— 参加学生 呉 秀 明

私は今回の夏季郷土学校を含め、濟州に行くのは2度目でした。前回の訪問は言葉の分かる父と一緒にだったので過ごすのに問題はありませんでした。今回は殆ど言葉が分からないというもとで1週間やっていかなくてはなりません。不安を抱きつつも飛行機に乗り、濟州道へと着き、生活が始まりました。

期間中は色々な施設の見学や登山に乗船など多くの体験をしましたが、中で一番印象に残った所は、漢拏山の登山であったと思います。始めのうちは軽い気持ちでかかっていたので、登りの急な階段道であつという間にペースを崩してしまい、最低な調子での登山となってしまいました。所々で休憩をとり、とにかく前へと進み、なんとか山頂に到達することができました。山頂の空気は大変きれいで、辺りの景色もすばらしく、疲れた気持ちもどこへやら去っていました。

帰りもまた岩道が多く、足場の悪い下りであるために気を付けて歩かねば転げ落ちてしまうかもしれません。これまた大変なものでしたが、下りのコースは見下ろす風景や崖など素晴らしい景色を見ることが出来たので楽しみながら歩くことが出来ました。久々の運動であったため、次の日は足がかなりの筋肉痛になるということにもなってしまいましたが、やりがいのあつた楽しい時間であったと思います。

言語の分からない中での生活でしたが、濟州の大学の日本語の分かる方や他の日本からの参加者達と協力しあい、楽しい1週間とすることが出来、充実した郷土学校となりました。今後韓国や濟州へ行く機会はあると思うので、それまでには少しずつ言語を学んで韓国語を理解できるようにし、私たちの郷土をより深く学んでいきたいです。

施設と機関の訪問、同年代の大学生との交流、漢拏山など済州の名勝地の探訪と観光等、多彩なプログラムを予定どおり終えた。

尚、第1回は1979年で高瑋鉉会長が引率し、高尚弘副会長は第1期生。

### ■第2回関東・関西済州道民協会役員懇親会



2006年8月8日済州道のラマダプラザホテルで「第2回関東・関西済州道民協会役員懇親会」が盛大に行われた。

この懇親会には 金泰煥済州特別自治道知事夫妻、梁大性議長、金榮訓済州市長、李英斗西帰浦市長、在外済州道民会総联合会宋暢禹直前会長、呉賛益会長をはじめ関連する各機関からの参加があった。関東・関西の両道民協会役員並びに両婦人会役員を含めた40数人が故郷済州道で、楽しい親睦のひと時を共にした。懇親会の前に関東・関西のゴルフ愛好者が済州カントリークラブで爽快な気分でプレーを楽しみ英気を養った。

今年度は関東が幹事役で、本年は「済州訪問の年」であり、日程を夏季郷土学校に合わせて開催された。

### ■在京道民会役員合同親睦旅行会——初めて済州道で開催

「済州訪問の年」に第6回在京道民会役員合同親睦旅行会が、2006年9月10日より2泊3日間の日程で済州道にて開催された。今回の幹事役は当協会が受け持った。

ラマダプラザ済州ホテルにて開かれた晩餐会には総勢40名が参加し、金泰煥道知事をはじめ済州国際自由都市推進局梁満植局長ら、当協会からは呉賛益常任顧問、金正憲・金光一・高尚弘各副会長、李富博監査、夫奉秋・慎龍九両相談役、宋信彦事業部長、宋暎民渉外次長、韓道淑婦人会常任顧問、呉春花会長、金孝淑副会長、左玉花結婚相談部長が参加した。他に東京慶南・慶北、千葉慶南、全羅南・北、在日関東地区忠清道民会役員たちが参加した。



翌日は、希望によりゴルフ組は、「済州カントリー倶楽部」にてプレーした。市内観光組は城山日出峰がある南済州から俳優ペ・ヨンジュンが出演する「太王四神記」セット場と中文観光団地などを観光した。

また、第7回目は、2007年5月19～20日、群馬県の山あいの湯の町、舌切雀発祥の地磯辺温泉、磯部ガーデンホテルにおいて、在日全羅南道道民会主催のもと行なわれた。総勢32名が参加した。当協会では呉賛益常任顧問、鄭平普会長、李大浩副会長そして宋信彦事業部長の4名が参加した。

各々道民会という枠を超え、在日という絆で結ばれ、和気あいあいとした雰囲気に参加者の心が一つとなった。我々にとっても新しい友人という財産が増えとても意義ある旅行であった。

## ■第5回在外道民会役員郷土学校に参加



天高く馬肥ゆる秋、漢拏山ふもとの放牧馬が肥える季節の中、わが故郷済州で「第5回在外道民会役員郷土学校」が10月12日より1泊2日間の日程で済州特別自治道人力開発院にて開催された。在外済州道民会総聯合会会長である呉賛益会長をはじめ日本、アメリカ、ソウル、釜山など内外道民会の役員が多数参加した。当協会から金正憲・金光一両副会長と宋暎民渉外次

長が参加した。初日の歓迎会では、様々な分野で活躍している方々と交流ができ親睦を深める貴重な時間であった。2日目は石文化公園、海女博物館、ミカン博物館などを見学し、現代産業に覆われ忘れかけている済州特有文化や特産物について考えさせられる時間となった。国際自由都市を目指し日々発展を続けながらも、「済州特有の文化や自然を大事にしなければならない」との諸先輩たちの思いを再確認するひとときであった。

## ■熱海温泉で親睦旅行会

2006年11月12、13日の両日、熱海後樂園ホテルにて親睦旅行会が理事、会員、婦人会役員総勢42名の参加により開催された。

呉賛益常任顧問の挨拶と事業報告に続き、高瑋鉉顧問の乾杯音頭により宴会に入り、和やかな雰囲気の中、顧問、相談役、理事などの先輩と後輩たち

との交流を通し、協会と済州道の歴史や風習を学べる機会をもつことができ有意義な時間であった。特に今年は康民善・金洪斤・黄昌柱相談役、安俊夫理事など静岡県、神奈川県や遠くは茨城県からも参加された。

## ■2007年度家族同伴新年会並びに成人式



最大の年次行事として行なわれる恒例の「家族同伴新年会並びに成人式」が、2007年1月13日 上野・精養軒において、国内外から500名からの多くの参加者が集う中盛大に開催された。

来賓として済州特別自治道からは、金泰煥知事夫妻を筆頭に、梁大性道議会議長夫妻、高忠錫済州大学総長、金才允国会議員、金榮訓済州市長、金享受西帰浦市長、呉賛益在外済州道民会総联合会会長（当協会常任顧問）、金璟宅済州国際自由都市開発センター理事長、許貞玉済州国際コンベンションセンター代表理事、尹廣林済州銀行長、李孝善新韓銀行済州支店長を含めた関係者、済州の各関連機関から37名が参加した。国内からは鄭進在日本大韓国民団中央本部団長、李時香民団東京都地方本部団長（当協会顧問）はじめ都内各支部支団長、李永植あすか信用組合理事長、都内各道民協会長、各関連団長並びに多くの関係者が参加した。

式典は鄭平普会長の挨拶の後、金泰煥済州特別自治道知事の祝辞、鄭進民団中央団長をはじめ多くの来賓からも祝辞ならびに祝いの言葉を受けた。

成人式においては11名の新成人が参加した。新成人たちは満場の参加者から祝福される中で「済州の新成人として誇りを持って堂々と生きていきたい」と抱負を述べ、各機関から数々の記念品が贈呈された。

第2部は呉賛益常任顧問の乾杯で懇親会に入り、続いて子どもが楽しみにしているビンゴゲームや抽選会を行なった。

鄭平普会長は挨拶の中で、「故郷済州道は済州特別自治道となり、済州国際自由都市を目指す故郷を誇りに思うと同時にその実現のために積極的に協力して行きたい」と力強く述べた。また金泰煥道知事は、「貴協会のこれまでの済州道開発のための協力に対し、全道民を代表して感謝する」と述べ、さらに「故郷済州特別自治道を済州国際自由都市に発展させるため全力を尽くす」と並々ならぬ決意とその必要性を強調し、当協会にも大きな協力を期待すると述べた。

組 織

■第47期役員

顧問：玄栴洙 高庠秀 高瑋鉉 高昌運 高章守 李時香 夫昇培  
 金和男 李淳元 李徳雄 金英秀

常任顧問：呉賛益

相談役：韓在龍 張潤鍾 康民善 玄奎全 梁直基 金洪斤 鄭斗壽  
 呉益鐘 黄昌柱 李 権 洪炳基 韓在銀 高富仁 金秀吉  
 金昌世 金成日 白一善 呉敬進 玄祥琮 金修一 金世邦  
 夫奉秋 慎龍九 韓斗現

会長：鄭平普  
 副会長：金正憲 李大浩 金光一

副会長兼総務部長：高尚弘 副会長兼財務部長：姜丞宝

事業部長：宋信彦 渉外部長兼総務次長：呉仁敦

宣伝部長：金洪汶 国際部長：李成琥 組織部長：李俊行

渉外次長：宋暎民 青年部長：金英成

監 査：李富博 康大熙

■協会ニュース発行

第25号 2006年12月15日

第26号 2007年 5月31日



第25号



第26号

■斬新なデザインの会員章

本会会員章が、2006年12月20日、呉賛益常任顧問、鄭平普会長、康大熙監査の努力により完成した。デザインは（地球×済州道×在日本関東済州道民協会）のシンボルマークを模倣合体したものになっている。いろいろな機会に徽章をつけて参加し、大勢の方に協会をアピールしたい。



## 定期総会

### ■第47回定期総会開催



第47回定期総会が、2007年6月23日ホテルパークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員、青年部役員、報道機関を含め70余名の参加のもと開催された。鄭平普会長の挨拶から総会は始まり、続いて金和男顧問の挨拶と会長による総会の開会宣言の後、2006年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画および予算案を執行部の原案どおり可決した。また青年部の2006年度

事業報告および会計報告、新年度活動案および予算案も承認された。

その後、役員改選に移り、第26代会長に高尚弘氏が選出された。高会長より、確立された財政基盤のもと、安定した協会運営の継続を誓うとともに、現状に即した規約の改正をめざすと力強い挨拶があり、総会を無事終了した。

引き続き、呉賛益顧問の乾杯音頭で懇親会が始まり、席上、新理事と会員になられた方々の紹介があり、美味しい料理を堪能しながら、楽しいひと時を過ごし、無事閉会した。

### ■(株) 済京、定時株主総会開かれる

(株) 済京の第5期定時株主総会が2007年5月12日本社ビル（田中ビル）会議室にて行なわれた。

取締役会は取締役総数9名のうち6名が出席し、呉賛益代表取締役が議長席につき開会宣言し議事進行を行なった。代表取締役より事業報告がされ、決算報告が承認された。取締役9名全員留任と、2名の監査役のうち高章守顧問が後身に道を譲るとの意向で辞任し、高尚弘氏が就任する事で議案審議が全て満場一致で終了した。

### ■青年部

#### ●みんなで始めよう！新しい青年部

青年部では、故郷を同じくする仲間たち、先輩、後輩との交流の場を設けていきたいと、これからの目標「みんなで始めよう！新しい青年部」を合言葉に青年部の再生に取り組んだ。



2007年5月7日、9名参加のもとで総会が開催され、新生青年部が再スタート。新部長として安次男氏、次長に朴永鎮氏が選出され、各担当次長に張基碩・李桂壽・康敬瓚の各氏が就任した。役員はじめ幹部全員が、同胞の交流、済州島、韓国語等、あらゆる面で初心者といってもよいメンバーである。済州島、初心者で結成されたメンバーも、この「済州島」というキーワードのもとで出会い、そして自然に交流が深まっている。このような貴重な出会い、楽しい交流をテーマに活動して行きたい。

## ■ 済友会

### ● ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第106回	2006年7月13日	茨城やさと国際ゴルフクラブ	金光珍
第107回	2006年11月13日	大熱海国際ゴルフクラブ	宋暎民
第108回	2007年3月28日	茨城のやさと国際ゴルフクラブ	左玉花

### ● 済友会会員章作成！



かねてより検討されていた済友会会員章がこの度、済友会の李富博幹事と康大熙監査の考案により計500個が作成され配布された。この会員章は、ゴルファーの必需品であるマーカーを今はやりのマグネット方式で作成し、帽子の鏝(つば)に装着できるように工夫されている。デザインは済州道の島の形に済友会の文字と道民協会の旗をあしらったもので、好評を博している。

## 在 日 済 州 婦 人 会

### ■ 映画「マラソン」鑑賞会

婦人会の文化活動の一環として「マラソン」の上映会を2006年7月9日協会会議室にて行なった。会員や会員の家族36名が鑑賞した。この作品は実在する自閉症の青年がモデルという。主演のチョ・スンウは力強く熱演して、韓国のアカデミー賞とも言われる大鐘賞において最多受賞し、韓国で520万人が涙した感動作だ。親子の愛情とどんな苦境の中に生まれてきたとしても、だれでも自分の力で両手いっぱい生きていく力をもっているという人間の素晴らしさを描き、生きていく素晴らしさを感じる作品であった。

## ■ ちょっと豪華な台湾旅行

婦人会の親睦旅行は台湾へ、2006年10月31日から11月3日までの3泊4日、台北を中心に観光した。レトロな街並の九份を訪ね、昔ながらの石畳を散策したり、足マッサージや台湾シャンプーを体験したりした。そして、台湾料理も美味しく賞味でき充実した旅行となった。この旅行で文化の違いを肌で感じることができ、また参加者が互いに親交を深めることができた。

## ■ 「創立10周年記念式典」 挙行



2006年12月2日ホテルパークサイドにおいて「第10回定期総会」ならびに「創立10周年記念式典」が多くの来賓出席のもと盛大に開催された。来賓として呉賛益在外済州道民会総聯合会会長、在日本関東済州道民協会 鄭平普会長、高瑋鉉顧問、張潤鐘・玄奎全・金洪斤・金成日・慎龍九・夫奉秋各相談役、金正憲・李大浩各副会長・金光一副会長夫妻、宋信彦事業部長、金洪汶宣伝部長、宋暎民渉外次長、東京慶尚南道民会婦人会趙順伊会長が出席した。

韓道淑常任顧問以下役員会員が一丸となり、意義深く楽しい式典となった。特に初代会長であり、いつも陰で支えてこられた韓道淑常任顧問に花束を贈呈し感謝の意を表した。

参加者の心が一つになり、“済州人”としてのパワーに感激、現在も私たちの前に立ちほだかる在日の様々な諸問題、また3・4世たちの韓国への関心、薄れ行く故郷済州道への思いなど、考えなければならないことがあるが、少し明かりが見えてきたような喜びを感じることができた式典になった。また創立10周年記念誌「10年の歩み」が配布された。

## 会員ニュース

## ■ 金洪斤相談役に第14回済州商工大賞

2006年10月31日済州商工会議所の第14回済州商工大賞受賞式において、金



洪斤相談役が「特別大賞－最優秀海外企業人賞」を受賞した。永年にわたり、在日同胞の地方参政権獲得と同胞社会の權益伸張と発展に大いに寄与し、功労を認められ2000年12月国民勲章牡丹章を、2004年12月には済州道文化賞（海外同胞部門）を授与された。また、故郷発展のために1978年済州商工会議所の念願であった会館建立の際、同胞参加を誘導し、1985年済州道韓日親善協会と日本神奈川県日韓親善協会間の姉妹結縁締結時にも橋渡しの役割を担当し、両国間相互友好増進と経済・文化交流を通じた交互協力に貢献。また在日同胞青少年の済州訪問、済州道の歴史、発展を学ぶ機会を与え故郷に対するアイデンティティ確立に寄与し、民団神奈川県本部役員研修会を済州で開催するなど、済州の美しい自然景色や観光施設を積極的に広報し、日本人観光客誘致にも力を入れてきた。今回の受賞は済州が不況時に、地域経済活性化に寄与した有功商工人を称える名誉ある賞である。

#### ■玄奎全相談役国民褒賞伝授



2007年1月23日、駐日韓国大使館にて行なわれた「2006年度政府褒賞伝授式」にて、同胞社会発展と支部組織などに貢献したことが称えられ、玄奎全相談役が「国民褒賞」を受賞した。西帰浦市南元邑出身の同相談役は1969年財団法人済州道奨学会発足当時より理事として、本会では副会長を歴任し、設立当時より永年にわたり、故玄奎元相談役と共に兄弟で協会や故郷済州発展に寄与したことを称え、1981年協会創立20周年、1991年30周年記念式典において済州道知事より感謝牌が贈られた。

#### ■李時香顧問、済州特別自治道文化賞受賞



李時香顧問が栄えある「2006年度済州特別自治道文化賞」の海外同胞部門を受賞され、2006年12月26日済州道文化振興院において授与式が行なわれた。李時香顧問は第18代会長として、名称を済州開発協会から在日本済州道民協会に改称するなど、当協会の発展に尽力され、現在は民団東京都地方本部団長として韓日友好親善の架け橋的な役割や済州コンベンションセンター推進に献身的な役割を果たすなど済州道の発展に寄与している。

## ■トルハルバン人形町へ現われる！

東京の地下鉄日比谷線人形町駅、通称人形町通の10階建ビルの壁面に天地5.5m、幅2.2mの巨大な看板広告が2006年9月20日に据え付けられた。これは呉賛益常任顧問が、濟州道への観光客誘致のために、自社ビル（榊美浜）に総工費200万円を投じて完成。4枚のアルミ板に写真を張り付けたもので風雨に強く長期保持が可能だという。葉の花とのコントラストが絶妙で、道行く人々は足を止めてその異様ではあるが、何となく愛くるしいトルハルバンの姿に見入っている。



## ■高琿準顧問との永遠の別れ



高琿準顧問（高尚弘副会長御尊父）が2006年11月22日逝去され、25日上野寛永寺輪王殿にて通夜式が、26日告別式が執り行なわれた。葬儀委員長は呉賛益常任顧問が務め、故人の業績を称えた。享年83才。

高琿準顧問は1924年6月25日濟州市生まれ、16才で渡日、(株)西郷会館代表取締役社長として成功された。当協会の前身である濟州開発協会の創立に参画され、その後第6代会長を歴任し、顧問団の重鎮として故郷濟州道の開発や、文化の向上に寄与され多大な功績を残した。

他方、地元上野地域においては、戦後の混乱期にいち早く商店街として開店し、全国的に知られているアメヤ横丁商店街の会長として「安心して買い物の出来る商店街」を目指して地域振興に貢献され、業界の指導的役割を果たした。

永年にわたる奉仕活動が認められ、1967年日本国総理大臣表彰をはじめとして、韓国国務総理表彰、警視庁防犯部長感謝状、更に1995年には警視総監賞表彰等の顕彰を受けた。

## ■金坪珍顧問の遺徳を偲ぶ



第2代、第8代会長 金坪珍氏（当協会顧問、民団中央顧問、韓商連常任顧問）が、2007年3月29日逝去された。享年81才。葬儀・告別式は4月2日東京都台東区の寛永寺輪王殿でしめやかに行なわれた。喪主は長男の金和男氏（当協会顧問、韓商連相談役）。式は鄭進民団中央団長が葬儀委員長として執り行ない、約400余名が参列した。

金坪珍氏は1926年濟州道濟州市回泉洞生まれ、15才で渡日し、実業家とし

ての道を邁進した。多方面にわたる事業を起業し、「金海グループ企業」の創始者として成功し、後継者にも恵まれている。

金顧問は済州開発協会の創立に参画、その後第2代・第8代会長を歴任され、以後は協会顧問団の重鎮として故郷済州道の開発や、文化の向上に寄与され多大な功績を残した。1962年4月に派遣した第1次郷土訪問団は、本国においても大きな反響を巻き起こし、道当局へ郷土開発基金を寄託、道庁へ温州みかんの苗木を寄贈後、同年4月にソウルで国家再建最高会議を訪問し、時の朴正熙議長より政府側の済州道開発計画案について説明を受け、済州道の豊富な観光資源を財産として外国人観光客や政府要人の受け入れ観光施設の充実、特に近代的ホテル施設の建設が急務であるとの要請を受けた。金坪珍会長はホテル建設をその場にて即決、朴議長に進言し、翌年「済州観光ホテル」が誕生したのであった。特筆すべきは政府援助の申し出を謝絶して全て自力で完成させた。他方同氏は、東京韓商創立20年目の節目に当る1982年、第4代東京韓商会長に選出され、以後在日韓国商工会議所発展に大きく寄与した。

1987年12月に韓国政府より国民勲章無窮花章を受章された。

## 人物交流

### ○ 2006年

- 11月10日 当協会事務局にて済民日報金ヒョンファン記者外2名が来訪し、鄭平普会長、金光一副会長のインタビューが行なわれた。
- 7月 8日 正午より漢拏日報東京支社長康榮淳氏が来訪し、鄭平普会長のインタビューが行なわれた。
- 9月20日 済州商工会議所姜榮石会長外3名が来訪し、京成上野駅まで金正憲・金光一両副会長が出迎え、当協会まで案内。

### ○ 2007年

- 1月13日 済州道から金泰煥道知事外17名を金正憲・金光一両副会長、李成琥国際部長、呉哲新氏が成田空港まで出迎え。
- 1月22日 当協会会議室において済州大学言論出版センター李昌益主幹教授、許南春国語国文学科教授外4名が来訪し、呉賛益常任顧問、鄭平普会長、金正憲・姜丞宝・李大浩・金光一・高尚弘各副会長、宋暎民渉外次長とインタビューをした。
- 5月23日 当協会会議室にて済州TODAY社趙孟洙氏、高章守顧問外1名で、ミカン事業に関するインタビューが行なわれた。また、趙孟洙氏より「韓国は祖国、日本は母国」の書籍が寄贈された。

## 濟州道通信

### 4・3事件犠牲者慰霊祭に参列

2007年4月3日、4・3平和公園にて、第59周年慰霊祭が、約1万名が参席して行なわれた。慰霊祭では、盧武鉉大統領の追悼辞を朴明在長官が代読し、「59年前の4・3事件は、冷戦と分断によってもたらされた私たち現代史の大きな悲劇だった。政府はこの不幸な事件の犠牲者と遺族の名誉回復措置を着実に実行し、今後も4・3事件を歴史教訓として真相糾明や、4・3平和人権財団設立を支援するなど関係者の名誉回復に最善をつくす」と強調した。

これに金泰煥道知事は「4・3事件解決は現在進行形で、事件は濟州道の歴史だけではなく韓国現代史を新しく見直すうえで4・3事件を想起し、南北統一問題を解決し、北東アジア平和共同体構想を未来志向で考えていかなければならない。そして「濟州4・3資料館」を建設中であることや、この歴史を教訓に平和・人権を志向する真に平和な島への足跡を築き上げ、犠牲者や遺家族に恥ずかしくない誇らしい濟州にしよう」と力説した。本会を代表し金正憲副会長が参列した。

### 第41回濟州特別自治道民体育大会に参加



2007年4月20日より3日間、第41回体育大会が行なわれ、ワールドカップ競技場で開会式で金泰煥道知事より、100万濟州人の和合と前進を決意し、体育大会開催を喜ぶとの力強い開会の挨拶があった。その後、選手と審判の代表による宣誓があり、体育大会の火蓋が切られた。開会式

には、在外濟州道民会総联合会吳賛益会長が来賓として、当協会から高尚弘副会長が参加した。



## 李明博大統領就任



29歳で取締役、36歳で社長、47歳で会長に駆け上がり、現代建設を韓国のトップ企業に押し上げ、経済人として伝説的な名を残し、2008年2月25日、李明博氏は第17代大統領に就任した。

1941年日本大阪で生まれ、大学までの生活は、極貧家庭の“貧しさとの闘い”でもあった。定時制の同志商高を卒業し、高麗大学校商学部合格。1964年同大学総学生会長代行になって同6日約1万2千人が参加した朴正熙政権下、韓日基本条約締結に向けての韓日会談反対闘争を指導し、第6次会談を中止させた。これにより国家内乱扇動の容疑で逮捕され、最高裁にて懲役3年・執行猶予5年の判決を受けた。このような経歴で李大統領は「民主化の第1世代」とも言われるようになった。

とも言われるようになった。

1965年大学卒業後は、学生運動の経歴がたたって、就職難に陥る。社員数十人の零細企業だった現代建設に紆余曲折を経て入社した。

1992年現代建設を退社、第14代、第15代国会議員に当選するが、選挙法違反で1998年議員を辞職し渡米。ジョージ・ワシントン大学客員研究員として1年間過ごした。大学で参加した演習で「環境」の重要性に気づき、知人に誘われて訪れたボストンでの都市再生工事から、後の清溪川復元工事を始めとする、一連の都市プロジェクトのヒントを得たという。

帰国後、2002年にソウル特別市長に当選し、清溪川を復元して生態系の宝庫となった。2007年12月19日施行の大統領選挙で与党系の大統合民主党的鄭東泳候補を圧倒的大差で下して当選を果たした。

2008年5月12日、中国四川省で地震発生、約4万人が死亡した。

## 濟州島、ユネスコ世界自然遺産認定

2007年6月、ニュージーランドで開催された世界遺産委員会総会において韓国が申請した濟州島の自然が、自然環境のノーベル賞と称されるユネスコ世界自然遺産に認定され、登録名は「濟州火山島と溶岩洞窟」と命名された。世界遺産には文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類があり、韓国では「昌徳宮」、「仏国寺と石窟庵」をはじめ7件の文化遺産を有しているが、自

然遺産に登録されたのは今回が初めてだ。

自然遺産登録された「済州火山島と湾岸洞窟」の対象は、「漢拏山天然保護区」と「城山日出峰」、「拒文岳（コムンオルム）寄生火山系溶岩洞窟群」の3地区から成り、済州全体面積の10.1%に当たる187平方キロメートルに達する。ユネスコの世界自然遺産部門専門機構である国際自然保護連合が世界遺産委員会に提出した報告書は、景観的美しさはもとより地質学的価値が世界遺産として遜色ないと高く評価、関係者も済州島の火山地形はハワイ火山公園とロシア・カムチャッカ火山列島等、世界有数の遺産地区より景観と「学術的価値」において優れ、世界最高水準と絶賛している。

自然遺産に登録された事は、韓国の国家ブランド価値の上昇と済州島を国際観光名所に発展させる契機になるとみられ、その宣伝効果は計り知れない。「数々の奇岩で彩られたベトナムのハロン湾が、1994年に自然遺産登録されてからは世界中から観光客が訪れるようになり、その数は1996年の23万人から2005年には130万人に増大したという事実があります。」世界遺産に登録された場所は一地域、一国内においてのみではなく、全世界的に見て重要な価値があることであり、それを所有する国が保存する義務を持つ。

独自の自治権が付与され特別自治道となって1年、世界自然遺産登録は、その門出を後押しする事になった。文化財庁は、自然遺産管理課を新設する等、制度的バックアップ体制を強化することになっている。「三多の島」「平和の島」に「世界自然遺産の島」のワールドネームが加えられた事は、内外済州道民110万人にとって大いなる誇りであり、愛郷心に燃える在外済州人は大いに勇気づけられた。

これらの出来事に着目した「日本放送協会」は2007年11月24日にNHKワールドプレミアム探検ロマン世界遺産、「驚異の火山島、命のきらめき韓国済州道」と題し、午後8時から世界自然遺産の島として守り神としての「トル

ハルバン」の由来や、13世紀モンゴル帝国が侵入、「蒙古襲来」の前戦基地となる中で蒙古馬と在来種との間で誕生した小型馬「チョンランマル」が今や済州島の人々の心の象徴となっていること等放映された。歴史と観光の島としての将来性が大いに期待される。



## ■第26代会長に高尚弘氏就任

第47回総会において、第26代会長に高尚弘会長が選出された。会長就任に際し、2世会長として次世代への引き継ぎや時代に即した規約改正など、1世に対する思いや抱負をよせた。



高尚弘 第26代会長

### 会長就任によせて (要約)

私は、この度第47回定期総会での承認を得まして在日本関東済州道民協会の第26代会長に就任いたしました。私事になりますが、昨年亡くなった父が第6代会長を務め、父の教えの中に、常に故郷、済州道がありました。自分たちの生活もままならぬ時代に、故郷を思う愛郷心を持ち、頑張って来られた姿を見て、私は育ってまいりました。

私は今この時に、成すべきことを考え、一步一步進んで行きたいと思っています。わが故郷済州道は、UNESCO世界自然遺産に登録され、世界中から注目を集める島になりつつあります。ますます発展を遂げていく済州道に、少しでも貢献でき緊密な関係を築いていきたいと願っております。

本会の財政基盤も磐石なものになりつつあるのも、(株)済京の設立があったからであります。任期2年の間に、確立した財政の透明性を深め、無駄のない協会運営を行ないたく存じます。

次に、協会の規約改正にぜひ取り組みたいと思っています。すでに、規約改正委員会を発足させ、規約改正の準備に着手しております。いろんな角度から検討して、今の時代に即した規約を作り上げる所存です。また、数年間、活発に活動できなかった青年部も息を吹き返したように活動を再開してがんばっております。私に課せられた仕事は、当協会が、未来永劫存在していく為に、若い人々への架け橋になることだと思っております。

最後に、協会の顧問、相談役をはじめとする先輩方々の苦勞と恩義に報いる為にも、2世3世が時代に即応した形で正しく協会の歴史と伝統を守らなければなりません。微力ではありますが、済州人の親睦団体であることを念頭におき、誠心誠意協会の運営にあたる覚悟であります。会員皆様のご協力を切にお願い致しまして挨拶といたします。

## 主 要 行 事

### ■第21回夏季郷土学校開催

第21回夏季郷土学校が、2007年7月30日から8月4日に開催された。今年もアメリカ、東京、大阪、ソウル、釜山、その他多くの地域から道民会役員や



2世3世の学生国内外60名(東京2名)、が集まり、貧しかった時代から発展した今日の姿と未来に至るビジョンを見ることができた。

今回はじめて参加した学生たちも、済州大学やさまざまな施設を訪問し交わりを持ち、伝統・文化・歴史を学び、美しい済州道を見、体験した中で多くの感動、感激を味わった。そしてこれからますます済州道を愛し、済州

道民としての誇りを持ち活躍することが期待される。美しい故郷済州道、広く、碧い海、高くそびえる漢拏山、きれいな空気。私たちが愛する故郷済州道が平和な島、美しい島、夢と希望と喜びを与える島になり、世界中の人々が訪れるようになることを願う。

今回は第26代執行部がスタートして初の海外訪問事業であり、開校式の前に鄭平普常任顧問をはじめ高尚弘会長、金正憲・金光一・李大浩・金成日・慎龍九・宋信彦副会長、宋映民渉外部長、邊彰満総務次長、李始禹氏は、道庁をはじめ各機関を表敬訪問し交流を図った。

### 夏季郷土学校を体験して —— 参加学生 金 宏 美

言葉がツウジナイワタシ——ハラボジ、ハルモニの故郷である済州島、そして私の母国である済州島——。

私は今まで母国に行ったことがなく韓国人という実感がありませんでした。しかし今回夏季郷土学校に参加をしてたくさんのもので得ることができて良かったと思います。

伝統文化の博物館を見た時とても勉強になりました。なぜならば今まで昔の話をただ耳を傾けていただけでしたが、ハラボジ、ハルモニが若いころどんな暮らしをしていたか、博物館を通して目で見ることでとてもいい体験になりました。

不安なことはたくさんありました。そんな中私たちの背中を押してくれたりして、心の温かい人ばかりで優しい人ばかりでした。皆住んでいる国はバラバラだけど、ここで出会ったほんとうの「家族」みたいでした。仲間たちに恵まれ出会えてほんとうにほんとうに良かったです。

また韓国人の人々と文化を知るためには言葉を知ることから始まります。在日はたったの4人しかおらず、それに恥ずかしいことに韓国語が喋れない私たち。だから言葉がわかればもっと楽しかったかなと思いました。反面在日韓国人は日本人でもなく、かといって韓国人になりきっていない心もとない存在ではありますが、日本と韓国の両方の歴史的に深い関係の狭間にいるのは、両方の文化を学ぶことができるのは幸せなことです。これも植民地時代と朝鮮動乱を乗り越えて、韓国の経済は目覚ましい復興を果たし、韓国民の生活が豊かになったおかげだと思います。



## ■第6回在外道民会役員郷土学校開かれる



第6回在外道民会役員郷土学校が、2007年10月4日から1泊2日間の日程で、済州特別自治道人力開発院にて開催された。在外済州道民会総联合会呉賛益会長をはじめ日本・韓国国内地方都市やアメリカ各道民会の役員方56名が参加した。当協会からは金光一・慎龍九・宋信彦各副会長、韓斗現(聯)副会長、宋暎民渉外部長、邊彰満総務次長が参加し、初日は入校式にて金泰煥道知事および梁大性議長、総联合会呉賛益会長の挨拶があった。引き続き歓迎会が開かれ、同郷同士なごやかな雰囲気意見交換や親交の時間を過ぎた。

翌日の10月5日から10日まで、第46回耽羅文化祭が済州市塔洞浜辺公演場にて催された。開幕式には当協会の高尚弘氏が新会長として故郷訪問事業参加者を引率して参加し、多数の済州道の人たちが集まった中、盛大に行なわれた。道知事が挨拶で今年は台風で済州道がかつてないほどの被害のため、一度は文化祭の中止を考えたが「こういう時こそ、道民がひとつになって頑張るためにも開催した」との挨拶があった。事実、各道民会より多くの寄付金が済州道の復興のため寄せられ、当協会有志たちからも1,500万ウォン(200万円)が、高会長より道知事へ伝達された。

9月に済州道を襲った台風11号による、被害の大きさが心配されたが、復旧の状況に実際接して見て、韓国内はもちろんのこと、海外からも多くの援助が送られ、故郷済州道を愛し、一生懸命助け合いながら、早く復旧させようという済州人の力強さと前向きな姿勢に深く感動をおぼえた。

## ■在外済州特別自治道民会総联合会定期総会



世界各地域の道民会から2007年10月6日会長、副会長団が集まり、第11回在外済州特別自治道民会総联合会定期総会が、済州体育会会館大会議室において、午前10時開催された。まず、来賓および各地域の役員紹介に続いて、呉賛益総联合会会長の挨拶があり、済州道がUNESCO世界自然遺産に登録されたという良いニュースから、台風による多大な被害



を受けたことなどを交じえながら、総联合会と済州道との関係強化の必要性などが述べられた。

その後、会議案件にはいり、主な会務の報告がなされ、次に、2006年度監査報告および決算承認が行なわれ、2007年度予算案もスムーズに承認された。次の議案である会則改定に関しては、役員任期において総会の時期が異なる地域があり、総联合会会則と合わない地域も考慮して、会長を中心に数名の委員を選考し、この問題を出来るだけ早く改定していくことで合意を見ることができた。

最後に、在米アトランタ済州道民会の新加入が報告されるとともに、在米道民会各地域の会長から呉賛益総联合会会長へ、アメリカへの招待状が送られ、総会は無事閉会となった。当協会からは高尚弘会長、金正憲・金光一・慎龍九・宋信彦副会長、宋暎民渉外部長、邊彰満総務次長が参席した。

一方、联合会は去る7月31日に済州パレスホテルにて臨時定期総会を開き席上、当協会鄭平普常任顧問に感謝牌が贈られた。

### ■第3回関東・関西済州道民協会役員懇親会

2007年10月6日午後6時より、ラマダプラザ済州ホテル宴会場において、第3回関東・関西済州道民協会役員懇親会が開かれ、当協会より在外済州道民会総联合会 呉賛益会長、高尚弘会長、慎龍九・宋信彦両副会長、宋暎民渉外部長が参加した。例年、関西道民協会は夫婦同伴での参加が多く、当方の参加者が5名であったことに少し淋しく感じた。また、関西側は芸達者な方が多く、カラオケなど一生懸命場を盛り上げ、楽しいひとときを過ごした。

### ■第11回故郷訪問事業実施——故郷のぬくもりを改めて感じました

2007年10月15日から3泊4日の日程で、済州道出身の高齢者故郷訪問事業が実施された。この行事は毎年済州道が無料で招待するもので、道が実施している福祉事業の中でも、もっとも重要視されている行事のひとつである。11回目の今回は、参加者が東京、仙台から7名と少なかったが、例年どおりの日程で無事に終えた。



仙台から参加した84歳のハラボジは日本生まれの在日2世で、初めて自分の故郷を訪れて言葉を詰まらせていた。特に抗日記念館や平和博物館の見学後に、アボジから聞いた話が84年目になって真実になったと感慨深げに話していた。参加者は年々少なくなって来ているが、参加する人はそれぞれさまざまな想いを抱いて故郷済州（チェジュ）を見て感動して帰る。4日間の日程を終え、ハラボジ、ハルモニみんなが故郷の温もりを改めて感じて、そして故郷に感謝して発って行った。

### ■いわき湯本温泉にて親睦旅行会



2007年11月11、12日の両日、いわき湯本温泉吹の湯において、親睦旅行会が理事、会員、婦人会役員、青年部員総勢36名の参加により催された。

高尚弘会長の挨拶に始まり、呉賛益顧問の挨拶・乾杯により宴会に入った。なごやかに杯を酌み交わし、ほろ酔いになったところで、カラ

オケ、豪華賞品の抽選会などを行ない、楽しく時を過ごした。

翌日は雨もすっかり上がった好天の中、済友会は「バイロンネルソンCC」にてコンペ、その他の方は観光をそれぞれ堪能し、帰途についた。

### ■2008年度家族同伴新年会・成人式

家族同伴新年会・成人式が、2008年1月19日上野・精養軒において、400名余りが参加して開催された。式典には、金泰煥済州特別自治道知事夫妻をはじめ、梁大性道議会議長夫妻、姜昌一国会議員、金榮訓済州市長、金亨受西帰浦市長、呉賛益在外済州道民総聯合会会長が出席、国内からは、民団中央本部鄭進団長、民団東京本部李時香団長等多くの関係者が参加した。

役員そろって新年あいさつの後、高尚弘会長は「昨年は済州道においては良い出来事、悪い出来事があった。台風11号による甚大な被害は1千億ウォンを超えた。金泰煥道知事の指揮下内外問わず助け合いながら復旧を目指す済州人の力強さと前向きな姿勢に深く感動した。よい出来事とは、世界自然遺産への登録があった。この宝物を後世まで受け継ぎ、さらなる発展の一助となりたい」と挨拶、金道知事は、「済州道は大韓民国唯一の特別自治道と



なり、世界一の国際自由都市を目指している。新経済革命という新たなパラダイムで民生経済に安定をもたらし、革新都市と神話歴史公園をはじめとする大規模プロジェクトでさらに地位を高めていく」と済州道の指針について述べた。表彰においては、康大熙相談役、安俊夫理事、呉春花婦人会常任顧問に功労牌が授与された。また水害義捐金のお礼として、金道知事から本

会へ感謝杯と額縁が贈られた。成人式では、新成人8名に対し、高会長はじめ多くの来賓から記念品が贈られ、代表して安博賢君が答辞を述べ、一部の式典が終了した。

鄭平普常任顧問の乾杯音頭で第2部の懇親会が始まり、余興として尹恵英嬢のミニコンサートが開かれ、すばらしい歌声を堪能し、恒例の抽選会やビンゴゲームが青年会の担当で和やかに進み、閉宴となった。

## 組 織

### ■第48期役員

顧問：玄栢洙 高庠秀 高瑋鉉 高昌運 高章守 李時香 夫昇培  
 金和男 李淳元 李徳雄 金英秀 呉賛益

常任顧問：鄭平普

相談役：韓在龍 張潤鍾 康民善 玄奎全 梁直基 金洪斤 鄭斗壽  
 呉益鐘 黄昌柱 李 権 洪炳基 韓在銀 高富仁 金秀吉  
 白一善 呉敬進 玄祥琮 金修一 金世邦 夫奉秋 韓斗現  
 康大熙

会長：高尚弘

副会長：金光一 李大浩 金昌世 金成日 慎龍九

副会長兼財務部長：宋信彦 副会長兼事業部長：金正憲

総務部長：呉仁敦 宣伝部長：金洪汶 国際部長：李成琥

組織部長：李俊行 渉外部長：宋暎民 総務次長：邊彰満

青年部長：安次男

監 査：姜丞宝 李富博

■協会ニュース発行

第27号 2007年12月15日

第28号 2008年5月30日



第27号



第28号

定期総会

■第48回定期総会開催



第48回定期総会は、2008年6月21日ホテルパークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員、青年部、報道機関等56名参加のもと開催された。高尚弘会長の開会辞から始まり、続いて金和男顧問の挨拶があり、会長による総会の開会宣言の後、2007年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画および予算案が執行部の

原案通り可決された。また同時に、青年部の2007年度事業報告および会計報告、新年度活動案および予算案も承認された。また、重要議案として上程された規約改正案については、総会に先立って開催された「第2回理事会」において、会員資格の改正について多数の意見があり、継続審議となった。次回の総会において全会員の納得できる改正案の上程が期待される。

引き続き懇親会が行なわれ、鄭平普常任顧問の乾杯で始まり、席上、新しく理事・会員になった方々の紹介があり、おいしい料理を堪能しながら、楽しいひと時を過ごし、金成日副会長の閉会辞で閉会した。

■青年部

●新生青年部、充実したスタート！

今期安次男青年部長のもと再スタートを切った。多くの不安を抱えてのスタートであったが、たいへん多くの方が参加され、ほんとうに充実した活動を送ることができた。心よりの感謝を申し上げたい。半年間の活動内容は下記のとおり。

2007年 6月15日 食事交流会 渋谷にて (20名参加)

8月25日 バーベキュー 清水公園にて (13名参加)

11月3日 料理交流会 日暮里ひろば館にて (17名参加)

また「ウリハッキョ」映画鑑賞会、6月度の月例食事懇親会も開催され、多数の参加をみた。今後はさらに、旅行親睦会、屋形船交流会、ポーリング

大会等も企画している。

青年部は自然に、そして何よりも楽しく交流を深めることを第一に考えており、年齢は10代から30代、また韓国語の話せる人、話せない人等、幅広い方々が集まって、誰もが気軽に参加できる雰囲気づくりを心がけている。

## ■ 済友会

### ● ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第109回	2007年6月19日	山武グリーンカントリー倶楽部	蘇永禮
第110回	2007年9月26日	宍戸ヒルズカントリークラブ	宋暎民
第111回	2007年11月12日	バイロンネルソンC・C	金成哲
第112回	2008年3月27日	宍戸ヒルズカントリークラブ	安次男

## 在 日 済 州 婦 人 会

### ■ 活動を振り返って



世界中が異常気象の中、故郷済州道は過去に例のない台風により被害に見舞われた。私たちは、済州道の悲惨な状況に心を痛めたが、済州道の人たちの災害に立ち向かう“済州人”としてのパワーに感動し、その姿に元気と勇気を与えられた。そして、現在済州道は復興に向いつつある。

今年度婦人会は、「1日バス旅行」に始まり、そして、観劇「ジャンプ」、巨済島・釜山の旅などさまざまな行事を行なった。特に印象深かったのは「巨済島の3泊4日」の旅行であった。巨済島では豊臣秀吉の唐入りの際、朝鮮半島を攻略する日本軍を迎撃するために用いられた李舜臣（イ スンシン）将軍の考案で造られたとされる戦艦、亀甲船の話と、朝鮮戦争時の悲惨な捕虜収容所を見学した。ふだん韓国人でありながら韓国の歴史に触れることが少なかったが、今回は非常に新鮮でとても興味を持った。そして今後もこのような歴史に触れる機会を増やしていきたいと改めて思った。

### ■ 第11回定期総会・送年会開催

第11回定期総会・送年会が、2007年12月2日ホテルパークサイドで、会

員・役員並びに、在日本関東済州道民協会鄭平普常任顧問をはじめ、高尚弘会長、金正憲・金光一・李大浩・慎龍九・宋信彦副会長、呉仁敦総務部長を含め70名近くの参加を得て盛大に行なわれた。

総会では昨年度の活動報告並びに決算報告、新年度の事業計画と予算案が採決された。さらに第5代役員総辞職とともに新役員の改選が行なわれ、初代会長韓道淑常任顧問に続き2期4年間会長職を務めた呉春花会長の勇退を称え、道民協会と(株)済京より記念品が贈られた。

第6代役員は、会長に金貞子氏が選出され、副会長に金夏子・金久美子・趙年子、監査に康景淑・金孝淑、総務部長朴恵子氏が承認され、その他の役員は後日発表することになった。金貞子新会長に呉春花直前会長より花束が贈られた。引き続き送年会では、韓道淑常任顧問の配慮により、婦人会会員の子息で、現在日本の芸能界で大変活躍している「三四六」さんを招待し、ライブとカラオケで会が盛り上がり、会員水入らず楽しい時間を過ごした。婦人会のためを考え愛してくださる韓道淑常任顧問に一同感謝し、その後の重責を担い任期を務めた呉春花会長の労に感謝した。

## ■第6代役員

常任顧問：韓道淑・呉春花

顧問：朴潤閔・夫順末

相談役：康仁順

会長：金貞子

副会長：金夏子・金久美子・趙年子

総務部長：朴恵子                      総務次長：金善子

財務部長：金順愛                      財務次長：趙年子

文化部長：玄英子                      文化次長：李仁秀

結婚相談部長：左玉花              監査：康景淑・金孝淑

## ■秩父羊山公園・長瀨ライン下りの旅

「日帰りバスツアー」が2008年4月14日36名が参加し実施された。最初に訪れた青雲寺は1423年の創建。樹齢600年のエドヒガンザクラをはじめ大小30本もの枝垂桜がみごとだった。また午後に訪れた秩父羊山公園の芝桜も愛らしく芽を楽しませてくれた。帰りのバスではビンゴゲームで童心にかえり楽しい一日を過ごした。

## 会員ニュース

### ■第15回済州商工人大賞「最優秀海外企業人賞」に黄昌柱相談役



済州商工会議所の「創立72周年記念ならびに第15回済州商工大賞授賞式」が2007年10月30日行なわれ、商工大賞に5名が選定された中、黄昌柱相談役が「特別大賞－最優秀海外企業人賞」を受賞された。この賞は、済州が不況時に地域経済活性化に貢献した有功商工人を称える名誉ある賞で、今回は関西済州道民協会 韓健三監査と共同受賞であった。

黄相談役は済州市旧左邑金寧里出身で神奈川県湯河原に在住し、現在、(株)共榮商事代表取締役会長を務めている。

同氏は10月19日、真鶴町と湯河原町の町長を訪問し、寄付金を伝達した。湯河原町への寄付は2000年から続けられ、今年で8回目を迎える。10月26日は小田原市親善協会の済州市、済州商工会議所の訪問、歓談会にも同席し「両都市間、実質的な交流が行なわれるよう積極的に支援する」と述べた。

黄相談役は民団神奈川県地方本部団長・副団長・議長を経て、永年にわたり、神奈川県において同胞社会の地位向上のため、民団活動や地域社会との親善交流に努めた。また故郷発展のため寄付や人材育成・奨学事業にも惜しみなく支援してきた。黄相談役の功労を称えて国民勲章冬柏章、国民勲章牡丹章を受勲、済州道文化賞（海外同胞部門）、教育省長官賞、済州道知事感謝牌を受賞された。

### ■鄭平普常任顧問が正史を務める



2007年は朝鮮通信使来日から400年になる。韓国と日本は、これを韓日・日韓親善事業の一環としてその通信使の経路各地で記念行列行事が華々しく繰り広げられている。埼玉県川越市はその朝鮮通信使の経路ではないが、400年前川越の「榎本弥左衛門」という豪商が江戸で朝鮮通信使の行列とその使節団の持つ意味に感銘して、その模様をそっくり川越で再現したという

記録が残っている。その朝鮮通信使の行列を埼玉の市民団体と地域住民が主催となり復活、「唐人揃い—朝鮮通信使—文化共生・国際パレード」が11月11日、川越の蔵造り沿道には、2万人を越す人々が見守る中で繰り広げられた。今年度は朝鮮通信使の400周年を記念するということで民団埼玉地方本部の鄭平普団長（当協会常任顧問）が正使を務めた。

## 濟州道通信

### ● 金萬徳女史の遺徳を称えてお米千俵！



今日濟州道では、金萬徳（キムマンドク）は「朝鮮朝時代濟州島に大凶作が続き、飢え苦しんでいる時に、全財産をはたき、道民たちを救った尊敬する女性」として知らない人はいない。彼女を称える義人塔と萬徳館、そして耽羅文化祭で行なわれる萬徳奉仕賞授賞式などを通じて広く知られている。小中学校の郷土学習館に、「わが故郷の誇らしい人々」に必ず登場する。

義女金萬徳の業績を広く知らせ、その精神を受け継ぐための運動の一環として（社）金萬徳記念事業会が主催し、濟州特別自治道と道教育庁の後援で、2008年7月28日午後5時より濟州市觀徳亭広場において「金萬徳お米集め運動（ナムンサルチョンソムサグギ）」記念行事が開かれた。真夏の暑さのなか多くの観客がつめかけ、米を積んだ40台あまりのトラックで渋滞する様子を見て驚いた。この行事には10万人の島内外道民、在日同胞と小中高校生たちと道内企業、公共機関、団体の積極的な参与で1277俵にまで集められた。今回の行事を通して金萬徳ハルモニの奉仕精神を再び悟り実践するきっかけになったという。

当道民会からも微力ながら気持ちを表し、行事には在外濟州道民会総聯合会吳賛益会長、金正憲副会長が参加した。集まった米は、道内43カ所の地域の、障害者・独居老人・貧困青少年家庭などに伝達された。



## 人物交流

### ○ 2007年

- 7月6日 玄奎全・玄祥琮両相談役の案内で玄明官前三星物産会長が来訪し、鄭平普常任顧問、高尚弘会長、金正憲・李大浩・慎龍九・宋信彦副会長と懇談。
- 7月18日 協会事務局にて漢拏日報 康榮淳日本支社長により高尚弘会長のインタビューが行なわれた。
- 9月29日 済州道より金泰煥道知事夫妻と在外道民係 宋奉柱係長が来日し、成田空港まで高尚弘会長、金正憲副会長が出迎え、ロイヤルパーク汐留タワーホテルまで案内。
- 9月30日 道知事一行との朝食会がロイヤルパーク汐留タワーホテル25階日本料理「厨 車屋」で開かれ、当協会より呉賛益顧問、鄭平普常任顧問、高尚弘会長、金正憲・金光一・宋信彦各副会長、姜丞宝監査が参席した。  
引き続き、道知事一行のお台場見学に高尚弘会長と金光一副会長が案内し、羽田空港まで呉賛益顧問、高尚弘会長が歓送。

### ○ 2008年

- 1月8日 済州発展研究院高廣明教授、金賢哲責任研究員、金在日委嘱研究員が来訪し、高尚弘会長と「海外済州人人的ネットワーク構築」について説明と意見交換が行なわれた。
- 1月18日 済州道から金泰煥道知事外3名を高尚弘会長、宋暎民渉外部長が成田空港まで出迎え。協会事務所にて道知事、高尚弘会長、鄭平普常任顧問、金光一副会長が合流し、済州道主催「駐日韓国観光業界との懇親会」（北大路銀座店にて）へ参加。その後、宋暎民渉外部長が済州道一行を式場まで案内。
- 1月18日 西帰浦市金亨受市長外1名を李成琥国際部長が成田空港まで出迎え。
- 1月19日 済州道から梁大性道議会議長夫妻外10名を宋信彦副会長、李成琥国際部長が成田空港まで出迎え、式場まで案内。
- 3月10日 韓在銀相談役の案内で第18代国会議員済州市乙候補者夫サンイル氏と安チャンス氏が来訪し、鄭平普常任顧問、高尚弘会長、金光一・慎龍九・宋信彦各副会長、呉仁敦総務部長、邊彰満総務次長と歓談。
- 5月12日 西帰浦市から茨城県鹿島市へ派遣勤務者 陳承政氏、済州特別自治道教育庁から鹿島市教育委員会へ派遣勤務者 高秀亨事務官外1名が来訪し、役員会で挨拶を交わした。

# “YES, WE CAN”米大統領にオバマ氏



“YES, WE CAN”というキャッチフレーズを掲げ、オバマ旋風を巻き起こしたオバマ氏は、2009年1月第44代アメリカ大統領に就任した。

1961年ハワイで生まれた彼は、米大統領としては異色な人物だった。ハワイ出身であることもそうだが、昔からのアフリカ系黒人ではなく、父はケニア出身で奨学金を受給していた留学生であった。両親の離婚、母の再婚によりインドネシアで、6歳から10歳までジャカルタの公立小学校に通った。

1971年ハワイに戻り、1979年ロサンゼルスのおクシデンタル単科大学に入学する。2年後ニューヨークのコロンビア大学に編入し、政治学を専攻する。1988年ハーバード・ロースクールに入学し、法務博士取得、1992年シカゴで弁護士として法律事務所に勤務。そこで知り合ったミシェル・ロビンソンと結婚、2人の娘をもうけた。

人権派弁護士として頭角を現し、1996年イリノイ州議会上院議員に選出され、2004年イリノイ州選出のアメリカ合衆国上院議員に当選。2008年、民主党の大統領予備選でヒラリー・クリントンの優勢が予想されたが、オバマが大統領候補の指名を正式に獲得し、同年12月15日、第44代大統領に選出された。

2009年10月には「核なき世界」に向けた国際社会への働きかけが評価され、ノーベル平和賞を受賞した。“YES, WE CAN”という言葉は、世界から韓国の「漢江の奇跡」と呼ばれた時代に、「ハミョンテンダ〈為せば成る〉」というキャッチフレーズで使われたことばでもある。

2007年サブプライムローン危機による米国の住宅バブルの崩壊で2008年9月15日、負債総額約64兆円という史上最大の倒産劇に到り、リーマンショックとして全世界的な金融危機を招いた。2009年4月4日、北朝鮮は日本東北地方の太平洋上に向けてミサイル発射実験を実施した。

## 快挙！ 航空宇宙博物館濟州誘致確定

わが国の未来の航空宇宙時代をめざす空軍本部航空宇宙博物館の濟州誘致が確定された。2008年7月航空宇宙博物館誘致を希望する全国自治体を対象に提案を公募した結果、濟州特別自治道が最高の評価を受け対象地に確定されるという快挙を遂げた。

11月18日道庁会議室にて金泰煥道知事、金環宅濟州国際自由都市開発センター（JDG）理事長と空軍戦闘発展団長李ヒウ准将等関係者らが参席し、航空宇宙博物館建立・運営に関する協約（MOU）が締結された。

博物館は、西帰浦市に2009年着工、来る2013年完工を目標にしている。航



空宇宙博物館には、空・宇宙・空軍に対する教育機能とパイロットトレーニング、シミュレーションを取り揃えた航空博物館、航空機観覧および搭乗体験ができる5つのテーマを持った野外展示場が入る。また野外展示場と博物館全体を移動しながら観覧可能なモノレールと、濟州の夜空を眺めることができる天文台、濟州の美しい全景を眺望できる展望台も建設される予定だ。

### 主 要 行 事

#### ■第22回夏季郷土学校を開催

22回目を迎えた夏季郷土学校が、濟州特別自治道と国立濟州大学主催のもと、2008年7月28日から8月1日の期間で開催された。

世界中でグローバル化が進み、世界のさまざまな人・文化と触れ合う機会が、一昔前では想像がつかなかったほど増えている。その反面、我々の同郷の人々、文化と触れ合う機会が減っているのもまた事実である。そのような時代にあって、この夏季郷土学校で自分たちの故郷である濟州特別自治道のすばらしさ、美しさを再認識し、さらには同じ故郷を持つ在外道民の皆さんと触れ合う機会というのは、たいへん貴重な機会といえる。

今年も、さまざまなカリキュラムが用意され、参加者は、改めて濟州道の美しさ、文化、歴史を肌で感じる事ができた。この経験は、参加した青年



たちとのコミュニケーションができた貴重な財産になったと信じる。

高尚弘会長をはじめ、金光一・李大浩・慎龍九各副会長、宋暎民渉外部長、李始禹氏が参加し、入校式の前に参加役員は済州市庁と(財)済州中小企業総合支援センターを表敬訪問した。期間中、呉賛益会長の任期満了に伴う在外済州特別自治道民会総聯合会総会も持たれ、特別な夏季郷土学校になった。

## ■第7回在外道民会役員郷土学校参加

第7回在外道民会役員郷土学校が2008年10月2日から1泊2日の日程で済州特別自治道人力開発院にて開催された。今年も例年通り、在外済州道民会総聯合会白明允会長を始め日本、アメリカ、ソウル、釜山等、国内外の道民会から役員が集い、当協会からは高尚弘会長、金光一副会長と宋暎民渉外部長が参加した。



初日は入校式を行ない、金泰煥道知事、金龍河議長、在外済州道民会総聯合会白明允会長の挨拶があり、その後歓迎会が開かれさまざまな分野にて活躍する方々と貴重な交わりの時間を持つことができた。

次の日「第47回耽羅文化祭」が10月3日から8日まで今回初めて西帰浦市の天池淵広場で開催された。開幕式に当協会からは役員郷土学校参加者と李成琥国際部長、邊彰満総務次長と故郷訪問事業参加者、玄奎全相談役、婦人会呉春花常任顧問、安次男青年部長と部員など総勢26名が参加し、大勢の観光客や道民が集まった中、盛大に行なわれた。

道知事は挨拶で、昨年の耽羅文化祭は台風で大きな被害を受けた後だったので、寂しい雰囲気の中、開催されたが、今年はミカン等が豊作で、皆様のおかげで大盛況に開催することができた、と述べた。

その後、道主催で西帰浦KALホテルにて、各在外道民会参加者と耽羅文化祭関係者が参加して、交流会を兼ねた晩餐会が開かれた。毎年秋に行なわれるこの耽羅文化祭には海外から大勢の観光客が楽しみに訪れているという。

## ■第4回関東・関西濟州道民協会役員懇親会

2008年10月4日に濟州ラマダプラザホテルにおいて、第4回関東・関西濟州道民協会役員懇親会が、金泰煥・康京仙道知事夫妻、金龍河・李芬熹道議会議長夫妻、康宅相濟州市長および河敏哲道議会議員をはじめ、関係機関招待客を含め総勢84名が参加し開催された。当協会からは呉賛益顧問をはじめ、鄭平普常任顧問、高尚弘会長、金光一副会長、李成琥国際部長、宋暎民渉外部長、邊彰満総務次長、呉春花婦人會常任顧問、金貞子会長の他、故郷訪問参加者2名と役員親族を含め20名が参加した。高尚弘会長の挨拶から、関西濟州道民協会高英寛会長の挨拶があり、道知事、市長の挨拶と続き、呉賛益顧問の乾杯があり、交流会が盛大にスタートした。当協会の役員も関西の新執行部の方と席を共にし、幹事協会の役員として積極的に交流に努めた。在日の濟州人が故郷で交流するこの大きな意義を肌で感じることができた。これを機に、また一歩進んだ交流が行なわれるよう努力していきたい。



## ■最後の故郷訪問事業実施



2008年10月3日から6日まで3泊4日の日程で、第12回故郷訪問事業が実施された。道が実施する在日濟州人のための福祉事業であるが、毎年参加者が減り、今回は東京からの2名だけとなった。時代の流れと同胞社会の構造の変化を考えると仕方のない現象なのかも知れない。

しかし、参加者が初めて自分の故郷の地を踏んだ時の表情からは、故郷に対する愛情の念を感じ取ることができた。道庁からのガイドの案内で龍頭岩、城山日出峰、柱状節理帯、万丈窟、サングムブリ、天帝淵の滝等の名所や自然博物館、平和博物館、城邑民俗村、翰林公園、大侑ランド、オールインハウス、パークサザンランド(大王四神記)等のテーマパークを観光した。

初日の夜、第47回耽羅文化祭を参観後、KALホテルにて行なわれた道庁主催の晩餐会に招待されたこと、4日には在日本関東濟州道民協会から「第4回関東・関西濟州道民協会役員懇親会」に招待されたことは参加者にとって良い思い出となった。4日間の訪問事業を通じ、濟州道の素晴らしさを体感した参加者たちは、道庁と当協会に感謝しながら故郷をあとにした。

## ■在外濟州道民会総聯合会臨時總會および新・旧会長離就任式



2008年度第1回臨時總會および新・旧会長離就任式が、2008年10月4日濟州KALホテルにおいて開かれた。總會では、2008年度事業計画、予算案の承認および規約の改正などの審議が行なわれ、各地域の参加者が積極的に意見交換し、より親密に連絡をとりあい、総聯合会の発展のために、いっそう努力していくことで一致した。その後、第8代顧問推戴が行なわれ、当協会呉賛益顧問が、全会一致で名誉会長に就任した。最後に、呉賛益旧会長から白明允新会長へ、総聯合会旗が手渡され、無事に式典が終了した。2年間総聯合会のさまざまな問題を解決し、物心両面にわたって総聯合会を支えて来られた呉賛益顧問に敬意を表したい。

## ■在京道民会役員合同親睦旅行会

今回は在日全羅北道民会が幹事として、2008年10月6日より8日までの日程で、高敞から全州を見学する2泊3日の旅となった。参加者は高敞郡庁に集合して、宿泊先である禅雲山道立公園に移動し、全羅北道内2大寺のひとつである禅雲寺を見学した。この寺は大韓仏教曹溪宗第24教区本寺で、大雄殿宝物5点、天然記念物3点、地方文化財11点からなる壮大な自然に囲まれた、重厚な趣を持った歴史を感じさせる寺であった。その後、宿舎にもどり、高敞郡守の招待で懇親会を催し、楽しいひと時を過ごした。

7日は、2000年に世界文化遺産に登録された高敞支石墓（コチャンドルメン）を見学した。高敞支石墓は、この地域を支配した青銅器時代の族長の家族墓であり、約5万坪の土地に500余りが発見されていて、その中には高さ5mを超える巨大なものもあると言われている。住宅地のすぐ近くに多くのドルメンが存在しておりほんとうに驚かされた。

その後、申在考の遺品とこの地方の名唱、パンソリの資料等、千余点を展示しているパンソリ博物館を見学し、高敞牟陽城祭に参加した。この高敞邑城は倭寇の侵入を防止するために平民らが有備無患の知恵で築城した自然石の城郭である。また、踏城ノリが伝えられている。小さな石をひとつ頭に載せて城を1度回れば足の病気が治り、2度回れば無病長寿、3度回れば極楽往生できるという伝説がある。祭りの中で、湖南（ホナン）地域の道および郡旗がそれぞれの代表により掲揚された。この日は、全郡を挙げて祝祭の気

分を盛り上げていて、非常に和気あいあいとした祭りであった。

次に、世界最大干拓地セマングムを視察した。セマングムという名前の由来は、萬頃平野の「萬」の字、金堤平野の「金」の字をとり、このふたつの平野が新しくなるという意味で、「セ(新)マン(萬)グム(金)」と命名したと言われている。地域の共有水面に防潮堤33kmを建設し、用水開発および土地資源を創出する事業だ。造成中の防潮堤をバスで一周したが、あまりに広大すぎて言葉で言い表せないほどだ。完成したセマングムをぜひ見たいと思った。

最後に全州に移動し、全羅北道庁を訪問し、副知事を交えて晚餐会を持ち、韓屋村にある築100年という歴史のある宿に泊まり、次の8日の朝解散した。

### ■箱根にて親睦旅行会開催

2008年11月16日～17日の両日、箱根湯の花温泉ホテルにおいて、恒例の親睦旅行会が理事、会員、婦人会役員総勢34名の参加により催された。

16日に現地で集合し、箱根随一の温泉を堪能した後、高尚弘会長の挨拶に始まり、金洪斤相談役の挨拶・乾杯で宴会に入った。和やかに杯を酌み交わしながら、懐石料理に舌鼓を打ち、ほろ酔いになったところで豪華賞品の抽選会を行ない、楽しく時を過ごした。二次会は呉賛益顧問の主催で会場を移動し、23名が参加してカラオケを熱唱した。

翌日は前日の曇りから一転、素晴らしい青空の下、済友会は隣接の湯の花ゴルフ場にてコンペ、その他の方は観光などを楽しみ、帰途についた。

### ■2009年度家族同伴新年会並びに成人式開催される



新年会並びに成人式が2009年1月31日に、上野精養軒で開かれ、430名余りが参加して行なわれた。式典には本国から金泰煥済州特別自治道知事夫妻をはじめ、金龍河済州特別自治道議会議長夫妻・金才允国会議員・梁成彦教育庁教育監夫妻、姜宅相済州市長・朴榮富西帰浦市長が出席し、在日本大使館からは金賢中総領事夫妻、民団からは鄭進中央本部団長をはじめとする多くの来賓が参席した。

役員が揃って新年の挨拶をした後、高尚弘会長は「去年はサブプライムローン問題などに端を発した100年に一度の金融経済危機が広がり、先進国はもとより、わが韓国の経済にも深刻な影響を及ぼしております。わが済州

道も数々の困難に直面していると聞いております。道知事の卓越したリーダーシップのもとに、100万済州人が一つになり、総力を結集し、この逆境を乗り越えることと信じます。当協会の運営においても、安定した財政基盤に驕ることなく、役員一同気を引き締めてまいります」と力強く述べた。

金済州道知事からは昨年度の580万人の観光客誘致、3兆8千億ウォンの投資誘致、ASEAN首脳会議誘致の成功報告の後、「道政のテーマを『済州、再創造の年』と決め、済州の資源と価値を世界的なものに創っていきます。世界自然遺産等の観光資源やそれらによって高まった価値を基に、『投資誘致20億ドル』『観光客600万人』に挑戦します」と済州道の指針について述べた。その後、来賓祝辞、来賓紹介が行なわれた。表彰に移り、金泰煥道知事より呉賛益顧問に功労賞が授与され、婦人会からは道知事夫人・議長夫人・教育監夫人へプレゼント贈呈がされた。

成人式では、新成人10名に対し、高会長をはじめ多くの来賓から記念品が渡され、成人を代表して、康暉瓊君が答辞を述べ、1部の式典が終了した。

鄭平普常任顧問の乾杯音頭により2部の懇親会が始まり、余興としてNAGISAさんの馬頭琴演奏、続いて尹恵英嬢のミニコンサートが開かれ、素晴らしい音楽を堪能した。その後は歓談にはいり、恒例の抽選会やビンゴゲームが青年部の担当のもと楽しく興じ、和やかな雰囲気の中で閉宴となった。

## ■韓国女子プロゴルファーを激励する集い

2009年3月9日、東京上野のホテルパークサイドにて、韓国女子プロゴルフ選手を激励する集いが開催された。日本で活躍する韓国人女子プロゴルフ選手たちは、日本の文化や言葉の違い、また日本LPGAの規約等を理解するための翻訳などの面で困難が多い。そういう選手たちが安定した環境で競技に専念できるよう支援していくのが目的だ。

当日は、韓明賢韓国女子プロゴルフ協会副会長や高又順、辛炫周、全美貞選手ら9名が参加し、李衍沢大韓体育会名誉会長、森英介法相、中井治衆議院議員、横峯良郎参議院議員、横峯さくら選手ら各氏が応援に駆けつけ、総勢150名ほどで会場は熱気に包まれた。

これだけの選手が一同に会する集いは初めてで、ふだんはライバル同士の選手たちも和気あいあいとした雰囲気の中、参加者らの応援する気持ちを直接肌で感じたようで、終始笑顔で記念撮影に応じ、会場には和やかな雰囲気の中で一体感があふれていた。

当日参加できなかったが、済州道出身の宋ボベ、羅多芸選手からもメッセージが送られた。日本で活躍する選手たちが、がんばって試合で良い結果を出せるよう応援していきたい。

### 組 織

#### ■第49期役員

顧問：玄棋洙 高琿鉉 高昌運 高章守 李時香 夫昇培 金和男  
 李淳元 李徳雄 金英秀 呉賛益

常任顧問：鄭平普

相談役：韓在龍 張潤鍾 玄奎全 梁直基 金洪斤 呉益鐘 黄昌柱  
 李 権 韓在銀 高富仁 金秀吉 白一善 呉敬進 玄祥琮  
 金修一 夫奉秋 康大熙

会長：高尚弘

副会長：金光一 李大浩 金昌世 金成日 慎龍九

副会長兼財務部長：宋信彦 副会長兼事業部長：金正憲

総務部長：呉仁敦 宣伝部長：金洪汶 国際部長：李成琥

組織部長：李俊行 渉外部長：宋暎民 総務次長：邊彰満

青年部長：安次男

監 査：姜丞宝 李富博

#### ■協会ニュース発行

第29号 2008年12月19日

第30号 2009年5月29日



第29号



第30号

### 定 期 総 会

#### ■第49回定期総会開催

第49期定期総会が、2009年6月20日、ホテルパークサイドにおいて、理事、会員、婦人会役員、青年部役員59名の参加の上開催された。高尚弘会長によ



る開会宣言の後、2008年度事業報告および決算報告が承認され、新年度の事業計画および予算案を執行部の原案通り可決した。

また青年部の2008年度事業報告および会計報告、新年度活動案および予算案も承認された。その後、役員改選に移り、第27代会長に高尚弘会長が再任された。高会長は、「来期は創立50周年を迎えるにあたり、先輩方が築き上げた歴史と伝統を汚すことなく、一步一步進んで

行きたい。また、継続審議になっている規約を時代に即したものに改正したい。(株)済京の支援のもと、磐石になっている財政に対して、透明性を深め、無駄のない協会運営を行ないたい。私に課せられた仕事は、世代間の架け橋になり、協会の発展に尽力して行きたい」と力強く抱負を述べ、総会を無事終了した。

## ■(株)済京第7期定時株主総会開催

在日本関東済州道民協会の分身ともいえる(株)済京の第7回定時株主総会が、2009年5月23日、文京区湯島所在本社会議室にて株主総数32名が出席し開催された。高尚弘道民協会会長の進行のもと、呉賛益代表取締役が定款の規定により議長席につき開会された。

議案審議のなかで第7期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）決算の事業報告及び計算書類承認の件について呉賛益代表取締役が概況説明を行ない満場一致で承認された。

また取締役全員の任期が本会終了後の時をもって満了となり、現取締役である呉賛益、李時香、高富仁、金洪斤、李徳雄、金和男、金光一の7名の重任が満場一致で承認された。

## ■青年部

### ●済州島へ行って参りました！

青年部は、2度の親睦旅行を行なった。特に10月の済州島旅行では、ユネスコ世界自然遺産の観光、耽羅文化際へ参加、さらに関西済州道民協会青年会及び連合会との交流会に参加と、本当に貴重な経験をすることができた。

#### ☆活動内容☆

- 2008年 1月 協会主催家族同伴新年会・成人式へ参加 上野 ～10名参加
- 2月 親睦旅行 富士急ハイランド・山中湖にて1泊 ～11名参加

4月	花見交流会	上野公園	～18名参加
5月	ボウリング大会	浅草	～11名参加
7月	懇親パーティー	六本木	～36名参加
10月	济州島親睦旅行	济州島2泊	～9名参加
12月	クリスマスパーティー・忘年会	銀座	～27名参加
2009年1月	協会主催家族同伴新年会・成人式へ参加	上野	～11名参加
4月	花見・運動会・親睦旅行	北茨城1泊	～7名参加
※その他、毎月、月例会議および懇親会を開催			協会事務所
			～10名前後

## ■ 済友会

### ● ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第113回	2008年6月4日	茨城やさ国際ゴルフ倶楽部	鄭賢淑
第114回	2008年9月10日	阿見ゴルフクラブ	朴時男
第115回	2008年11月17日	箱根湯の花ゴルフ場	金光一
第116回	2009年3月24日	阿見ゴルフクラブ	鄭成男

## 在日济州婦人会

### ■ 蓼科・山中湖の旅行を振り返って

婦人会では年1度海外旅行が通例であったが、今年は諸事情により2008年9月21日から2泊3日の国内旅行を実施した。

初日に訪れたイングリッシュガーデンでは花のコントラストの素晴らしさに参加者一人ひとりが感動するほどの庭園だった。ロープウェーで上がった



山の頂上では清々しい風が幸せを感じさせてくれ、車窓から見る風景にも心が和んだ。夜の宴会では食事も美味しく、カラオケや踊りで楽しく過ごした。

次の日の山中湖で訪ねたオルゴール館では、有名なタイタニック号に乗せるはずだったパイプオルガンの納品が間に合わず、載せられなかったそのオルガンの自動演奏を聴くことができた。人形たちの愛らしい演奏に心が癒され、とても感動した。

## ■第12回定期総会・送年会



婦人会「第12回定期総会および送年会」が11月30日に、上野ホテルパークサイドで多くの会員並びに役員、そして道民協会の来賓を迎えて行なわれた。総会に先立ち、9月に亡くなられた韓道淑常任顧問のご冥福を祈り、参加者全員で黙祷をささげ、その存在の大きさを改めて痛感した。

金貞子会長は、「私はこの1年間を振り返って思うとき、会員の皆様の温かい心に触れたことに感謝を申し上げます。また、在日本関東済州道民協会並びに(株)済京からのご協力にお礼を申し上げます」と感謝の言葉を述べた。

総会が無事に終わり、宴会では会員たちが場を盛り上げ、会員同士の親睦が深められ、歌や踊りに笑顔がこぼれていた。

## ■韓道淑常任顧問を偲ぶ



韓道淑常任顧問が2008年9月21日、75歳で人生の幕を下ろした。在日韓国婦人会中央本部の顧問として、若い世代の手本となり、後輩の育成に尽力された。特に、当道民協会においては、婦人会の発足に力を注ぎ、初代会長として、1997年創立時より2003年11月まで、6年間という長きに亘り、会長としてリーダーシップと会員に対する気配り心配りを常に発揮する等、在日婦人会組織の発展に多大なる貢献をされた。在日済州婦人会では韓常任顧問の遺志を継ぎ、さらに会を発展させることを心に誓いあった。すべての会員から、よき指導者であり、姉であり、友として尊敬されていたことから、彼女は永遠のスターであり、最高の人生のお手本であり、見習っていきたい存在として慕われている。

## ■勇気と感動を与えてくれた宝塚歌劇公演

2009年4月16日、宝塚歌劇星組公演「マイディアニューオリンズ—愛するわが街」を観劇、33名の参加があった。この公演は、在日2世である主役の安蘭けいの引退公演ということで観劇するきっかけになった。

安蘭けい演じるジョイは白人と黒人の混血青年。ニューオリンズの貧民街で生まれ育ち、社会から差別を受けながらも街にあふれる音楽がジョイの生

きがいであり、ジョイにとって歌うことが生きる証しであった。彼は大成功を遂げ、また生まれ育った街へ戻り運命の女性ルルとの出逢いと別れそしてまた、再会する。ひとコマひとコマの美しい歌声が胸に響き、同じ在日であるからこそ大きな感動と歴史を感じさせられた。

私たち也在日も過去この主人公のように日本社会の中で偏見と差別を受けながらも、たくましく生き抜き、今日に至っている。

在日で負けることなく努力を積み重ね、星組のトップスターになった安蘭けいさんに「勇気と感動をありがとう」と伝えたい。安蘭けいの名前は苗字が安さんで、蘭はアリランの歌から取ったとも聞く。

## 会員ニュース

### ■呉賛益顧問に第16回済州商工大賞受賞と済州道文化賞授与



2008年10月29日、済州商工会議所の商工大賞に5名が選定され、呉賛益顧問に「特別大賞－最優秀海外企業人賞」が授賞された。この賞は済州が不況時に地域経済活性化に貢献した有功商工人を称える名誉ある賞である。

また、呉賛益顧問は、2008年済州道文化賞の海外同胞部門受賞の栄誉に輝いた。12月23日済州道文芸会館にて開かれた授賞式で、金泰煥済州道知事より授与された。この賞は、済州道民社会の発展に貢献した人に贈られる済州道最高権威の賞であり1982年に制定され、在日韓国人受賞者は1999年まで地域社会部門として、2000年から海外同胞部門として授賞している。

呉賛益顧問は、西帰浦市表善面表善里を故郷に、日本で生まれ育った在日同胞2世として、東京で(株)美浜の代表取締役社長として活躍している。同顧問は2003年6月、本会第24代会長に就任し、永年念願だった協会会館（K・S・Kビル）と事務所（田中ビル2階）を購入する際大いに貢献した。2006年6月には「東京韓国商工会議所」会長に選出され、同年7月には60万在外済州道民の求心体である「在外済州道民会総联合会」に在外同胞としては初めて会長に選出され、済州人の地位を高めるなど同胞社会のリーダーとして権

益伸張と発展に多大に貢献している。

また濟州道が2007年台風ナリで大きく被害を受けた際、復興見舞金2千万ウォンを寄託し、濟州特別自治道投資誘致諮問官に委嘱され、郷土濟州発展のために物心両面にわたって支援するなどの功労が認められ、2007年外交通商長官賞の他、各機関・団体から多くの感謝状を授与された。



## 人物交流

### ○ 2008年

11月28日 濟州道海外同胞用役事務所梁東鎮所長の案内で濟州大学 高祺澤発展基金本部長、姜テヨン管理課長が来訪し、高尚弘会長と談話。

12月19日 濟州市老人会より20名が来訪し、高尚弘会長、李大浩副会長、呉仁敦総務部長と談話。

### ○ 2009年

1月30日 濟州道から金泰煥道知事外6名を金光一副会長、李成琬国際部長、宋暎民渉外部部長が成田空港まで出迎え。浅草ビューホテルで、高尚弘会長、鄭平普常任顧問と合流し、農林水産省まで案内。

1月31日 濟州道とソウルから金龍河道議会議長夫妻外24名を宋信彦・慎龍九両副会長、宋暎民渉外部部長、邊彰滿総務次長が成田空港まで出迎え、式場まで案内。又、金賢中総領事ご夫妻を宋暎民渉外部部長が領事館から式場まで案内。

3月9日 金昌世副会長の案内で濟州市から荒川区役所へ派遣された姜漢鍾地方施設事務官が来訪し、定例常任役員会で紹介された。

3月23日 漢拏日報ソウル支社政治部 金チフン次長、濟民日報他、新聞社2社の記者が来訪し、当協会鄭平普常任顧問、高尚弘会長、金光一・李大浩・金成日・慎龍九副会長と談話。

5月18日 民団台東支部 夫奉秋団長、在日韓国人貴金属協会 趙成安会長が来訪し、高尚弘会長と談話。

5月20日 (財)金萬徳事業説明で梁元賛医学博士、女優 高斗心氏外3名、あすか信用組合 李永植理事長が呉賛益顧問の案内で来訪し、高尚弘会長、金光一・李大浩・金昌世・慎龍九・宋信彦副会長、宋暎民渉外部部長、邊彰滿総務次長、婦人会より呉春花常任顧問、金貞子会長、金孝淑監査、朴恵子総務部長と懇談。

## 濟州道通信

### ● 濟州道は今OLLEで熱い？

オルレ (olle) とは、濟州語で“道から門までの、家に通じる細くて狭い横道”を意味する。古語では、「オレ」は「門」を意味する純ウリマルで、オレが濟州で「オルレ」になったと考えられている。また「濟州オルレ」は発音上「濟州に来る？」という意味も含んでいるという。

濟州のオルレは2007年9月、1コースを開場以来、2008年12月まで12コースを開いた。2008年末まで濟州のオルレを訪れた人は3万名を超える。

韓国内外からも関心呼び、各種イベントが開かれている中、西歸浦市によると5月はじめアメリカ、カナダよりトレッキング連盟会員25名が「濟州オルレ」の探訪を目的に訪れ、2カ所のオルレコースでトレッキングを体験した。参加者らは「濟州オルレのすばらしい景色と周辺の自然環境に心の底から感動を覚えた」「世界的トレッキングコースとしてもひけを取らない」と口を揃えたという。西歸浦市でも人気に応えるよう濟州オルレを新しい観光トレンドに合わせた斬新なアイテムとして開発し、停滞している濟州観光の資源を引き出せるよう行政力を注ぐ方針だ。

### ● 「在外濟州人」発刊



在外濟州特別自治道民会總聯合会が故郷濟州發展のために行なって来た多様な活動を盛り込んだ「在外濟州人」写真集が発刊された。同聯合会は吳賛益会長体制で2006年7月1日から2008年7月30日までの2年間、60万在外濟州人たちの求心的役割を果たして来た。

今回の写真集には、總聯合会の定期・臨時總會、ニュー濟州運動展開などの2年間の活動状況と、在外道民たちの道民体育大会参加や夏季郷土学校、在外道民会役員郷土学校の行事などが収録され、特に世界自然遺産紹介から韓流ドラマ、濟州の祭などが盛り込まれており、濟州を広報する資料としても活用価値が高い。



## キムヨナ、金メダルに輝く



「国民の妹」「フィギュアの妖精」と呼ばれたキムヨナ（金妍児）は、2010年2月、バンクーバーオリンピックのフィギュアスケート、女子シングルで金メダルを獲得した。

「音楽のリズムが彼女の身体から流れてくる律動です」。キムヨナの最大のライバル浅田真央の演技を高く評価しながら、キム選手を絶賛した日本人の解説がもうひとつの感動を与えた。

世界のレベルから見ると、韓国のフィギュアスケートは、不毛の地と言われても過言ではなかった。キムヨナ選手はこれを乗り越えて、2009年世界選手権優勝、2009年四大陸選手権優勝、ISUグランプリファイナル優勝3回と、冬季オリンピックの花であるフィギュアスケートでその言葉通りパーフェクトな演技をし、女子史上初めて228.56点という高得点を獲得して優勝した。

2010年4月のタイム誌オンライン投票「世界で最も影響力のある100人」のヒーロー部門で2位に選ばれた。また韓国日報と読売新聞が2010年4月に発表した韓日共同世論調査によると、日本人が親しみを感じる韓国人の1位に選ばれ、50%が親しみを感じると回答した。2010年7月には、国連児童基金（ユニセフ）より親善大使に任命された。同年8月には、在米同胞が多いロサンゼルス市議会は、8月7日を「キムヨナの日」と定めた。

1990年京畿道富川市で生まれたキム選手のように、バンクーバーオリンピック大会では、G20世代の活躍で、金6、銀6、銅2、合計14個で総合順位5位というすばらしい成果を挙げた。G20世代とは、1988年ソウルオリンピックを前後して生まれた世代を意味し、グローバルのGを表わしている。

2009年9月30日、インドネシア、スマトラ島沖で地震が発生、約1100人が死亡した。2010年1月13日ハイチ共和国で地震が発生、約22万人が死亡した。

2010年3月26日、韓半島西方黄海上の北方限界線付近で天安艦が北韓の攻撃により沈没し、乗組員104人中40人が死亡、6人が行方不明になった。

## 第27代会長に高尚弘氏再任

第49回総会において、第27代会長に高尚弘会長の続投が決まった。2010年に創立50周年を控え、内外におけるさまざまな計画に対して、経験豊富な高会長に協会運営の舵取りを託した。



高尚弘 第27代会長

### 会長就任によせて

私は、この度第49回定期総会での承認を得まして引き続き第27代会長に就任致しました。当協会運営にあたりましての抱負を述べさせていただきます。来期は当協会も50周年を迎えることになりました。この間、多くの諸先輩の方々が筆舌に尽くせぬ苦労を重ねながら、遠く離れて、故郷濟州道の発展を思い、さまざまな開発事業に多大な貢献が成された事は、広く知られております。

この先輩方が築き上げた歴史と伝統を汚すことなく、一步一步進んで行きたいと思っております。また、継続審議になっております規約をいろんな角度から検討して、今の時代に即したものに、改正したいと思っております。株式会社濟京の多大なる支援のもと、磐石になっている財政に対して、透明性を深め、無駄のない協会運営を行ってまいります。

私に課せられた仕事は、青年部の活動に理解を示し、若い人たちへの架け橋になることだと思っております。最後に、微力ではありますが、濟州人の親睦団体であることを念頭におき、新執行部の力を借りて、誠心誠意協会の運営にあたる覚悟であります。

## 主 要 行 事

### ■初めての在日同胞子女高校生招待濟州文化体験事業



濟州特別自治道教育庁が主催する「第1回在日同胞子女高校生招待濟州文化体験事業」が2009年7月31日より8月3日までの4日間にわたり開催された。濟州道を故郷とする関東・関西の高校生13人が参加し、さまざまな体験をした。初日から国際教育情報院の素晴らしい施設を見学し、夜には濟州特別自治道梁成彦教育監参席のもと、歓迎晩餐会が開かれた。初日はオリエンタルホテルに宿泊し、2日目からはホームステイ家庭へ移動し、濟州の文化を体験した。ホームス

## 文化体験事業に参加して — 呉 恵 実

私は今回、韓国に行くこと自体が初めてのことであったので、全体を通して、ほんとうによい経験をさせてもらったと思います。例えば国際教育情報学院や科学高校見学などは、個人的に済州島に行っても絶対に見ることはできないと思います。特に科学高校見学は現地の高校生のトップレベルの教育というものを見ることができて、とても勉強になりました。

他にも済州島の様々な地に足を運ぶことができて、3泊4日、とても充実した毎日過ごすことができました。しかしながら、若干予定がつまり過ぎていて、この日程表通りにやっていたら、あまり買い物の時間がなくて、思うようなお土産を買えなかったと思うので、3日目の予定変更はとてもよかったと思います。

ホームステイについては、私のお世話になったイ・ユジさんの家庭では、本当によくしていただいて、ハンゲルが全くわからない状態の私に、英語や日本語でコミュニケーションをとっていただいたので、意思の疎通ができずに困ったことはありませんでした。そして、これをきっかけにハンゲルをもっと勉強しようと思い、次に韓国に行くときにはハンゲルが話せるようにしたいと思いました。何よりも韓国で新しいたくさんの方と会えることができ、本当に楽しかったです。

そして最後に、このような機会を設けてくださり、本当に感謝しています。今までは自分が韓国人とわかっていながらも、あまり韓国のことに興味がなかったのですが、実際様々な文化に触れて、多くのことを学べて本当によかったと思います。是非、このようなよい企画はこれからも続けていくべきであると心から思います。本当に、ありがとうございました。



テイ先の済州道の学生たちは、学生外交官として選抜された道内でも優秀な学生たちで、双方の学生たちは言葉や文化の違いを肌で感じながらも生活を共にすることによって、親睦を深めていった。

山房山、サングムブリ等の自然と科学高校や地元の納邑小学校等、多くの教育施設を見学した。なかでも耽羅教育院では民族衣装に着替えたり、弓矢・民族楽器等の体験をしたり楽しいひと時を過ごした。教育院院長との懇談会も開かれ、済州道の歴史にふれるなどすばらしい体験となった。帰りの空港で学生たちは涙を流しながら別れを惜しみ、再会を誓った。子供たちの民族意識が薄れていくなか、ぜひ継続すべき事業であると思った。

## ■第23回夏季郷土学校開催

在外の大学生たちが済州道に集まり開催される夏季郷土学校が23回目を迎えた。例年どおり、人力開発院において、8月3日から7日まで5日間の日

程で、開催された。今年は天候に恵まれず、予定をしていた日程を全部こなすことができなかった。特に、世界自然遺産に登録されたコムンオルムのトレッキングも中止となり、参加者たちは非常に残念な思いをした。しかし、世界の各地域から集まった学生たちの相互交流は十分に行なわれ、また、済州道の自然の美しさ、文化、歴史などを学ぶことにより、故郷を身近に感じることができたのではないだろうか。この経験を生かして、活躍することを期待している。



今回は第27代執行部の中で、高尚弘会長と金成日・宋信彦・李大浩各副会長、金璟玉事業部長は道庁をはじめ各機関を表敬訪問し、挨拶回りを行なった。

## ■第8回在外道民会役員郷土学校・第48回耽羅文化祭開幕式参観



1泊2日の忙しい日程の中で2009年9月10日、済州商工会議所で在外済州道民会総联合会定期総会が開催され、当協会からは呉賛益常任顧問、高尚弘会長、高隆博副会長、邊彰満総務部長と宋暎民渉外部長が参加した。

その後、済州特別自治道人力開発院で「第8回在外道民会役員郷土学校」入校式が行なわれ、特別自治道の推進成果および道政重要施策説明があった。その後、「第48回耽羅文化祭開幕式」参観のため塔洞へ移動した。

金泰煥道知事は、「今年は新型インフルエンザの影響で観光客や道民が集まる行事を行なうのが気になっていましたが、その心配を晴らすかのようにたくさん参加していただき感謝します。今年もミカンを始め農業が豊作でうれしい事など毎年、皆様のお陰で大盛況に開催することが出来ました」と挨拶をした。その後、道主催でオリエンタルホテルにて歓迎会並びに交流会



が行なわれ、いろいろな分野にて活躍する方たちと貴重な交わりの時間を持つことできた。

2日目には、人力開発院へ移動して朝食後、世界自然遺産拒文岳（コムンオルム）を探訪し、さすが神様が与えてくださった私たちの美しい故郷だと思った。毎年秋には耽羅文化祭にあわせ、世界自然遺産などの観光のため海外からも大勢の観光客が楽しみに訪れている。

### ■箱根・湯本温泉にて親睦旅行会



2009年11月15日～16日、湯本富士屋ホテルにて理事・会員、婦人会役員、青年部役員総勢27名の参加により協会親睦旅行が開催された。

参加者全員の記念写真を撮り、邊彰満総務部長の司会のもと高尚弘会長の挨拶があり、26代会長に引き継ぎ第27代会長の職を担うことになった旨の報告と第49回定期総会以降の事業経過報告があり、その中で今年から新たに「第1回在日同胞子女高校生招待・済州文化体験事業」の行事があり、ぜひ毎年定着させて行きたいとの報告があった。

引き続き、鄭平普顧問の乾杯の挨拶の中で、当協会の世代交代が非常にスムーズに行なわれているとの感想をいただき、乾杯の発声後に宴会が始まった。なごやかな雰囲気の中、ホテル自慢の料理に舌鼓を打ち、酒を酌み交わしながら歓談も弾んだ。豪華商品の抽選会が行なわれいっそうの盛り上がりを見せた。

2次会にはカラオケ会場に場を移し、自慢ののどを聞かせる楽しいひとときであった。

### ■2010年度家族同伴新年会並びに成人式

家族同伴新年会並びに成人式が、2010年1月23日に上野精養軒で開かれ、400人余りが参加して行なわれた。式典には済州道から金泰煥道知事夫妻、金龍河道議会議長夫妻、梁成彦教育監、金宇南国会議員、姜宅相濟州市長、朴榮富西帰浦市長、玄丞倬濟州商工会議所会長夫妻をはじめ、総勢64名にのぼる各機関



の方々が済州道より出席した。また、日本国内からも、民団中央本部許孟道副団長をはじめ、各機関から多くの来賓が参席した。

役員が揃って新年の挨拶をした後、高会長は挨拶の中で、「多くの先輩方が、苦勞を重ねながら、故郷済州道の発展を思い、開発事業などに多大な貢献をされた事を胸に刻み込み、愛郷心をこれからの若い世代に伝えていくことが責務である。また協会の運営においても、安定した財政基盤に驕ることなく役員力を合わせて、頑張ります」と強調した。

金済州道知事からは特別自治道が進んできた4年間を総括し、成功した事例や今後の課題を話した後、現在開発が進んでいる英語教育都市、ヘルスケアタウン等を柱に、済州道の資源と価値を世界的な水準まで持っていきたいと力強い挨拶があった。

式順にならい、来賓祝辞、来賓紹介が行なわれた。道旗の贈呈に移り、金泰煥道知事より高尚弘会長へ、新しく作られた済州特別自治道の旗が贈呈された。また、婦人会からは道知事・議長・済州商工会議所会長各夫人へプレゼントを贈呈した。

成人式では、5人の新成人に対し、高会長をはじめ、多くの来賓から記念品の贈呈があり、最後に、新成人を代表して、高承希さんが答辞を述べた。李大浩副会長の閉会の挨拶で第1部の式典が終了した。呉賛益常任顧問の乾杯の音頭により、2部の懇親会が始まり、しばらく歓談の後、尹恵英さんによる韓国の民謡を含めた素晴らしい歌が披露された。その後、青年部の担当による恒例のビンゴゲームと抽選会が行なわれ、閉会となった。

### ■在外済州道民会総聯合会定期総会開催

2009年9月10日、済州商工会議所にて、在外済州道民会総聯合会定期総会が開催された。参席任員の紹介、表彰に続き白明允会長の挨拶、呉賛益名誉会長の挨拶があり、経過・監査報告が行なわれた。その後議題の案件に移り、2008年度決算報告、2009年度事業計画並びに予算案が審議され、両案とも異議はなく承認され、また新規会員として上海、南米の加入が承認され閉会となった。

協会からは呉賛益常任顧問の他に高尚弘会長、邊彰満総務部長、宋暎民渉外部長と高隆博副会長が出席した。



## ■第1回グローバル濟州商工人大会



グローバル濟州商工人大会が2009年11月27日より29日の日程で、中文にあるロッテホテルにて開催された。

初日は、濟州特別自治道開発公社主催のカクテルパーティー・歓迎レセプションが、日本語同時通訳を交じえて、在外商工人、組織委員会会長団など約300名が参加して、クリスタルルームにおいて開催された。

初めに、西帰浦YWCA少年少女合唱団による祝賀公演が行なわれた。その後、玄丞倬大会長の歓迎の辞があり、また、高桂秋開発公社社長より晩餐の辞があり、また、主要来賓による乾杯の辞へと進み、歓談および相互交流をはかりながら初日を終えた。

2日目は、第17回濟州商工大賞部門別表彰式が行なわれ、当協会から、李時香顧問が、濟州商工大賞の特別大賞最優秀海外企業人賞を受賞された。

基調講演は、最初に、田允喆元経済副総理の「世界化の進行過程とわが経済の課題」と、次に、慎鏞廈ソウル大学名誉教授の「耽羅人精神の特徴と濟州経済商工人の役割」という演目で、素晴らしい講演がされた。

昼食後、濟州道の名を高めた名士によるスピーチが行なわれた。特に金榮寛元濟州道知事は、朴政権下において、濟州開発協会が濟州道発展のために、多大な協力をされ、故郷にたいする「愛郷心」持って生活をしていることに感銘を受けたという話が特に印象的であった。

引続き、歓迎晩餐会が、濟州特別自治道立舞踊団による華やかな踊りが披露されスタートした。初めに、金泰煥道知事の挨拶があり、開催の意義を強調し今後ともこの大会が濟州発展のために寄与することを願うという挨拶があった。次に、玄丞倬会長の挨拶があり、商工人のネットワークを構築して、我々が濟州のパワーになろうという言葉が印象的であった。

最後に、孫京植大韓商工会議所会長の挨拶があり、商工人が頑張り、可能性を秘めている特別自治道をフルに活用して、発展に寄与してほしいと述べた。主要来賓による乾杯が行なわれ、晩餐会を有意義なうちに終了した。

最終日は、ゴルフとトレッキング観光に分かれ、それぞれが楽しいひと時を過ごした。当協会からは、李時香顧問、呉賛益常任顧問、金洪斤・金光一・白一善・金修一・慎龍九・夫奉秋各相談役他、総勢24名が参加した。

## 組 織

### ■第50期役員

顧問：玄栴洙 高琿鉉 高昌運 高章守 李時香 夫昇培 金和男  
 李淳元 李徳雄 金英秀 鄭平普

常任顧問：呉賛益

相談役：韓在龍 張潤鍾 玄奎全 梁直基 金洪斤 呉益鐘 黄昌柱  
 李 権 韓在銀 高富仁 金秀吉 白一善 呉敬進 金修一  
 夫奉秋 康大熙 金光一 金昌世 慎龍九 李富博 金用實  
 李成琥

会 長：高尚弘

副 会 長：金成日 呉典秀 高隆博

副会長兼財務部長：宋信彦 副会長兼組織部長：李大浩

総務部長：邊彰満 事業部長：金璟玉 宣伝部長：朴時男

国際部長：姜栄真 渉外部長：宋暎民 総務次長：安次男

青年部長：朴永鎮

監 査：姜丞宝 金洪汶



第31号



第32号

### ■協会ニュース発行

第31号 2009年12月18日

第32号 2010年5月28日

## 定 期 総 会

### ■第50回定期総会

第50回定期総会は、2010年6月19日、上野ホテルパークサイドにおいて、盛大に開催された。当日理事、会員、婦人会役員、青年部55名が出席した。高尚弘会長のあいさつから始まり、総会開会宣言後、2009年度事業報告および決算報告が承認され、2010年度事業計画案および予算案も執行部原案どお



り可決された。なお高会長より「来年2011年は、当協会創立50周年の記念すべき年であり、記念事業として、①創立50周年記念式典開催、②50周年記念誌発刊に向け、執行部一丸となり、事業を推進してまいりたい」と力強くあいさつがあった。引き続き懇親会が行なわれ、美味しい料理を堪能しながら話に花が咲き、楽しいひとときを過ごし、無事総会を終えることができた。

## ■(株) 済京第8期定時株主総会

(株)済京の第8回定時株主総会が2010年5月22日、本社会議室にて高尚弘道民協会会長の進行のもと呉賛益代表取締役が定款の規定により議長席につき開会した。

株主総数33名の出席があり、議案審議のなかで第8期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）決算の事業報告および計算書類承認の件について、呉賛益代表取締役は概況説明を行なった。

## ■青年部

### ●活動報告

現在、青年部は毎月1回の定例会と定期的な行事を企画・運営している。主な目的は、済州道出身の在日同胞の交流、歴史や文化の体験、在日社会への貢献などである。

現在、部員は学生から社会人まで20代から30代半ばの約30名が中心に活動しており、毎月の定例会には10名～15名くらいが参加し、事業やイベントの立案、企画などを行ない、定例会後には自由参加の懇親会を開き、お互いの理解を深めることに努めている。

今では道民会青年部のメンバー同士で、旅行に行ったり、グルメ会なるものを作り、美味しいものの食べ歩きやゴルフなどを行っている。青年部の大きな役割として、人との出会いの場だと確信している。特に、済州道にゆかりのある若い世代が、青年部を通して、さまざまな経験をしてもらえればと思っている。

#### ☆ 2009年度活動内容 ☆

7月	新入部員&新役員歓迎会	参加者 25名
8月	在日歴史資料館訪問	10名
9月	在日同胞交流バーベキュー	14名

10月	濟州料理教室	13名
12月	忘年会&クリスマスパーティー	30名
1月	新年会	15名
3月	花見 ～上野公園～	20名
6月	総会開催予定	
*その他、毎月定例会を開催		

## ■ 濟友会

### ● ゴルフコンペ

回数	日時	場所	優勝者
第117回	2009年6月23日	宍戸ヒルズカントリークラブ	金聖宗
第118回	2009年9月29日	阿見ゴルフクラブ	呉典秀
第119回	2009年11月16日	仙石ゴルフコース	金璟玉
第120回	2010年4月13日	宍戸ヒルズカントリークラブ	鄭成男



## 在日濟州婦人会

### ■ ソウル3泊4日の旅行を振返って

婦人会では、韓国から女優の高斗心氏より金萬徳ハルモニの行事があるので参加して欲しいと呼びかけがあった。「義女金萬徳」について調べてみると、「朝鮮時代濟州島が大凶作で人々が飢えに苦しむ時、全財産を投げ出し島民たちを救った尊敬する女性の一人」だということを知った。「金萬徳ナムム米萬俵積み運動」行事に参加したい旨を提案し、役員全員の賛成を得て実現する事ができた。28名の参加者は2009年10月16～19日の日程でソウルへ出発した。

初日から天気にも恵まれ会員同士楽しい話で、皆ニコニコと笑顔で、仁川空



港に着き、現地ガイドの案内で京畿道一山での「社団法人金萬徳記念事業会」高斗心共同代表主催の晩餐会会場へ移動した。総勢60余名が参加した中、参加者たちは美味しい韓定食に、高斗心氏と写真を撮ったりとその満足げな様子に胸をなでおろした。

呉賛益常任顧問からの賛助を頂いたお蔭で「金萬徳ナムム米萬俵積み運動」行事に300万ウォンを寄付する事ができた。

次の日も呉常任顧問の配慮でふだんは行くことのできない青瓦台を訪問し、散策や青瓦台をバックに写真を撮りプレゼントされたことは一生の思い出に残ることだろう。

午後5時より「金萬徳ナムム米萬俵積み運動」行事がソウル光化門広場で開催された。広場には市民はもちろんのこと、学生たちも寄付するために長蛇の列を作っている光景には驚いた。



私たちが、この記念すべきソウルで初めての開催に参加できたことに感動し、物心両面でご尽力を下さった呉賛益常任顧問に心から感謝した。

## ■第13回定期総会・送年会

2009年12月6日第13回定期総会・送年会が、上野のホテル・パークサイドにて会員と道民協会役員合わせ40名が参加し、無事に開催された。1年はあっという間に過ぎ、春の文化活動に、秋の旅行などの行事があったが、在日本関東済州道民協会と会員皆様の協力を得て、無事に年間行事を終えることができた。

総会では2008年度活動・決算報告に新年度予算案・活動予定案が採決された。第6代金貞子会長が2年間の会長職を無事に終えることができた。ご苦労様の気持ちを込め(株)済京と道民協会、婦人会から記念品と花束が贈呈された。その後、役員改選では、第7代会長に左玉花氏が選出された。他の役員は後日報告することになった。

引き続き送年会では、あいにく民団足立支部婦人会行事と日程が重なりいつもより参加人数は少なかったものの、時間が経つにつれ、雰囲気は盛り上



がり和やかで楽しいひとときを過ごした。「来年も元気に会いましょう」「もっと会を盛りあげましょう」と、会員皆で約束を交わしながら会場を後にした。

婦人会の年会費が、今までの年間24,000円から年間12,000円に変更になった。

## ■第7代役員

常任顧問：呉春花・金貞子

顧問：朴潤閔・夫順末

相談役：康仁順

会長：左玉花

副会長：金孝淑・金夏子・金久美子

総務部長：朴恵子

総務次長：金善子

財務部長：趙年子

財務次長：玄淑英

文化部長：玄英子

文化次長：李仁秀

監査：康景淑・金順愛



## ■春の日帰りバス旅行

婦人会では2010年5月19日、文化活動の一環として春の花ネモフィラ、大ネタ寿司の日帰りバス旅行を実施した。当日は、38名の参加があり楽しいひとときを過ごすことができた。集合時間前に全員集合が確認でき、出発時間を早めることができ、最初の見学先のアサヒビール茨城工場では、工場見学・簡単なクイズ・試飲ではおいしいビールをいただいた。

2ヵ所目は、回転寿司食べ放題に行き、ネタが大きく新鮮で、一口ではなかなか入らず口の中でモゴモゴしながら美味しさを噛みしめた。(おいしい～)そして買い物タイムが始まった。

手に手にそれぞれ家族へのお土産を持って、最後の目的地、国営ひたち海浜公園のネモフィラの丘を目指し出発した。食後の散歩をおしゃべりしながら、丘の頂上を目指し歩き、頂上に着くと、一面に公園の草花と海が見え心に残る大パノラマだった。参加者皆さんから、「すご～い！ 綺麗！ ホッとする！」などの感嘆の言葉が聞かれた。

## 会員ニュース

### ■呉益鐘相談役が済州特別自治道文化賞受賞



2009年度済州特別自治道文化賞授与式が、2009年12月21日、済州道文芸会館において開催され、海外同胞部門で当協会呉益鐘相談役が受賞に輝いた。

呉益鐘相談役は1937年西帰浦西好洞で生まれ、1953年16歳で日本に渡り、成功を遂げ、埼玉県に伸興化成株式会社と韓国忠清南道・洪城で建築内装製造業を営み、済州道に貿易会社(株)D&J ARTをつくり、母校をはじめ各様々な団体と教育機関に財政的貢献をし、済州地域経済発展と済州出身人材達に多くの働き口を用意して雇用創出にも寄与している。

また忠清南道地域においては生活困難な独り暮らし高齢者103名を支援し、老人会や奨学財団など経済的に恵まれていない人々に陰で黙々と激励と希望を与えている功績が認められ、今回選ばれた。

民団では経済諮問委員と平和統一諮問委員を、当協会では監査、相談役などを歴任し、在日同胞の愛郷心と自負心の育成とともに、同胞の団結にも多く貢献された事を称え、韓国政府から国民勲章冬柏章を授章された。呉相談役の温厚な人柄と愛郷心は、後輩たちのよきお手本になっている。



## 人物交流

### ○ 2009年

- 7月28日 濟州商工会議所 日本訪問団 玄丞倬会長外6名が呉賛益常任顧問の案内で来訪し、当協会 高尚弘会長、慎龍九相談役、宋信彦・李大浩・高隆博・呉典秀各副会長、姜丞宝監査、邊彰満総務部長、朴時男宣伝部長、宋暎民渉外部長と談話。
- 10月30日 ソウル特別市文化財探し市民委員会委員夫斗完市議会議員を含め11名が来訪し、高尚弘会長、宋信彦・李大浩両副会長と懇談。
- 11月12日 (社)大韓老人会濟州道濟州市支会より高玫洙会長一行が来訪し、高尚弘会長と談話。
- 12月18日 濟州国際自由都市開発センター(JDC) 郭鎮奎処長、徐承模部長外1名が来訪し、高尚弘会長と相談。

### ○ 2010年

- 1月15日 宋暎民渉外部長の案内で国民生活体育濟州道ゴルフ联合会韓有吉会長外2名が来訪し、高尚弘会長、金光一東京韓国商工会議所会長(当協会相談役)と懇談。
- 1月22日 濟州道から玄丞倬濟州商工会議所会長夫妻外1名を呉陽新氏が成田空港まで出迎え。上野パークサイドホテルで呉賛益常任顧問、高尚弘会長、在外濟州道民会総联合会 全秉敦副会長と合流。
- 1月23日 濟州道から金泰煥道知事外30名を宋信彦・李大浩・呉典秀副会長、朴時男宣伝部長、姜榮真国際部長、宋暎民渉外部長、呉陽新氏が成田空港まで出迎え、式場まで案内。金璟玉事業部長は浅草ビューホテルで合流。ソウルから在外濟州道民会総联合会白明允会長外4名を呉哲新氏が羽田空港まで出迎え、式場まで案内。
- 3月10日 民主党日本支援団 金星坤・李洛淵・姜昌一・崔奎植・金才允議員と3人の随行員が来訪し、当協会高尚弘会長、李大浩副会長、邊彰満総務部長、姜榮真国際部長、宋暎民渉外部長と懇談。
- 5月12日 濟州商工会議所 玄丞倬会長をはじめ、グローバル濟州商工人大会組織委員一行7名が大会説明のため来訪し、呉賛益常任顧問、高尚弘会長、李大浩副会長、邊彰満総務部長、朴時男宣伝部長と談話。同日、上野・精養軒にて当協会呉賛益常任顧問が発起人代表を、高尚弘会長が発起人を務めた「李時香前民団東京本部団長の慰労会」が開催され200余名が参席。
- 6月25日 駐日本大韓民国大使館 権哲賢大使主催の晩餐会が大使館で開催され、全8名が参加した。当協会からは高尚弘会長が参席。

## 济州道通信

### ● 第44回济州特別自治道民体育大会に参加

2010年4月16日より18日まで3日間の日程で、济州綜合競技場を中心に「100万道民の和合と道民の体典を感動で」というスローガンのもと、15,000名の選手が集い体育大会が開催された。



### ● 美しい济州オルレギルを散策して

济州道体育大会に合わせて、4月16日の朝、在外道民会の参加者とともに、モスルポ港を出発地点とした11コースを散策した。11コースは眼下に馬羅島（マラド）、加波島（カパド）を見下ろし、非常に風光明媚なコースで、今回はコースの半分を6時間かけて、トレッキングした。

### ● 金萬徳ナヌムお米萬俵積み運動が開かれる

2009年10月17日に、「金萬徳ナヌム（分かち合い）お米萬俵積み」運動が、ソウル光化門広場で盛大に催された。この行事には鄭雲燦國務総理をはじめ呉世勳ソウル市長、济州道からは金泰煥道知事をはじめ、金龍河道議会議長、梁成彦教育監などが参加し、また、当協会からは、李時香顧問、呉賛益常任顧問、金光一東京韓国商工会議所会長、高尚弘会長、金成日副会長、婦人会から呉春花常任顧問、金貞子会長の一行が式典に参加した。強い風の中、関係者によると、1万俵を目標にしたが、目標をはるかに上回る2万2千俵を集めることができたとの説明があった。母子家庭はもとより、障害者施設、無料給食所、地域児童センター、身寄りのないお年寄り、海外の飢餓に苦しんでいる子どもたちに贈られた。

